

平成 2 6 年 度
(2 0 1 4)

病 院 年 報

市 立 敦 賀 病 院

病 院 理 念

市立敦賀病院は、地域の医療をささえ、
信頼され、温もりのある病院をめざします。

基 本 方 針

- ・ 嶺南の中核病院として、地域の医療施設との連携を
深め、地域の医療の発展に努めます。
- ・ 患者さん中心の心のかよう医療を行います。
- ・ 患者さんにやさしい、開かれた病院をつくります。
- ・ 質の高い効率的な医療をわかりやすく提供します。
- ・ やりがいと誇りをもった職員を育成し、チーム医療
を推進します。

はじめに

市立敦賀病院 院長 米島 學

この度、平成26年度の市立敦賀病院年報を発刊するはこびとなりました。

市立敦賀病院は、福井県嶺南地域の中核病院であり、敦賀市を中心とした嶺南地域の方々の病気を治療し健康管理に寄与するための病院であります。

国は、医療、福祉、介護の一体改革である「地域包括ケアシステム」の構築を目指しており、地域全体で患者さんをサポートする体制の整備が求められております。

これに対応すべく、当院は、これまでの急性期医療を維持しつつ、地域の医療ニーズに即した病院運営を目指すため、第2次中期経営計画を策定し平成26年度から取り組み始めました。

診療体制としましては、平成26年度診療報酬改定に伴い新たに制度化された「地域包括ケア病棟」について、平成26年10月から本館7階病棟を当該病棟として運用を開始しました。急性期病床での治療後の回復期の患者さんにリハビリ等を実施し在宅復帰に繋がられるものと期待しております。

医師確保につきましては、平成26年4月から総合診療医を目指す医師が常勤となり、総合診療センターを立ち上げました。また、引き続き基幹型臨床研修病院の指定をいただき、新たに3名の初期研修医を迎え、合わせて6名が指導医のもと日々研鑽を積んでおります。さらに、初期研修を終えた医師2名が救急科、総合診療センターに配属になりました。

医療制度改革により、自治体病院を取り巻く環境は大変厳しくなっておりますが、こういう時こそ患者さん中心の医療を続けることが大切であると考えております。健やかで豊かな地域社会実現に貢献するため、職員一同、さらなる努力を行ってまいります。

最後に、指導医の派遣に御尽力をいただいております大学及び県医療行政各位に心から感謝申し上げますとともに、今後とも皆様方の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

目 次

I 病院の沿革及び現況

| | | |
|----|-------|----|
| 1 | 病院の沿革 | 1 |
| 2 | 病院の概要 | 3 |
| 3 | 施設の概要 | 5 |
| 4 | 設備の概要 | 5 |
| 5 | 組織図 | 7 |
| 6 | 職員の現況 | 8 |
| 7 | 入院部屋数 | 9 |
| 8 | 経営の概要 | 10 |
| 9 | 経営分析 | 11 |
| 10 | 委員会等 | 13 |

II 決算概要

| | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 収益的収入及び支出 | 17 |
| 2 | 資本的収入及び支出 | 19 |
| 3 | 貸借対照表 | 19 |
| 4 | 診療行為別診療収入の状況 | 20 |
| 5 | 診療科別診療収入の状況 | 21 |

III 各部署の活動状況

| | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 診療部 | 25 |
| 2 | 医療安全管理室 | 26 |
| 3 | 感染制御センター | 28 |
| 4 | 医療支援部 | 29 |
| | (1) 医療・福祉相談支援室 | 29 |
| | (2) 地域医療連携室 | 29 |
| 5 | 医療技術部 | 32 |
| | (1) 検査室 | 32 |
| | (2) 放射線室 | 33 |
| | (3) リハビリテーション室 | 34 |
| | (4) 臨床工学技術室 | 35 |
| | (5) 栄養管理室 | 35 |
| 6 | 薬剤部 | 37 |
| 7 | 看護部 | 39 |

| | |
|-------------|----|
| 8 事務局 | 40 |
| (1) 総務企画課 | 40 |
| (2) 医療サービス課 | 41 |

IV 業務の概要

| | |
|-----------------------|----|
| 1 患者の状況 | 43 |
| (1) 入院・外来別患者数 | 43 |
| (2) 患者数の推移 | 43 |
| (3) 診療科別患者数 | 44 |
| (4) 市町村別患者数 | 45 |
| (5) 月別患者数 | 46 |
| (6) 救急患者の取扱状況 | 48 |
| (7) 患者搬送の状況 | 51 |
| 2 人間ドックの状況 | 52 |
| 3 中央手術室業務の状況 | 53 |
| 4 種類別麻酔件数 | 53 |
| 5 内視鏡検査件数 | 53 |
| 6 周産期医療の状況 | 54 |
| 7 薬剤室業務の状況 | 55 |
| (1) 調剤業務の状況 | 55 |
| (2) 服薬指導の状況 | 55 |
| (3) 注射剤調製の状況 | 55 |
| (4) 後発医薬品採用率 | 55 |
| 8 人工透析の状況 | 55 |
| 9 放射線科（室）の状況 | 56 |
| (1) 撮影の状況 | 56 |
| (2) フィルム及びCD/DVDの使用状況 | 56 |
| (3) 血管撮影検査の状況 | 56 |
| (4) MRI検査の状況 | 56 |
| (5) CT検査の状況 | 56 |
| (6) 核医学検査の状況 | 57 |
| (7) 放射線治療の状況 | 57 |
| (8) マンモグラフィーの状況 | 58 |
| (9) 骨密度検査の状況 | 58 |
| (10) エコー検査の状況 | 58 |
| (11) 透視検査の状況 | 58 |
| 10 臨床検査の状況 | 59 |
| (1) 各種検査件数 | 59 |

| | |
|----------------------------|----|
| (2) 生理機能検査件数 | 59 |
| (3) 血液製剤使用量 | 60 |
| 11 リハビリテーションの状況 | 60 |
| 12 患者給食及び栄養指導の状況 | 61 |
| 13 死亡患者数及び病理解剖件数 | 61 |
| 14 医療福祉相談の状況 | 62 |
| (1) 医療相談の状況 | 62 |
| (2) 病院に対するご要望の状況 | 62 |
| (3) 入院説明・案内状況 | 62 |
| (4) ボランティアの活動状況 | 62 |
| 15 地域医療連携の状況 | 62 |
| (1) 紹介及び逆紹介の状況 | 62 |
| (2) 開放型病床の状況 | 63 |
| (3) 亜急性期病床等の状況 | 63 |
| (4) 退院支援の状況 | 63 |
| (5) 地域連携パスの状況 | 63 |
| (6) ふくいメディカルネット運用件数 | 63 |
| 16 医療安全の状況 | 63 |
| (1) インシデント・アクシデントレポートの提出状況 | 63 |
| (2) 根本原因分析の実施状況 | 63 |
| 17 院内がん登録の状況 | 64 |
| (1) 部位別院内がん登録の状況 | 64 |
| (2) 経緯別院内がん登録の状況 | 65 |
| 18 救急蘇生災害医療部会（災害部門）の活動状況 | 66 |
| 19 救急蘇生災害医療部会（救急部門）の活動状況 | 67 |
| 20 DMA Tの活動状況 | 68 |
| 21 感染対策の状況 | 69 |
| 22 TQM委員会の活動状況 | 72 |

V DPCの概要

| | |
|------------------------|----|
| 1 DPC係数の状況 | 73 |
| 2 DPC/PDPSにおけるMDC 2桁分類 | 74 |

VI 固定資産状況

| | |
|---------------|----|
| 1 有形固定資産の取得状況 | 75 |
| 2 主要医療機器の設置状況 | 75 |
| 3 企業債・減価償却の状況 | 76 |
| (1) 企業債の年度別状況 | 76 |

| | |
|-----------------|----|
| (2) 減価償却額の年度別状況 | 76 |
|-----------------|----|

VII 研究業績

| | |
|------------|----|
| 1 診療部 | 77 |
| 2 医療安全管理室 | 86 |
| 3 感染制御センター | 86 |
| 4 医療支援部 | 87 |
| 5 医療技術部 | 87 |
| 6 薬剤部 | 92 |
| 7 看護部 | 93 |
| 8 臨床病理検討会 | 95 |

VIII 看護部実績

| | |
|-----------------------|-----|
| 1 師長会活動報告 | 101 |
| 2 主任会活動報告 | 101 |
| 3 セーフティーマネージャー委員会活動報告 | 102 |
| 4 教育委員会活動報告 | 103 |
| 5 新人看護職員研修活動報告 | 106 |
| 6 実習指導者会活動報告 | 106 |
| 7 褥瘡委員会活動報告 | 108 |
| 8 記録監査委員会活動報告 | 109 |
| 9 認定看護師活動報告 | 110 |
| 10 教育研修実績 | 113 |
| (1) 院内研修実績 | 113 |
| (2) 院外研修実績 | 114 |
| (3) 講師、実習及び外部会議委員等の実績 | 115 |

IX 臨床研修プログラム概要

| | |
|----------------------------|-----|
| 平成26年度市立敦賀病院臨床研修プログラム概要と実績 | 117 |
|----------------------------|-----|

参考資料

| | |
|----------------------|-----|
| ○ 第2次市立敦賀病院中期経営計画の概要 | 121 |
| ○ 市立敦賀病院の患者権利章典 | 125 |
| ○ 市立敦賀病院職業倫理規程 | 127 |
| ○ 医療事故防止のための8カ条 | 128 |

I 病院の沿革及び現況

1 病院の沿革

| | |
|----------|---|
| 明治15年 2月 | 県立敦賀病院開設 |
| 明治24年 4月 | 郡制施行に伴い郡立敦賀病院に改称 |
| 大正12年 4月 | 郡制廃止により敦賀郡町村組合立病院に改称 |
| 昭和18年 4月 | 日本医療団へ現物出資 |
| 昭和24年 2月 | 病院開設許可（昭和24年2月1日 福井県指令医第462号） |
| 昭和24年 4月 | 日本医療団より全施設組合に返還 |
| 昭和30年 1月 | 町村合併により市立敦賀病院に改称 |
| 昭和38年 3月 | 2ヵ年度継続事業で病院本館、鉄筋コンクリート造・4階建 全面改築（4,487㎡）完成（一般172床、伝病20床、結核40床） |
| 昭和44年10月 | 2ヵ年度継続事業で救急診療棟、鉄筋コンクリート造・4階建 増設（2,190㎡）完成（一般232床、伝病25床、結核40床） |
| 昭和48年 4月 | 医師住宅1号棟、鉄筋コンクリート造・2階建（7戸）完成 |
| 昭和49年 4月 | 医師住宅2号棟、鉄筋コンクリート造・2階建（8戸）完成 |
| 昭和54年 5月 | 木造病棟を取り壊し、中央診療棟（放射線部門・手術部門病棟） 鉄筋コンクリート造・4階建増改築（3,223㎡①）完成 （一般276床、伝病25床、結核28床） |
| 昭和62年10月 | 3ヵ年度継続事業で本館診療棟、鉄筋コンクリート造・7階建 増改築（12,068㎡②）完成（合計床面積 18,454㎡） （一般276床、伝病25床） |
| 平成元年10月 | 神経科精神科（外来）開設 |
| 平成 5年 4月 | 循環器科・消化器科・麻酔科開設 |
| 平成 6年10月 | 3ヵ年度継続事業で東診療棟、救急診療棟、鉄筋コンクリート造 5階建増改築（6,486㎡③）完成 （東病棟…完成・同年4月、運用開始・同年6月） （合計床面積①②③ 21,777㎡）（一般348床、伝病10床） |
| 平成 7年 1月 | 土曜閉院完全実施 |
| 平成 7年12月 | 3ヵ年度継続事業で電算情報トータルシステム整備完了 |
| 平成 9年 3月 | 医師住宅及び駐車場敷地購入（3,906.06㎡） |
| 平成10年11月 | 医師住宅新築工事竣工 鉄筋コンクリート造・5階建（2,520.96㎡） 妻帯用12戸、単身用8戸 |
| 平成11年 1月 | 旧医師住宅解体 |
| 平成11年 4月 | 第二種感染症指定医療機関に指定（一般348床、感染症2床） |
| 平成12年 3月 | 立体駐車場完成 鉄骨造2階建（4,273.18㎡）（253台収容） |
| 平成14年 9月 | 神経内科開設 |
| 平成15年 9月 | 第3次整備建設着工（平成15年度～平成18年度継続事業） |
| 平成15年10月 | 財団法人日本医療機能評価機構認定第JC43号取得 |
| 平成15年11月 | 厚生労働省管理型臨床研修病院指定 第030944号 |
| 平成17年 3月 | 第3次整備建設工事のうち北診療棟（7,815㎡）完成 |
| 平成18年 7月 | リハビリテーション科開設 |
| 平成18年10月 | 病床数変更（一般373床、感染症2床） |
| 平成18年12月 | 第3次整備建設工事完成 |
| 平成20年10月 | 財団法人日本医療機能評価機構認定第JC43-2号取得（更新） |

| | |
|----------|----------------------------------|
| 平成20年12月 | 中期経営計画策定（第1次） |
| 平成21年 1月 | 電子カルテ導入 |
| 平成21年 5月 | 病床数変更（一般330床、感染症2床） |
| 平成22年 4月 | 給食業務全面委託開始 |
| 平成23年 2月 | DMA T 隊編成 |
| 平成23年 4月 | D P C 請求病院開始 |
| 平成23年 6月 | 福井DMA T 指定病院 |
| 平成23年 7月 | DMA T 隊第2班編成 |
| 平成23年10月 | 救急科開設 |
| 平成24年 7月 | リハビリ棟耐震補強工事完成（全棟耐震化完了） |
| 平成24年 8月 | 院内保育所開設 |
| 平成25年10月 | 公益財団法人日本医療機能評価機構認定第JC43-3号取得（更新） |
| 平成26年 2月 | 第2次中期経営計画策定 |
| 平成26年 3月 | 医薬品S P D導入 |
| 平成26年10月 | 地域包括ケア病棟開設 |

2 病院の概要（平成27年6月8日現在）

- 名称 市立敦賀病院（昭和24年2月1日 福井県指令医第462号）
- 所在地 福井県敦賀市三島町1丁目6番60号
- 開設者 敦賀市 敦賀市長 淵上隆信
- 管理者 院長 米島 學
- 敷地面積 17,965.18 m²
- 建物延面積 30,091.96 m²
- 診療科目 内科、神経内科、消化器科、循環器科・心臓血管外科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、神経科精神科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、救急科 計19科
- 特殊診療部門 救急医療、人工透析、生活習慣病健診、人間ドック
- 許可病床数 一般病床 330床・感染症病床 2床 計332床
- 保険診療 看護基準（10：1）
基準寝具／有
- 施設基準（基本診療料）
歯科外来診療環境体制加算
一般病棟入院基本料（10対1）（看護必要度加算1有）
臨床研修病院入院診療加算
救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算
超急性期脳卒中加算、妊産婦緊急搬送入院加算
診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算1（25対1）
急性期看護補助体制加算（25対1）、療養環境加算
重症者等療養環境特別加算、栄養サポートチーム加算
医療安全対策加算1、患者サポート充実加算
感染防止対策加算1（感染防止対策地域連携加算有）
ハイリスク妊娠管理加算、退院調整加算、
救急搬送患者地域連携紹介加算、救急搬送患者地域連携受入加算
総合評価加算、データ提出加算2、小児入院医療管理料4
地域包括ケア病棟入院料1、ハイケアユニット入院医療管理料1

（特掲診療料）
高度難聴指導管理料、糖尿病合併症管理料
がん性疼痛緩和指導管理料、糖尿病透析予防指導管理料
がん患者指導管理料1、がん患者指導管理料2
夜間休日救急搬送医学管理料、ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料（Ⅱ）、ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）
薬剤管理指導料、センチネルリンパ節生検（単独）、

乳がんセンチネルリンパ節加算 2
 肝炎インターフェロン治療計画料、医療機器安全管理料 1
 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
 H P V 核酸検出及び H P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
 検体検査管理加算（Ⅱ）、造血器腫瘍遺伝子検査、植込型心電図検査
 時間内歩行試験、ヘッドアップティルト試験、神経学的検査
 コンタクトレンズ検査料 1、小児食物アレルギー負荷検査
 内服・点滴誘発試験、画像診断管理加算 2
 C T 撮影及び M R I 撮影、大腸 C T 撮影加算、冠動脈 C T 撮影加算
 心臓 M R I 撮影加算、抗悪性腫瘍剤処方管理加算
 外来化学療法加算 2、無菌製剤処理料
 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算有）
 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算有）
 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算有）
 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）（初期加算有）
 がん患者リハビリテーション料、透析液水質確保加算 1
 経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
 植込型心電図計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
 大動脈バルーンパンピング法（Ⅰ A B P 法）
 体外衝撃波胆石破碎術、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則 5 及び 6（歯科点数表第 2 章第
 9 部の通則 4 を含む。）に掲げる手術、麻酔管理料（Ⅰ）
 輸血管管理料Ⅱ、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 歯科治療総合医療管理料、クラウン・ブリッジ維持管理料

（入院時食事療養及び入院時生活療養の食事の提供たる療養の基準）
 入院時食事療養（Ⅰ）

（保険外併用療養費）
 特別の療養環境の提供、病院（200 床以上）の初診

- 診 療 指 定
- 保険医療機関、労災保険指定医療機関、国保療養取扱機関
 - 指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療・精神通院医療）
 - 身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
 - 生活保護法指定医療機関、児童福祉法指定療育育成機関
 - 結核指定医療機関、指定養育医療機関、災害拠点病院
 - 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関
 - 第二種感染症指定医療機関、公害医療機関
 - 母体保護法指定医の配置されている医療機関
 - 救急告示病院、第二次救急病院群輪番制病院
 - エイズ治療拠点病院、特定疾患治療研究事業委託医療機関
 - 指定療育機関、小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
 - 地域周産期母子医療センター、洋上救急協力機関
 - 労働者災害補償保険法に基づくアフターケア指定医療機関
 - D P C 指定病院、日本赤十字常備救護班

- 研修等施設指定 日本内科学会教育病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化器病学会指導施設
日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設、日本呼吸器学会認定施設
日本整形外科学会研修施設
日本脳神経外科学会専門医制度関連施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設、マンモグラフィ検診施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本周産期・新生児医学会暫定研修施設（補完研修施設）
日本麻酔科学会麻酔科認定病院、日本臨床細胞学会施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本静脈経腸栄養学会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設
日本医療機能評価機構認定病院、基幹型臨床研修病院
日本透析医学会教育関連施設、腹部ステントグラフト実施施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本カプセル内視鏡学会指導施設、日本救急医学会専門指導医施設
日本脳卒中学会認定研修教育施設、福井DMA T指定病院

3 施設の概要

| | |
|-------|--------------------------------|
| 敷地面積 | 17,965.18 m ² |
| 建物延面積 | 30,091.96 m ² |
| | 本館診療棟 12,067.92 m ² |
| | 中央診療棟 3,223.29 m ² |
| | 東診療棟 6,486.02 m ² |
| | 北診療棟 8,314.73 m ² |
| | 計 30,091.96 m ² |

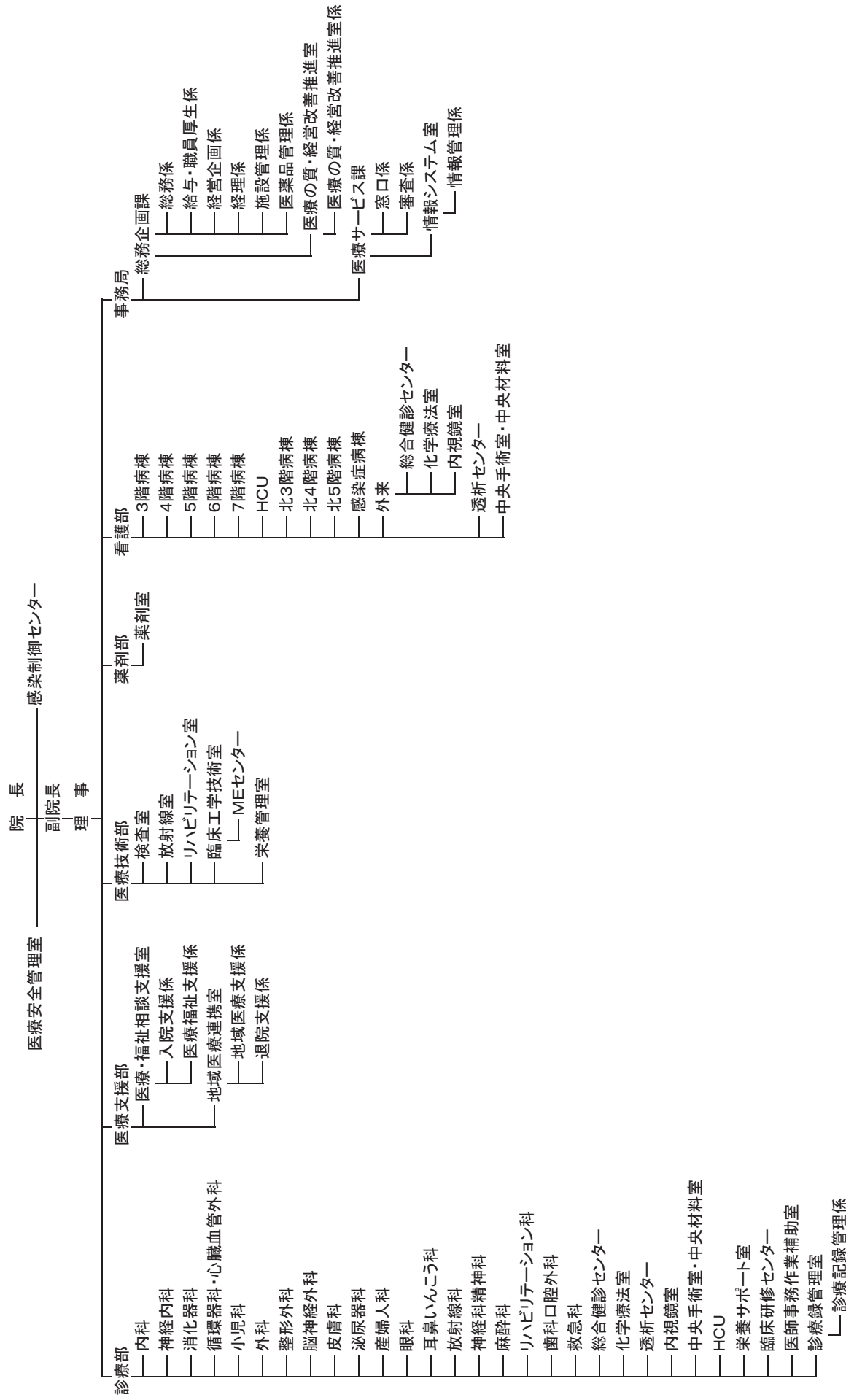
4 設備の概要

| | |
|---------|---|
| 受変電 | 設備容量：6,500KVA 契約電力：1,150KW 受電電圧：6,600V（2系統受電） |
| 非常用電源設備 | 発電機容量：625KVA×2・200KVA×2 |
| 無停電電源装置 | 50KVA×4 |
| 太陽光発電設備 | 太陽電池アレイ×90 最大出力10KW |
| 弱電設備 | 構内電話・コードレス電話設備 インターホン設備 ナースコール設備 電気時計設備 TV共聴設備 |
| 消防設備 | 自動火災報知設備 排煙設備 誘導灯 スプリンクラー設備 非常放送設備 非常通報設備 屋内消火栓設備 |
| 熱源設備 | 炉筒煙管蒸気ボイラー：1.5t/h 2基 貫流蒸気ボイラー：0.75t/h 2基 スチームアキュムレーター：30 m ³ 1基 |
| 空調設備 | 吸収式冷温水機：5基（330RT×2・240RT×1・50RT×2） 水冷チラーユニット：1基 エアーハンドリング空調機 ガスエンジンヒートポンプマルチエアコン 電気式ヒートポンプマルチエアコン ファンコイルユニット |

| | |
|--------|---|
| 給水設備 | 受水槽：SUSパネル55t×2 SUSパネル25t×2 高架水槽：SUSパネル16t×2 SUSパネル7t×1 雑水高架水槽：SUSパネル13t×2 SUSパネル7t×1 |
| 排水設備 | 一般排水系統 RI排水系統 特殊排水系統 |
| 給湯設備 | 貯湯槽：SUS4.5t×2 SUS3.0t×2 |
| 浄化槽設備 | RI処理槽 |
| 医療ガス設備 | 液体酸素設備 圧縮空気供給設備 亜酸化窒素供給設備 窒素供給設備 吸引設備 |
| 昇降機設備 | 寝台用エレベーター：10基 一般エレベーター：2基 ダムウォーター：2基 |
| 搬送設備 | 気送管設備：85φ14ST1系統・15φ4ST1系統 |

5 組織図 (平成27年6月8日現在)

平成27年6月8日



6 職員の現況

年度末現在 単位：人

| | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | |
|-----------|--------|--------------|--------|--------------|--------|--------------|
| | 合計 | 臨時嘱託 (再掲) | 合計 | 臨時嘱託 (再掲) | 合計 | 臨時嘱託 (再掲) |
| 医師 | 55 | 12 | 51 | 9 | 55 | 11 |
| 薬剤師 | 11 | | 11 | | 11 | |
| 診療放射線技師 | 14 | | 13 | | 14 | |
| 臨床検査技師 | 14 | 1 | 14 | 2 | 15 | |
| 臨床工学技士 | 6 | | 7 | 1 | 5 | |
| 理学療法士 | 8 | | 9 | | 10 | |
| 作業療法士 | 4 | | 5 | | 6 | |
| マッサージ師 | 1 | | 1 | | 1 | |
| 言語聴覚士 | 3 | | 3 | | 4 | |
| 歯科衛生士 | 4 | 2 | 3 | 1 | 4 | 1 |
| 栄養士 | 3 | | 3 | | 4 | |
| 保健師 | 2 | | 3 | | 5 | |
| 助産師 | 20 | | 17 | | 17 | |
| 看護師 | 203 | 4 | 203 | 5 | 214 | 3 |
| 准看護師 | 16 | 3 | 15 | 3 | 14 | 3 |
| 事務職員 | 26 | 8 | 26 | 8 | 23 | 5 |
| 電気技師 | 2 | | 2 | | 2 | |
| 施設管理員 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 事務員 | 10 | | 10 | 8 | 18 | 13 |
| 看護補助者 | 13 | 13 | 22 | 22 | 17 | 17 |
| 医師事務作業補助者 | 8 | 8 | 5 | 5 | 7 | 7 |
| 合計 | 424 | 52 | 424 | 65 | 447 | 61 |

7 入院部屋数（平成27年4月1日現在）

| | 本館3階 | | 本館4階 | 本館5階 | 本館6階 | 本館7階 | | 北館2階 HCU | 北館3階 | | | 北館4階 | 北館5階 | 合計 |
|--------|------------|----------|------------|------------|------------|------------|----------|-------------|------------|-----------|----------|------------|------------|--------------|
| | | ドック | | | | | 無菌室 | | | 小児入院 | 感染症 | | | |
| 特室 | (1) 1 | | (1) 1 | | (1) 1 | | | | (1) 1 | | | (1) 1 | | (5) 5 |
| 1人部屋 | (6) 6 | (6) 6 | (5) 5 | (9) 9 | (5) 5 | (4) 4 | (1) 1 | | (2) 2 | (6) 6 | (2) 2 | (8) 8 | (6) 6 | (60) 60 |
| 重症1人部屋 | | | | | | | | (4) 4 | (2) 2 | | | | | (6) 6 |
| 2人部屋 | (2) 1 | | | (4) 2 | (4) 2 | (6) 3 | | (2) 1 | | | | | | (18) 9 |
| 重症2人部屋 | (2) 1 | | (2) 1 | (2) 1 | (2) 1 | | | | | | | (2) 1 | | (10) 5 |
| 4人部屋 | (32) 8 | | (32) 8 | (20) 5 | (24) 6 | (24) 6 | | | (32) 8 | (4) 1 | | (36) 9 | (24) 6 | (228) 57 |
| 5人部屋 | | | | | | | | | | | | | (5) 1 | (5) 1 |
| 合計 | (43) 17 | (6) 6 | (40) 15 | (35) 17 | (36) 15 | (34) 13 | (1) 1 | (6) 5 | (37) 13 | (10) 7 | (2) 2 | (47) 19 | (35) 13 | (332) 143 |

上段：病床数（ ）

下段：病室数

8 経営の概要

| 年度 | 収益的収支 (単位: 千円) | | | 資本的収支 (単位: 千円) | | | 一般会計繰入金 (単位: 千円) | | | 医療収支 比 医療収入 医療費用 (単位:%) | 職員給与 比 職員給与 医療収入 (単位:%) | 年度末 職員数 (臨時傭 託再掲) (単位:人) | 病床 利用率 (単位:%) | 病床数 (単位:床) |
|----|----------------|-----------|-----------|----------------|-----------|-----------|------------------|---------|-----------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|---------------------|---------------|
| | 収入 | 支出 | 純損益 | 収入 | 支出 | 差引 | 収益勘定 | 資本勘定 | 合計 | | | | | |
| 20 | 6,538,035 | 6,838,546 | △ 300,511 | 290,460 | 327,360 | △ 36,900 | 745,013 | 290,460 | 1,035,473 | 83.6 | 65.0 | (44) 420 | 83.6 | 332 |
| 21 | 6,620,285 | 6,825,777 | △ 205,492 | 359,693 | 359,693 | 0 | 671,568 | 355,388 | 1,026,956 | 86.0 | 60.6 | (47) 412 | 82.5 | 332 |
| 22 | 7,041,383 | 6,866,295 | 175,088 | 397,185 | 397,185 | 0 | 501,157 | 386,795 | 887,952 | 92.5 | 52.5 | (44) 398 | 86.5 | 332 |
| 23 | 7,145,386 | 7,117,485 | 27,901 | 627,549 | 713,004 | △ 85,455 | 487,679 | 354,008 | 841,687 | 91.5 | 54.4 | (57) 419 | 81.2 | 332 |
| 24 | 7,591,393 | 7,526,684 | 64,709 | 377,624 | 876,556 | △ 498,932 | 634,442 | 264,978 | 899,420 | 95.2 | 51.9 | (52) 424 | 85.8 | 332 |
| 25 | 7,369,227 | 7,282,485 | 86,742 | 342,618 | 705,979 | △ 363,361 | 633,747 | 258,817 | 892,564 | 94.1 | 53.2 | (65) 424 | 82.0 | 332 |
| 26 | 7,572,989 | 7,493,034 | 79,955 | 406,186 | 1,235,195 | △ 829,009 | 615,612 | 269,489 | 885,101 | 89.9 | 58.4 | (61) 447 | 78.0 | 332 |

9 経営分析

| 分析項目 | 算出 | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|--------------|------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1日当り患者数 | 入院 | 人 | 365日 274 | 365日 287 | 366日 269 | 365日 284 | 365日 272 | 365日 259 |
| | 外来 | 人 | 242日 713 | 243日 727 | 244日 726 | 245日 731 | 244日 726 | 244日 718 |
| 合計 | | 人 | 987 | 1,014 | 995 | 1,015 | 998 | 977 |
| 医師1人1日当り患者数 | 入院 | 人 | 5.71 | 5.63 | 4.65 | 5.16 | 5.33 | 4.71 |
| | 外来 | 人 | 14.85 | 14.25 | 12.52 | 13.29 | 14.24 | 13.04 |
| | 合計 | 人 | 20.56 | 19.88 | 17.17 | 18.45 | 19.57 | 17.75 |
| 医療収支対前年度比率 | 医療収益の対前年度比 | % | 102.49 | 109.00 | 103.27 | 106.25 | 96.22 | 99.74 |
| | 医療費用の対前年度比 | % | 99.60 | 101.40 | 104.27 | 102.17 | 97.34 | 104.45 |
| 患者1人1日当り診療収入 | 入院 | 円 | 34,406 | 36,578 | 39,959 | 40,594 | 39,742 | 41,596 |
| | 外来 | 円 | 9,920 | 10,128 | 10,404 | 10,810 | 11,097 | 11,344 |

| 分析項目 | 算出 | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|-----------------|---------------------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 給与費 | 給与費 医業収益 | % | 60.61 | 52.46 | 54.44 | 51.86 | 53.15 | 58.42 |
| | 薬品費 医業収益 | % | 15.98 | 17.14 | 15.35 | 14.68 | 14.41 | 14.23 |
| 材料費 | 診療材料費 医業収益 | % | 11.95 | 11.36 | 11.68 | 13.37 | 11.06 | 10.08 |
| | 給食材料費 医業収益 | % | 1.37 | 0.16 | 0.15 | 0.17 | 0.17 | 0.16 |
| | 医療消耗 備品費 医業収益 | % | 0.01 | 0.04 | 0.04 | 0.11 | 0.08 | 0.11 |
| | 小計 | % | 29.31 | 28.70 | 27.22 | 28.33 | 25.72 | 24.58 |
| | 経費 医業収益 | % | 20.72 | 22.13 | 22.78 | 20.66 | 23.39 | 18.14 |
| 減価償却費 医業収益 | % | 4.97 | 4.20 | 3.80 | 3.46 | 3.38 | 9.47 | |
| 資産減耗費 医業収益 | % | 0.03 | 0.03 | 0.27 | 0.13 | 0.00 | 0.07 | |
| 研究研修費 医業収益 | % | 0.61 | 0.61 | 0.68 | 0.55 | 0.59 | 0.57 | |
| 合計 | 医業費用 医業収益 | % | 116.25 | 108.14 | 109.19 | 105.00 | 106.23 | 111.25 |
| 医業収益に対する医業費用の割合 | | | | | | | | |

10 委員会等 (平成27年7月1日現在)

| 委員会等 | 所掌する事項 | 構成職種 | 委員長等 | 事務局 | 開催頻度 | 備考 |
|----------------|--|----------------------------|---------------|------------------|------|---------------|
| 部長会 | 1 病院運営の基本方針に関する事 2 重要な施策に関する事 3 企画推進に関する事 | 全職種 | 院長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 管理運営・診療委員会 | 1 病院管理運営上の基本方針策定及び審議に関する事 2 診療業務の検討及び連絡に関する事 | 全職種 | 院長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 医療の質・経営改善推進委員会 | 1 医療の質の改善に関する事 2 経営状況の情報収集、分析に関する事 | 薬剤師、看護師、臨床検査技師、事務職員 | 医療の質・経営改善推進室長 | 総務企画課 | 週1回 | |
| 医療安全対策委員会 | 医療事故の防止及び対策に関する事 | 全職種 | 医療支援部長 | 医療安全管理室 | 月1回 | 医療法 施行規則 |
| リスクマネジメント部会 | 1 インシデント事例の原因分析及び予防策の立案に関する事 2 医療安全に関する広報・研修・教育等に関する事 | 全職種 | 医療支援部長 | 医療安全管理室 | 月1回 | |
| 救急蘇生・災害医療部会 | 災害医療及び心肺蘇生法の普及とその意識向上に関する事 | 全職種 | 科部長 | 総務企画課 医療サービス課 | 月1回 | |
| 病棟管理委員会 | 病棟の適正な入院環境の運営に関する事 | 医師、看護師、管理栄養士、事務職員 | 科部長 | 医療サービス課 | 月1回 | |
| 院内感染対策委員会 | 1 感染症の院内感染予防対策に関する事 2 MRSAによる院内感染予防対策に関する事 | 全職種 | 科部長 | 総務企画課 | 月1回 | 医療法 施行規則 |
| CS・ES委員会 | 患者満足度及び職員満足度に関する総合的な取組みに関する事 | 全職種 | 科部長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 褥瘡・NST委員会 | 1 褥瘡と合併する感染予防の実施、監視及び指導に関する事 2 NSTに関する事 | 全職種 | 科部長 | 総務企画課 栄養管理室 | 随時 | 入院 基本料等 |
| 栄養管理委員会 | 給食に係るサービス改善等に関する事 | 医師、管理栄養士、看護師、事務職員 | 副院長 | 栄養管理室 | 随時 | |
| 栄養サポート部会 | 栄養サポートに関する事 | 全職種 | 科部長 | 栄養管理室 医療サービス課 | 月1回 | |
| 褥瘡サポート部会 | 1 感染褥瘡源の調査に関する事 2 褥瘡サポートに関する事 | 全職種 | 医長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 電子カルテ委員会 | 1 医療情報トータルシステムの整備推進に関する事 2 入院患者のカルテ管理に関する事 3 病歴管理に関する事 | 全職種 | 副院長 | 医療サービス課 | 月1回 | 診療録管理 体制加算 |
| クリティカルパス委員会 | 1 診療の質の適正化に伴う標準的な治療計画の作成に関する事 2 治療計画の説明により、患者の満足度の向上に関する事 3 その他適正な医療プログラム作成に関する事 | 医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師、保健師、事務職員 | 副院長 | 医療サービス課 | 月1回 | |

| 委員会等 | 所掌する事項 | 構成職種 | 委員長等 | 事務局 | 開催頻度 | 備考 |
|--------------------|--|-----------------------------|------|------------------|------|--------------|
| 薬事委員会（後発薬剤採用検討委員会） | 1 新規採用薬品に関すること 2 採用薬品の統合整理に関すること 3 院内で使用する後発薬剤採用に係る調査検討に関すること | 医師、薬剤師、看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 診療材料委員会 | 1 新規採用診療材料に関すること 2 診療材料の統合整理に関すること 3 その他診療材料に関すること | 医師、臨床検査技師、放射線技師、看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 倫理委員会 | 医療職員の高い資質の高揚及び医の倫理に関すること | 医師、薬剤師、看護師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| がん診療連携拠点病院推進委員会 | 1 拠点病院の指定に必要な企画立案に関すること 2 その他拠点病院の指定に関し必要なこと | 医師、薬剤師、看護師、事務職員 | 理事 | 総務企画課 医療サービス課 | 随時 | |
| 緩和ケア委員会 | 緩和ケアに関すること | 全職種 | 理事 | 医療・福祉相談支援室 | 随時 | |
| TQM委員会 | 1 病院職員の資質向上に関すること 2 職種間の連携交流に関すること | 全職種 | 医長 | 総務企画課 | 月2回 | |
| 治験審査委員会 | 医薬品の臨床試験の実施に関すること | 医師、薬剤師、看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 随時 | 薬事法 施行規則 |
| HCU運営委員会 | HCUの円滑・適正な管理運営に関すること | 全職種 | 科部長 | 総務企画課 | 随時 | |
| DPC委員会 | DPCに関すること | 医師、薬剤師、看護師、作業療法士、放射線技師 | 院長 | 医療サービス課 | 随時 | |
| 手術部会委員会 | 手術業務に関すること | 医師、看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 血液製剤管理委員会 | 輸血用血液製剤の取扱いに関すること | 全職種 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | 輸血管理料 |
| 地域医療連携室運営委員会 | 1 病診連携業務体制の整備に関すること 2 開放型病床設置における業務体制整備に関すること 3 地域医療機関からの要望の対応に関すること | 全職種 | 科部長 | 地域医療連携室 | 年2回 | |
| 臨床研修管理委員会 | 臨床研修プログラムに関すること | 医師、看護師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随時 | 厚生労働省令 |
| 図書委員会 | 図書の整備と有効活用に関すること | 医師、臨床検査技師、看護師、事務職員 | 理事 | 総務企画課 | 随時 | |
| 防災対策委員会（災害対策本部） | 1 消防計画に関すること 2 その他防火に関すること | 医師、看護師、理学療法士、放射線技師、薬剤師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随時 | 市立敦賀病院防火管理規程 |

| 委員会等 | 所掌する事項 | 構成職種 | 委員長等 | 事務局 | 開催頻度 | 備考 |
|---------------|---|-----------------------------|------|---------|------|-----------|
| 医療ガス安全委員会 | 1 医療ガス設備に係る保守点検に関すること 2 医療ガスに係る知識の普及と啓発に関すること | 医師、看護師、薬剤師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 年1回 | 厚生労働省通知 |
| 労働安全衛生委員会 | 1 院内衛生上の改善に関すること 2 職員の健康に関すること（健康診断、保持増進の指導等） | 医師、言語聴覚士、放射線技師、薬剤師、看護師、事務職員 | 事務局長 | 総務企画課 | 月1回 | 労働安全衛生法 |
| 透析センター運営委員会 | 透析業務及び透析センターの管理運営に関すること | 医師、臨床工学技士、看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 随時 | |
| MEセンター運営委員会 | MEセンター業務及びME機器の効果的な管理運営に関すること | 医師、臨床工学技士、看護師、事務職員 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 病院年報編集委員会 | 病院年報の編集に関すること | 医師、放射線技師、看護師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 医療器械購入機種選定委員会 | 医療機器の選定に関すること | 医師、臨床検査技師、看護師、事務職員 | 院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 化学療法委員会 | 化学療法に関すること | 医師、臨床検査技師、薬剤師、看護師、事務職員 | 理事 | 総務企画課 | 随時 | |
| 検体検査適正化委員会 | 検体検査の適正化に関すること | 医師、臨床検査技師、看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 随時 | 検体検査管理加算 |
| 放射線安全委員会 | 放射線障害の防止に関すること | 医師、放射線技師、看護師、事務職員 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | 放射線障害予防規程 |
| 救急室・外来運営委員会 | 救急室、外来の運営に関すること | 全職種 | 理事 | 総務企画課 | 随時 | |
| 糖尿病診療委員会 | 糖尿病診療の充実化を図ること | 全職種 | 医長 | 医療サービス課 | 随時 | |
| 医師負担軽減対策委員会 | 1 勤務医の勤務状況の把握に関すること 2 各業種の役割分担に関すること 3 医師事務作業補助者の配置等に関すること 4 その他勤務医の負担軽減に関すること | 医師、看護師、事務職員 | 科部長 | 総務企画課 | 随時 | 各種施設基準 |
| 広報委員会 | 1 広報にかかる年次計画の企画立案と情報の発信に関すること 2 病院フェスタの開催、運営に関すること 3 ホームページの充実、更新に関すること | 全職種 | 科部長 | 総務企画課 | 月1回 | |
| 教育研修委員会 | 教育研修に関すること | 全職種 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 機能評価推進委員会 | 機能評価の受診と推進に関すること | 全職種 | 副院長 | 総務企画課 | 随時 | |
| 医局会 | 1 病院運営上の診療に関すること 2 医療の知識・技術の向上に関すること 3 医師相互の連絡調整に関すること | 医師、薬剤師 | 医局長 | 診療部 | 月1回 | |

(看護部内委員会等)

| 委員会等 | 所掌する事項 | 開催頻度 |
|----------------|--|------|
| 師長会 | 病院運営下部組織会議としての役割を果たし、看護の質を高め、円滑化を図るための諸問題を協議すること | 月2回 |
| 主任会 | 看護師長の補佐として、看護職員の指導・教育・業務改善・医療事故防止等の諸問題を協議すること | 月1回 |
| セーフティーマネジャー委員会 | インシデントレポートの掌握、再発防止啓蒙・教育に関すること | 月1回 |
| 教育委員会 | クリニカルラダー、マネジメントラダー、教育計画・実施に関すること | 月2回 |
| 褥瘡委員会 | 褥瘡に関すること | 月2回 |
| 記録監査委員会 | 看護記録の監査 | 月2回 |

Ⅱ 決算概要

1 収益的収入及び支出

収入

単位：千円

| | 24年度 | | 25年度 | | 26年度 | |
|---------------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 病院事業収益 | 7,591,391 | 106.2 | 7,369,227 | 97.1 | 7,631,425 | 103.6 |
| 医業収益 | 6,529,360 | 106.2 | 6,282,538 | 96.2 | 6,265,922 | 99.7 |
| 入院収益 | 4,220,185 | 107.1 | 3,949,540 | 93.6 | 3,935,688 | 99.6 |
| 外来収益 | 1,938,233 | 105.1 | 1,966,734 | 101.5 | 1,985,907 | 101.0 |
| その他医業収益 | 370,942 | 102.8 | 366,264 | 98.7 | 344,327 | 94.0 |
| 医業外収益 | 1,058,477 | 106.2 | 1,083,183 | 102.3 | 1,303,565 | 120.3 |
| 受取利息 | 315 | 147.9 | 440 | 139.7 | 331 | 75.2 |
| 他会計負担金 | 630,888 | 130.3 | 630,241 | 99.9 | 612,110 | 97.1 |
| 補助金 | 366,063 | 93.9 | 361,461 | 98.7 | 327,596 | 90.6 |
| 財産収益 | 8,428 | 95.9 | 8,595 | 102.0 | 9,258 | 107.7 |
| 基金繰入金 | 21,886 | 108.3 | 21,259 | 97.1 | 21,792 | 102.5 |
| 患者外給食収益 | 321 | 124.9 | 199 | 62.0 | 243 | 122.1 |
| 院内保育収益 | 552 | 皆増 | 2,153 | 390.0 | 3,350 | 155.6 |
| 長期前受金戻入 | — | — | — | — | 304,631 | 皆増 |
| その他医業外収益 | 30,024 | 32.3 | 58,835 | 196.0 | 24,254 | 41.2 |
| 附帯事業収益 | 3,554 | 103.4 | 3,506 | 98.6 | 3,502 | 99.9 |
| 他会計負担金 | 3,554 | 103.4 | 3,506 | 98.6 | 3,502 | 99.9 |
| 特別利益 | — | — | — | — | 58,436 | 皆増 |
| その他特別利益 | — | — | — | — | 58,436 | 皆増 |

支出

単位：千円

| | 24年度 | | 25年度 | | 26年度 | |
|---------------|-----------|-------|-----------|--------|-----------|-------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 病院事業費用 | 7,526,684 | 105.7 | 7,282,485 | 96.8 | 7,551,470 | 103.7 |
| 医業費用 | 6,855,937 | 102.2 | 6,673,906 | 97.3 | 6,970,773 | 104.4 |
| 給与費 | 3,386,258 | 101.2 | 3,339,166 | 98.6 | 3,660,676 | 109.6 |
| 給料 | 1,219,380 | 99.7 | 1,194,092 | 97.9 | 1,267,839 | 106.2 |
| 手当等 | 1,108,340 | 100.2 | 1,142,235 | 103.1 | 1,032,727 | 90.4 |
| 賞与引当金繰入額 | — | — | — | — | 161,709 | 皆増 |
| 退職給与金 | 167,842 | 129.7 | 121,801 | 72.6 | — | — |
| 退職給付費 | — | — | — | — | 260,125 | 皆増 |
| 賃金 | 445,423 | 100.7 | 454,122 | 102.0 | 477,926 | 105.2 |
| 法定福利費 | 445,273 | 99.9 | 426,916 | 95.9 | 437,667 | 102.5 |
| 法定福利費引当金繰入額 | — | — | — | — | 22,683 | 皆増 |
| 材料費 | 1,849,965 | 110.6 | 1,615,840 | 87.3 | 1,540,471 | 95.3 |
| 薬品費 | 958,366 | 101.6 | 905,130 | 94.4 | 891,779 | 98.5 |
| 診療材料費 | 873,025 | 121.7 | 694,923 | 79.6 | 631,666 | 90.9 |
| 給食材料費 | 11,066 | 123.4 | 10,919 | 98.7 | 9,875 | 90.4 |
| 医療消耗備品費 | 7,508 | 268.1 | 4,868 | 64.8 | 7,151 | 146.9 |
| 経費 | 1,349,218 | 96.4 | 1,469,560 | 108.9 | 1,136,563 | 77.3 |
| 厚生福利費 | 1,365 | 53.5 | 1,236 | 90.5 | 1,192 | 96.4 |
| 報償費 | 195 | 70.9 | 3,928 | 2014.4 | 245 | 6.2 |
| 旅費 | 8,904 | 108.4 | 9,330 | 104.8 | 10,201 | 109.3 |
| 職員被服費 | 796 | 69.2 | 881 | 110.7 | 1,566 | 177.8 |
| 消耗品費 | 32,328 | 110.7 | 36,009 | 111.4 | 30,845 | 85.7 |
| 消耗備品費 | 3,263 | 233.6 | 4,324 | 132.5 | 2,624 | 60.7 |
| 光熱水費 | 85,808 | 103.6 | 88,992 | 103.7 | 89,917 | 101.0 |
| 燃料費 | 57,498 | 100.6 | 64,178 | 111.6 | 62,805 | 97.9 |
| 食糧費 | 130 | 213.1 | 85 | 65.4 | 158 | 185.9 |
| 印刷製本費 | 2,573 | 124.4 | 2,434 | 94.6 | 3,080 | 126.5 |
| 修繕費 | 64,695 | 51.7 | 118,237 | 182.8 | 98,022 | 82.9 |

| | | | | | | |
|------------|---------|----------|---------|-------|---------|--------|
| 保険料 | 21,161 | 96.5 | 21,405 | 101.2 | 18,583 | 86.8 |
| 賃借料 | 405,488 | 102.8 | 406,503 | 100.3 | 108,434 | 26.7 |
| 通信運搬費 | 8,686 | 106.1 | 9,069 | 104.4 | 8,213 | 90.6 |
| 委託料 | 648,927 | 99.0 | 694,181 | 107.0 | 689,305 | 99.3 |
| 交際費 | 48 | 126.3 | 44 | 91.7 | 11 | 25.0 |
| 公課費 | 32 | 66.7 | 40 | 125.0 | 40 | 100.0 |
| 諸会費 | 1,226 | 97.8 | 1,221 | 99.6 | 2,974 | 243.6 |
| 雑費 | 6,095 | 69.2 | 7,463 | 122.4 | 8,348 | 111.9 |
| 減価償却費 | 226,068 | 97.0 | 212,275 | 93.9 | 593,359 | 279.5 |
| 建物減価償却費 | 195,789 | 100.0 | 196,358 | 100.3 | 320,218 | 163.1 |
| 構築物減価償却費 | 1,950 | 85.2 | 1,950 | 100.0 | 1,876 | 96.2 |
| 器械備品減価償却費 | 28,329 | 80.9 | 13,967 | 49.3 | 83,141 | 595.3 |
| リース資産減価償却費 | — | — | — | — | 188,124 | 皆増 |
| 資産減耗費 | 8,537 | 51.9 | 148 | 1.7 | 4,118 | 2782.4 |
| 固定資産除却費 | 8,537 | 51.9 | 148 | 1.7 | 4,118 | 2782.4 |
| 研究研修費 | 35,891 | 84.8 | 36,917 | 102.9 | 35,586 | 96.4 |
| 謝金 | 931 | 57.0 | 491 | 52.7 | 565 | 115.1 |
| 図書費 | 3,695 | 49.7 | 3,939 | 106.6 | 5,031 | 127.7 |
| 旅費 | 14,674 | 102.4 | 15,049 | 102.6 | 14,251 | 94.7 |
| 消耗品費 | 8,077 | 97.5 | 9,762 | 120.9 | 7,462 | 76.4 |
| 消耗備品費 | 1,213 | 39.3 | 0 | 0.0 | 1,394 | 皆増 |
| 印刷製本費 | 156 | 139.3 | 156 | 100.0 | 156 | 100.0 |
| 委託料 | 805 | 55.3 | 540 | 67.1 | 674 | 124.8 |
| 負担金 | 6,172 | 106.6 | 6,886 | 111.6 | 5,865 | 85.2 |
| 雑費 | 168 | 80.8 | 94 | 56.0 | 188 | 200.0 |
| 医業外費用 | 650,319 | 168.8 | 587,934 | 90.4 | 365,811 | 62.2 |
| 支払利息 | 157,910 | 92.3 | 145,802 | 92.3 | 133,088 | 91.3 |
| 企業債利息 | 157,910 | 92.3 | 144,392 | 91.4 | 129,915 | 90.0 |
| 他会計借入金利息 | — | — | 1,400 | 皆増 | 1,120 | 80.0 |
| 企業債取扱手数料 | — | — | 10 | 皆増 | 0 | 皆減 |
| リース利息 | — | — | — | — | 2,053 | 皆増 |
| 繰延勘定償却 | 29,133 | 43.7 | 4,773 | 16.4 | — | — |
| 長期前払消費税償却 | — | — | — | — | 5,306 | 皆増 |
| 患者外給食委託料 | 360 | 118.8 | 254 | 70.6 | 276 | 108.7 |
| 院内保育費 | 9,015 | 皆増 | 18,880 | 209.4 | 20,322 | 107.6 |
| 消耗品費 | 124 | 皆増 | 119 | 96.0 | 159 | 133.6 |
| 消耗備品費 | 947 | 皆増 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 保険料 | 2 | 皆増 | 3 | 150.0 | 3 | 100.0 |
| 委託料 | 7,942 | 皆増 | 18,758 | 236.2 | 20,160 | 107.5 |
| 基金積立金 | 300,110 | 242024.2 | 250,536 | 83.5 | 1,371 | 0.5 |
| 雑支出 | 153,791 | 104.6 | 148,689 | 96.7 | 205,448 | 138.2 |
| 賠償金 | 0 | 皆減 | 19,000 | 皆増 | 0 | 皆減 |
| 特別損失 | 17,047 | 90.8 | 17,312 | 101.6 | 211,812 | 1223.5 |
| 過年度損益修正損 | 17,047 | 90.8 | 17,312 | 101.6 | 21,673 | 125.2 |
| その他特別損失 | — | — | — | — | 190,139 | 皆増 |
| 附帯事業費用 | 3,381 | 108.0 | 3,333 | 98.6 | 3,074 | 92.2 |
| 看護学校実習病院経費 | 3,381 | 108.0 | 3,333 | 98.6 | 3,074 | 92.2 |
| 旅費 | 231 | 251.1 | 354 | 153.2 | 512 | 144.6 |
| 消耗品費 | 1,581 | 96.4 | 1,641 | 103.8 | 1,392 | 84.8 |
| 消耗備品費 | 460 | 115.0 | 447 | 97.2 | 400 | 89.5 |
| 印刷製本費 | 371 | 101.6 | 200 | 53.9 | 202 | 101.0 |
| 図書費 | 619 | 100.2 | 619 | 100.0 | 462 | 74.6 |
| 負担金 | 119 | 743.8 | 72 | 60.5 | 106 | 147.2 |

2 資本的収入及び支出

単位：千円

| | 24年度 | | 25年度 | | 26年度 | |
|----------|---------|-------|---------|-------|-----------|--------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 資本的収入 | 377,624 | 60.2 | 342,618 | 90.7 | 727,985 | 212.5 |
| 一般会計繰入金 | 264,978 | 74.9 | 258,817 | 97.7 | 269,488 | 104.1 |
| 国・県補助金 | 112,646 | 41.2 | 83,651 | 74.3 | 131,897 | 157.7 |
| 投資返戻金 | — | — | 150 | 皆増 | 4,800 | 3200.0 |
| 企業債 | — | — | — | — | 321,800 | 皆増 |
| 資本的支出 | 876,557 | 122.9 | 705,979 | 80.5 | 1,235,195 | 175.0 |
| 企業債償還金 | 418,245 | 103.2 | 458,245 | 109.6 | 401,704 | 87.7 |
| 建物整備費 | 40,628 | 69.9 | 0 | 皆減 | 23,832 | 皆増 |
| 資産購入費 | 117,684 | 47.1 | 85,884 | 73.0 | 636,809 | 741.5 |
| 基金繰入金償還金 | 300,000 | 皆増 | 0 | 皆減 | 0 | — |
| 長期借入金償還金 | — | — | 140,000 | 皆増 | 140,000 | 100.0 |
| 投資 | — | — | 21,850 | 皆増 | 32,850 | 150.3 |

3 貸借対照表

(資産の部)

単位：千円

| | 24年度 | | 25年度 | | 26年度 | |
|--------------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 | 金額 | 前年比 |
| 固定資産 | 14,155,244 | 99.3 | 14,047,199 | 99.2 | 8,646,683 | 61.6 |
| 有形固定資産 | 14,155,244 | 99.3 | 14,025,499 | 99.1 | 8,383,569 | 59.8 |
| 土地 | 665,676 | 100.0 | 665,676 | 100.0 | 665,676 | 100.0 |
| 建物 | 13,200,392 | 100.4 | 13,200,392 | 100.0 | 13,200,392 | 100.0 |
| 建物減価償却累計額 | △ 2,467,721 | 108.6 | △ 2,664,079 | 108.0 | △ 6,585,143 | 247.2 |
| 構築物 | 141,621 | 100.0 | 141,621 | 100.0 | 141,621 | 100.0 |
| 構築物減価償却累計額 | △ 63,028 | 103.2 | △ 64,978 | 103.1 | △ 131,454 | 202.3 |
| 器械備品 | 4,467,655 | 98.5 | 4,547,373 | 101.8 | 4,894,989 | 107.6 |
| 器械備品減価償却累計額 | △ 1,789,740 | 93.0 | △ 1,800,896 | 100.6 | △ 4,204,094 | 233.4 |
| 車両 | 6,648 | 100.0 | 6,648 | 100.0 | 6,648 | 100.0 |
| 車両減価償却累計額 | △ 6,259 | 100.0 | △ 6,258 | 100.0 | △ 6,258 | 100.0 |
| リース資産 | — | — | — | — | 1,074,135 | — |
| リース資産減価償却累計額 | — | — | — | — | △ 695,263 | — |
| 建設仮勘定 | 0 | 皆減 | 0 | — | 22,320 | 皆増 |
| 無形固定資産 | — | — | — | — | 183,000 | 皆増 |
| ソフトウェア | — | — | — | — | 183,000 | 皆増 |
| 投資その他の資産 | — | — | 21,700 | 皆増 | 80,114 | 369.2 |
| 長期貸付金 | — | — | 21,700 | 皆増 | 41,150 | 189.6 |
| 貸倒引当金 | — | — | — | — | △ 5,050 | — |
| 長期前払消費税 | — | — | — | — | 44,014 | — |
| 流動資産 | 2,746,880 | 98.9 | 2,764,262 | 100.6 | 2,807,294 | 101.6 |
| 現金預金 | 998,100 | 126.6 | 1,062,199 | 106.4 | 1,178,234 | 110.9 |
| 未収金 | 1,729,849 | 87.7 | 1,678,531 | 97.0 | 1,606,251 | 95.7 |
| 貯蔵品 | 18,931 | 100.3 | 23,532 | 124.3 | 22,809 | 96.9 |
| 繰延勘定 | 19,307 | 46.8 | 18,432 | 95.5 | — | — |
| 資産合計 | 16,921,431 | 99.1 | 16,811,461 | 99.4 | 11,453,977 | 68.1 |

(負債の部)

| | | | | | | |
|-------------|-----------|-------|-----------|-------|-------------|-------|
| 固定負債 | 1,177,994 | 124.9 | 1,197,110 | 101.6 | 5,470,715 | 457.0 |
| 企業債 | 70,161 | 61.9 | 0 | 皆減 | 4,337,712 | 皆増 |
| 他会計借入金 | 700,000 | 100.0 | 560,000 | 80.0 | 280,000 | 50.0 |
| リース債務 | — | — | — | — | 137,441 | — |
| 引当金 | 407,833 | 314.7 | 637,110 | 156.2 | 715,562 | 112.3 |
| 流動負債 | 802,215 | 85.2 | 650,078 | 81.0 | 1,505,665 | — |
| 企業債 | — | — | — | — | 415,857 | — |
| 他会計借入金 | — | — | — | — | 140,000 | — |
| リース債務 | — | — | — | — | 172,543 | — |
| 未払金 | 781,438 | 84.9 | 629,898 | 80.6 | 571,778 | 90.8 |
| 引当金 | — | — | — | — | 184,392 | — |
| その他流動負債 | 20,777 | 96.8 | 20,180 | 97.1 | 21,095 | 104.5 |
| 繰延収益 | — | — | — | — | 3,267,570 | — |
| 長期前受金 | — | — | — | — | 9,359,376 | — |
| 長期前受金収益化累計額 | — | — | — | — | △ 6,091,806 | — |
| 負債合計 | 1,980,209 | 105.1 | 1,847,188 | 93.3 | 10,243,950 | 554.6 |

(資本の部)

| | | | | | | |
|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|------|
| 資本金 | 7,654,617 | 91.9 | 7,266,534 | 94.9 | 2,433,060 | 33.5 |
| 剰余金 | 7,286,605 | 104.4 | 7,716,171 | 105.9 | △ 1,223,033 | — |
| 資本剰余金 | 8,814,135 | 104.4 | 9,156,959 | 103.9 | 12,136 | 0.1 |
| 利益剰余金 | △ 1,527,530 | — | △ 1,440,788 | — | △ 1,235,169 | — |
| 資本合計 | 14,941,222 | 98.4 | 14,982,705 | 100.3 | 1,210,027 | 8.1 |

| | | | | | | |
|---------|------------|------|------------|------|------------|------|
| 負債・資本合計 | 16,921,431 | 99.1 | 16,829,893 | 99.5 | 11,453,977 | 68.1 |
|---------|------------|------|------------|------|------------|------|

4 診療行為別診療収入の状況

単位：千円

| | 平成24年度 | | | 平成25年度 | | | 平成26年度 | | | | |
|-------------|-------------|-----------|---------|--------|-----------|---------|--------|-----------|---------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | | |
| 入院 | 基本診療料 | 2,835,161 | 67.2 | 107.5 | 2,670,336 | 67.6 | 94.2 | 2,742,336 | 69.7 | 102.7 | |
| | 検査料 | 60,891 | 1.4 | 99.5 | 57,316 | 1.5 | 94.1 | 49,166 | 1.2 | 85.8 | |
| | 画像診断 | 21,548 | 0.5 | 85.6 | 21,043 | 0.5 | 97.7 | 18,839 | 0.5 | 89.5 | |
| | 投薬 | 50,997 | 1.2 | 103.2 | 46,547 | 1.2 | 91.3 | 41,051 | 1.0 | 88.2 | |
| | 注射 | 52,167 | 1.2 | 86.9 | 45,356 | 1.1 | 86.9 | 32,072 | 0.8 | 70.7 | |
| | 理学療法 | 143,718 | 3.4 | 125.2 | 148,861 | 3.8 | 103.6 | 144,065 | 3.7 | 96.8 | |
| | 処置 | 87,097 | 2.1 | 102.0 | 101,049 | 2.6 | 116.0 | 79,998 | 2.0 | 79.2 | |
| | 手術 | 867,025 | 20.6 | 108.1 | 763,326 | 19.3 | 88.0 | 730,823 | 18.6 | 95.7 | |
| | 麻酔 | 101,582 | 2.4 | 96.0 | 95,706 | 2.4 | 94.2 | 97,338 | 2.5 | 101.7 | |
| | 合計 | 4,220,185 | 100.0 | 107.1 | 3,949,540 | 100.0 | 93.6 | 3,935,688 | 100.0 | 99.6 | |
| | 患者1人当り収入(円) | 40,594 | — | 101.6 | 39,742 | — | 97.9 | 41,596 | — | 104.7 | |
| | 外来 | 基本診療料 | 325,691 | 16.8 | 108.3 | 325,863 | 16.6 | 100.1 | 326,534 | 16.4 | 100.2 |
| | | 検査料 | 445,825 | 23.0 | 102.6 | 463,401 | 23.6 | 103.9 | 470,597 | 23.7 | 101.6 |
| 画像診断 | | 294,515 | 15.2 | 105.5 | 297,332 | 15.1 | 101.0 | 293,411 | 14.8 | 98.7 | |
| 投薬 | | 44,554 | 2.3 | 132.0 | 59,854 | 3.0 | 134.3 | 67,936 | 3.4 | 113.5 | |
| 注射 | | 332,722 | 17.2 | 113.2 | 335,794 | 17.1 | 100.9 | 349,849 | 17.6 | 104.2 | |
| 理学療法 | | 27,153 | 1.4 | 112.2 | 25,895 | 1.3 | 95.4 | 28,511 | 1.4 | 110.1 | |
| 処置 | | 369,734 | 19.1 | 98.5 | 365,813 | 18.6 | 98.9 | 358,828 | 18.1 | 98.1 | |
| 手術 | | 30,845 | 1.6 | 84.2 | 27,568 | 1.4 | 89.4 | 25,633 | 1.3 | 93.0 | |
| 麻酔 | | 4,969 | 0.2 | 100.9 | 4,260 | 0.2 | 85.7 | 4,264 | 0.2 | 100.1 | |
| 精神療法 | | 3,416 | 0.2 | 89.9 | 3,059 | 0.2 | 89.5 | 3,005 | 0.2 | 98.2 | |
| 処方せん料 | | 58,809 | 3.0 | 104.1 | 57,895 | 2.9 | 98.4 | 57,339 | 2.9 | 99.0 | |
| 合計 | | 1,938,233 | 100.0 | 105.1 | 1,966,734 | 100.0 | 101.5 | 1,985,907 | 100.0 | 101.0 | |
| 患者1人当り収入(円) | | 10,810 | — | 103.9 | 11,097 | — | 102.7 | 11,344 | — | 102.2 | |

5 診療科別診療収入の状況

(1) 入院・外来合計

単位：千円

| 区分 | 平成24年度 | | | 平成25年度 | | | 平成26年度 | | |
|------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 |
| 内科 (*1) | 1,708,489 | 27.7 | 105.9 | 1,654,601 | 28.1 | 99.8 | 1,623,981 | 27.3 | 98.1 |
| 神経内科 (*2) | 14,812 | 0.2 | 110.6 | 13,788 | 0.2 | 93.1 | 13,604 | 0.2 | 98.7 |
| 消化器科 (*3) | 372,764 | 6.1 | 106.3 | 301,728 | 5.1 | 84.3 | 281,865 | 4.8 | 93.4 |
| 循環器科 (*3) | 571,359 | 9.3 | 110.2 | 528,385 | 8.9 | 96.3 | 524,572 | 8.9 | 99.3 |
| 小児科 | 213,952 | 3.5 | 101.0 | 170,570 | 2.9 | 83.9 | 157,058 | 2.7 | 92.1 |
| 外科 | 901,534 | 14.6 | 117.0 | 899,586 | 15.2 | 103.5 | 906,789 | 15.3 | 100.8 |
| 整形外科 | 862,024 | 14.0 | 100.0 | 873,329 | 14.8 | 105.2 | 900,035 | 15.2 | 103.1 |
| 脳神経外科 | 496,079 | 8.1 | 117.5 | 427,611 | 7.2 | 90.0 | 479,912 | 8.1 | 112.2 |
| 皮膚科 | 107,722 | 1.7 | 100.9 | 129,024 | 2.2 | 122.7 | 97,354 | 1.6 | 75.5 |
| 泌尿器科 | 347,070 | 5.6 | 96.7 | 375,414 | 6.3 | 112.5 | 401,879 | 6.8 | 107.0 |
| 産婦人科 | 355,330 | 5.8 | 104.3 | 339,556 | 5.7 | 100.1 | 332,738 | 5.6 | 98.0 |
| 眼科 | 62,183 | 1.0 | 89.2 | 55,998 | 0.9 | 93.7 | 59,202 | 1.0 | 105.7 |
| 耳鼻いんこう科 | 36,030 | 0.6 | 101.0 | 36,507 | 0.6 | 104.7 | 41,779 | 0.7 | 114.4 |
| 放射線科 | 19,919 | 0.3 | 128.5 | 17,820 | 0.3 | 89.5 | 20,760 | 0.4 | 116.5 |
| 神経科 | 5,419 | 0.1 | 91.5 | 4,874 | 0.1 | 89.9 | 4,572 | 0.1 | 93.8 |
| 麻酔科 | 3,702 | 0.1 | 113.1 | 3,213 | 0.1 | 72.8 | 3,077 | 0.1 | 95.8 |
| リハビリテーション科 | 21,121 | 0.3 | 87.8 | 18,514 | 0.3 | 87.7 | 20,253 | 0.3 | 109.4 |
| 歯科 | 58,909 | 1.0 | 95.1 | 65,756 | 1.1 | 108.6 | 52,165 | 0.9 | 79.3 |
| 合計 | 6,158,418 | 100.0 | 106.5 | 5,916,274 | 100.0 | 99.6 | 5,921,595 | 100.0 | 100.1 |

(*1)は、血液浄化を含む (*2)は、非常勤医師 (*3)は、一般内科（呼吸器内科、血液内科、糖尿病）を含む

救急科の診療収入については、傷病に応じ、他科で算定

単位：千円

(2) 入院

| 区分 | 平成24年度 | | | 平成25年度 | | | 平成26年度 | | |
|------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 |
| 内科 (*1) | 974,863 | 23.1 | 108.2 | 920,242 | 23.3 | 94.4 | 881,121 | 22.3 | 95.7 |
| 神経内科 (*2) | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 消化器科 (*3) | 286,973 | 6.8 | 107.7 | 225,124 | 5.7 | 78.4 | 199,795 | 5.1 | 88.7 |
| 循環器科 (*3) | 443,119 | 10.5 | 111.5 | 398,904 | 10.1 | 90.0 | 396,850 | 10.1 | 99.5 |
| 小児科 | 122,385 | 2.9 | 98.1 | 94,789 | 2.4 | 77.5 | 89,488 | 2.3 | 94.4 |
| 外科 | 687,890 | 16.3 | 113.9 | 683,270 | 17.3 | 99.3 | 668,910 | 17.0 | 97.9 |
| 整形外科 | 654,129 | 15.5 | 99.3 | 639,825 | 16.2 | 97.8 | 673,185 | 17.1 | 105.2 |
| 脳神経外科 | 438,899 | 10.4 | 119.1 | 363,358 | 9.2 | 82.8 | 412,758 | 10.5 | 113.6 |
| 皮膚科 | 63,303 | 1.5 | 98.0 | 86,890 | 2.2 | 137.3 | 59,186 | 1.5 | 68.1 |
| 泌尿器科 | 189,908 | 4.5 | 92.0 | 197,477 | 5.0 | 104.0 | 218,142 | 5.5 | 110.5 |
| 産婦人科 | 308,074 | 7.3 | 105.1 | 292,266 | 7.4 | 94.9 | 284,384 | 7.2 | 97.3 |
| 眼科 | 29,541 | 0.7 | 90.3 | 23,697 | 0.6 | 80.2 | 26,601 | 0.7 | 112.3 |
| 耳鼻いんこう科 | 12,661 | 0.3 | 93.1 | 11,849 | 0.3 | 93.6 | 18,259 | 0.5 | 154.1 |
| 放射線科 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 神経科 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 精神科 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 麻酔科 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| リハビリテーション科 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 歯科 | 8,440 | 0.2 | 76.3 | 11,849 | 0.3 | 140.4 | 7,009 | 0.2 | 59.2 |
| 口腔外科 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 4,220,185 | 100.0 | 107.1 | 3,949,540 | 100.0 | 98.7 | 3,935,688 | 100.0 | 99.6 |

(*1)は、血液浄化を含む (*2)は、非常勤医師 (*3)は、一般内科 (呼吸器内科、血液内科、糖尿病)を含む

救急科の診療収入については、傷病に応じ、他科で算定

単位：千円

(3) 外来

| 区分 | 平成24年度 | | | 平成25年度 | | | 平成26年度 | | |
|------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 | 金額 | 構成比 | 前年度比 |
| 内科 (*1) | 733,626 | 37.9 | 102.8 | 734,359 | 37.4 | 100.1 | 742,860 | 37.5 | 101.2 |
| 神経内科 (*2) | 14,812 | 0.8 | 117.3 | 13,788 | 0.7 | 93.1 | 13,604 | 0.7 | 98.7 |
| 消化器科 (*3) | 85,791 | 4.4 | 101.9 | 76,604 | 3.9 | 89.3 | 82,070 | 4.1 | 107.1 |
| 循環器科 (*3) | 128,240 | 6.6 | 105.9 | 129,481 | 6.6 | 101.0 | 127,722 | 6.4 | 98.6 |
| 小児科 | 91,567 | 4.7 | 105.0 | 75,781 | 3.9 | 82.8 | 67,570 | 3.4 | 89.2 |
| 外科 | 213,644 | 11.0 | 127.9 | 216,316 | 11.0 | 101.3 | 237,879 | 12.0 | 110.0 |
| 整形外科 | 207,895 | 10.7 | 102.5 | 233,504 | 11.9 | 112.3 | 226,850 | 11.4 | 97.2 |
| 脳神経外科 | 57,180 | 3.0 | 106.4 | 64,253 | 3.3 | 112.4 | 67,154 | 3.4 | 104.5 |
| 皮膚科 | 44,419 | 2.3 | 105.4 | 42,134 | 2.1 | 94.9 | 38,168 | 1.9 | 90.6 |
| 泌尿器科 | 157,162 | 8.1 | 103.0 | 177,937 | 9.0 | 113.2 | 183,737 | 9.3 | 103.3 |
| 産婦人科 | 47,256 | 2.4 | 99.3 | 47,290 | 2.4 | 100.1 | 48,354 | 2.4 | 102.2 |
| 眼科 | 32,642 | 1.7 | 88.2 | 32,301 | 1.6 | 99.0 | 32,601 | 1.6 | 100.9 |
| 耳鼻いんこう科 | 23,369 | 1.2 | 106.4 | 24,658 | 1.3 | 105.5 | 23,520 | 1.2 | 95.4 |
| 放射線科 | 19,919 | 1.0 | 128.5 | 17,820 | 0.9 | 89.5 | 20,760 | 1.0 | 116.5 |
| 神経科 | 5,419 | 0.3 | 91.5 | 4,874 | 0.2 | 89.9 | 4,572 | 0.2 | 93.8 |
| 麻酔科 | 3,702 | 0.2 | 98.8 | 3,213 | 0.2 | 86.8 | 3,077 | 0.2 | 95.8 |
| リハビリテーション科 | 21,121 | 1.1 | 87.8 | 18,514 | 0.9 | 87.7 | 20,253 | 1.0 | 109.4 |
| 歯科 | 50,469 | 2.6 | 99.5 | 53,907 | 2.7 | 106.8 | 45,156 | 2.3 | 83.8 |
| 合計 | 1,938,233 | 100.0 | 105.1 | 1,966,734 | 100.0 | 101.5 | 1,985,907 | 100.0 | 101.0 |

(*1)は、血液浄化を含む (*2)は、非常勤医師 (*3)は、一般内科（呼吸器内科、血液内科、糖尿病）を含む

救急科の診療収入については、傷病に応じ、他科で算定

Ⅲ 各部署の活動状況

1 診療部

1 平成26年度活動及び評価

- ① 第2次中期経営計画の初年度として、診療各科が経営に対する意識を持つとともに、患者さんへのサービスの向上、職員の職場満足度の向上に取り組んだ。
- ② 入院、外来患者数ともに前年度比で減少となったが、職員が一丸となって効率的、効果的なチーム医療の推進するとともに、平成25年度末から実施している医薬品SPDの適切な運用、後発医薬品の積極的利用などコスト削減の取組みにより、平成22年度から5年連続の黒字決算となった。
- ③ 平成26年度診療報酬改定で創設された「地域包括ケア病棟」について、平成26年10月から7階病棟を当該病棟とし、急性期医療後のリハビリ等回復期ニーズに対応する体制を強化した。
- ④ 高齢化が進む中、多くの疾患を有する患者さんに総合的な医療を提供するとともに、内科系を中心とした初診患者さんに対応するため、総合診療センターを設置した。
- ⑤ 診療録管理室に診療情報管理士2名を正職員として採用し、診療録の管理と企画立案の体制を強化することができた。
- ⑥ 当院は、地域がん診療連携拠点病院の指定を目指しているが、医師1名が「緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修」を受講し、修了者が2名となった。また、「緩和ケア研修会」を積極的に受講した（8名）。
- ⑦ 災害拠点病院として、DMAT2隊、医師4名がDMATの資格を有しているが、整形外科医師1名が「統括DMAT研修」を修了し、災害医療体制を強化することができた。
- ⑧ 当院は救急医療を担っているが、敦賀市医師会の実施する休日急患診療（外科系）の当番医療機関に参画し、休日の外科系医療ニーズへの対応を強化した。（9月を除く奇数月の第3日曜日）

2 平成27年度目標

- ① 診療報酬改定に迅速かつ柔軟に対応するとともに、今後、福井県が策定する地域医療構想について策定段階から積極的に参画し、国の進める地域包括ケアシステムの構築への取組みに対して、地域の中核病院として積極的な役割を果たす。
- ② 昨年度設置した地域包括ケア病棟を増床し、急性期、回復期の病床配分を最適化するとともに、在宅復帰を推進し患者さんのQOLを高める。
- ③ 地域完結型の医療を強化するため、救急科、麻酔科、産婦人科をはじめ各診療科の医師の安定的な確保、非常勤医師のみとなっている神経内科、神経科精神科の医師の確保など、関連大学との連携を強化して医師の確保に取り組む。また、研修医を確保して当院への定着を目指す。

2 医療安全管理室

1 平成26年活動

「医療安全活動を通して医療の質の向上を図る」を目標に掲げ、下記の活動を行った。

①医療安全大会の実施

| 実施日 | 演題名等 | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|------|
| 平成26年 6月17日 6月30日 7月2日 7月4日 | 第11回医療安全大会 「転倒・転落の事故状況報告」 「医療コミュニケーション」 【各部署の取り組み】 「患者情報入力の確認」 「多職種チームで取り組んだ事例」 | 医療安全管理者 医療安全推進統括者 医療サービス課長補佐 検査室臨床検査技師 | 522名 |
| 平成27年 2月23日 ～ 2月25日 | 第12回医療安全大会 【各部署の取り組み】 「お家に帰ることを支える地域包括ケア病棟」 「配薬間違い防止策についてお薬ポーチの採用」 「NICU入院時の検体を提出し忘れた事例の考察」 「指示簿指示の見直しを行って…」 【医薬品研修】 「これだけは知っておきたい薬物アレルギーのお話し」 【化学療法に関する安全研修会】 「抗がん薬の曝露について」 | 本館7階病棟看護師長 北館4階病棟看護師長 北館5階病棟看護師長 本館4階病棟看護師長 薬剤部長 がん化学療法看護認定看護師 | 526名 |

②講習会などの実施

| 実施日 | 演題名等 | 講師 | 参加者 |
|----------------|--|-------------------------|------|
| 平成26年 11月6日 | 「最近の医療事故について感ずること」 新しい事故調査制度のスタートにむけて | 成田・長谷川法律事務所 成田 清 弁護士 | 226名 |

2 平成26年度評価

より適切な対応策を検討するため要因分析実施の支援を強化した。

アクシデント（レベル3a以上）の要因分析実施率は、平成25年度40%から26年度46%へ上がった。

3 平成27年度目標

- ①インシデント・アクシデントの対策が自発的に立案できるようにする。
 - ・レベル3以上の根本原因分析（実施率50%以上）
 - ・全コメディカルスタッフからのインシデントレポート提出4ヶ月毎に1枚（年3枚/人）
- ②同事例の再発防止に努める。
 - ・各部門のマニュアルの改訂（1項目/年）
- ③医療従事者が安全に医療を提供する。
 - ・医療安全大会への参加率を上げる。（参加率目標100%）
 - ・定期的な医療安全情報の提供
（医療安全だより1回/月、ニュース4回/月など）
- ④医療事故調査制度を理解し迅速な報告を行う。
 - ・事故調査に関する研修（9月弁護士による研修会開催）

3 感染制御センター

1 平成26年度活動

平成24年度4月より、感染制御センターを設置。病院に関わるすべての人々及び地域市民を感染から守るため、感染対策の実施および感染に関する知識の向上を目指し活動を行った。感染制御チームのメンバーが実働部隊として、また、今年度は感染リンカーナースから感染リンクスタッフへと拡大し、感染に対する活動を継続して行った。

- ①サーベイランスの実施（血流関連感染、尿道留置カテーテル感染、人工呼吸器関連感染）
- ②抗菌薬の適正使用の確認（届出率の確認）
- ③感染対策マニュアルの改訂（感染対策に関する組織体制、インフルエンザ、ノロウイルスなど）
- ④職業関連感染対策
- ⑤感染対策についての相談（コンサルテーション）
- ⑥感染対策についての教育・啓蒙活動
- ⑦ファシリティマネジメント（洗浄・消毒・滅菌業務の見直し、感染性廃棄物の管理、空調、水質管理、院内清掃、リネンの取り扱い、給食管理）についての検討
- ⑧アウトブレイク事例の対応および検討
- ⑨地域医療機関との連携（加算取得病院との情報交換およびラウンド等）

2 平成26年度評価

感染防止対策加算1算定医療機関の連携および感染防止対策加算1と2の連携については、3年目を迎え継続した関わりが出来てきている。昨年、嶺南地域は感染防止対策加算2の取得病院が少ないこともあり、加算2取得病院を育成した。今年度から、その病院と感染対策防止加算1・2の連携を年4回実施した。

また、一昨年の年末からノロウイルスによる集団食中毒が発生し、病院として大きなダメージを受けた。早期発見できたことはよかったが、その後の二次感染や、三次感染などを拡大させないために職員一丸となって、環境整備や給食の配膳を行った。現在も月1回の定期的な調理場へのラウンドなどを実施しながら、対策を継続している。

3 平成27年度活動目標

- ・病院環境を整え、アウトブレイクを起こさないための感染対策を充実させる。
- ・院内の感染対策に関する職員の意識・知識の向上のために指導・教育を実践する。
- ・院内感染が早期発見できるように連絡・報告の体制を充実させていく。
- ・嶺南地域の医療機関との連携を行い、地域の感染対策に関する知識・技術が向上できる活動を実践する。

4 医療支援部

(1) 医療・福祉相談支援室

1 平成26年度活動及び評価

- ①社会福祉士1名が、がん相談支援センター相談員研修(3)を修了し、がんに関する適切な相談対応に努めた。
- ②入院案内窓口において、夜間・休日の入院患者への説明についても翌日に行うことを継続した結果、即日入院患者に対する入院説明が528人増えた。
- ③入院案内窓口、相談受付カウンターを改装し、相談窓口を分かりやすくした。また、「相談室窓口担当者の心得」を作成し、窓口職員として適切な対応に努めた。
- ④入院案内パンフレットを新規作成し、入院生活を快適に過ごしていただけるよう内容を分かりやすく記載した。

2 平成27年度目標

- ①医療・福祉相談への的確な対応
- ②入院患者への説明、案内業務の拡大及び充実
- ③相談窓口の周知
- ④がん診療連携拠点病院の指定を目指し、がん相談を推進する

(2) 地域医療連携室

1 平成26年度活動

- ①地域医療機関との連携を促進した。
 - ・紹介患者の円滑な受入れ
 - ・医師会との意見交換会の実施
 - ・地域包括ケア病棟の開設にあたり、関係医療機関、施設、事業所に説明し広報を実施した。
 - ・地域連携広報誌「きらめき」を年3回発行するとともに、パンフレット「かかりつけ医ガイド」を発行した。
 - ・地域開放学習会、出前講座の開催

(地域開放学習会、出前講座の開催状況)

| 実施日 | 地域開放学習会 演題名 | 所属・役職名・氏名 | 参加者(人) |
|----------------|-----------------------------------|------------------------------|--------|
| 平成26年 6月20日 | 「糖尿病の病態生理」 「糖尿病患者のフィジカルアセスメント」 | 看護部 糖尿病看護認定看護師 看護師長 加藤久代 | 45 |
| 7月18日 | 「①高齢者救急(アセスメントの対応とポイント)」 | 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 37 |
| 8月1日 | 「二州地区での当院の役割 地域包括ケア病棟について」 | 医療支援部地域医療連携室 室長 田中知子 | 29 |

| | | | |
|----------------|---|--|----|
| 8月22日 | 「がんの痛みを知りアセスメント力をつけ ましょう」 「在宅での感染対策Q&A」（疥癬、MR SA編） | 看護部 がん性疼痛看護認定看護師 看護師長 田辺里江 看護部 感染管理認定看護師 看護師長 小堀和美 | 17 |
| 9月9日 | 「歯科口腔外科における口腔ケアの取り組 みについて」 | 歯科口腔外科 歯科衛生士 館 陽子 | 23 |
| 9月19日 | 「化学療法開始時の意思決定支援 自分で 決めていく力を支援する」 「②一次救命処置（心肺蘇生法と異物除 去：成人・小児）」 | 看護部 がん化学療法認定看護師 主任看護師 奥 佐知子 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 17 |
| 10月17日 | 「褥創についてI（基礎編）原因発生から 創の分類について」 「乳がんとピンクリボン」 | 看護部 皮膚排泄ケア認定看護師 主任看護師 稲垣香緒里 看護部 がん化学療法認定看護師 主任看護師 奥 佐知子 | 26 |
| 11月21日 | 「家族ケアとグリーフケア（家族アセスメ ント、関わり方について）」 「褥創についてII（予防、処置編）一休圧 分散、創処置について」 | 看護部 緩和ケア認定看護師 看護師 仲間有希 看護部 皮膚排泄ケア認定看護師 主任看護師 稲垣香緒里 | 28 |
| 12月19日 | 「在宅での感染対策Q&A」（インフルエン ザ、ノロウイルス編） 「希望を支える意思決定支援（がん患者の 心理過程とポイント）」 | 看護部 感染管理認定看護師 看護師長 小堀和美 看護部 緩和ケア認定看護師 看護師 仲間有希 | 9 |
| 平成27年 1月16日 | 「褥創の症例検討（各施設からの事例をも とに）」 「①高齢者救急（アセスメントの対応とポ イント）」 | 看護部 皮膚排泄ケア認定看護師 主任看護師 稲垣香緒里 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 21 |
| 3月20日 | 「②一次救命処置（心肺蘇生法と異物除 去：成人・小児）」 | 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 6 |

| 実施日 | 出前講座 演題名・対象 | 所属・役職名・氏名 | 参加者 (人) |
|----------------|---|------------------------------|------------|
| 平成26年 6月20日 | 「家庭での急病やケガの応急手当」 小児の母親 | 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 45 |
| 7月14日 | 「放射線のことを知ろう（医療で使われる 放射線について）」 敦賀女性エネの会 | 放射線科 診療放射線技師 山本理佐 | 20 |
| 7月15日 | 「子供の心肺蘇生法」 小児の母親 | 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 20 |
| 8月28日 | 「子供の心肺蘇生法」 小児の母親 | 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 16 |
| 10月21日 | 「子供の急病時の対処法」 小児の母親 | 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 20 |
| 11月20日 | 「ノロウイルスのお話」 医療法人明峰会 | 看護部 感染管理認定看護師 看護師長 小堀和美 | 24 |
| 11月27日 | 「子供の急病時の対処法」 小児の母親 | 看護部 救急看護認定看護師 主任看護師 藤原貞美子 | 20 |
| 平成27年 1月13日 | 「食べて動いて健康寿命を延ばそう」 敦賀女性エネの会 | 看護部 糖尿病看護認定看護師 看護師長 加藤久代 | 20 |

②紹介率及び逆紹介率の向上に取り組んだ。

地域医療支援病院の取得要件に関する基準の変更に伴い、紹介率50%、逆紹介率70%を目標とした。

③平成25年度に5床増床した開放型病床について、かかりつけ医の利用を促進した。

- ④地域包括ケア病棟について、病棟看護師を対象とした説明会を開催した。また、全職員を対象に在宅移行支援研修会を1回開催した。
- ⑤地域連携パスを推進した。(脳卒中、大腿骨頸部骨折、心筋梗塞)
- ⑥ふくいメディカルネットの運用を開始した。地域医療連携を強化するため「かかりつけ医」との連携を推進した。

2 平成26年度評価

認定看護師による地域開放学習会や、市民への出前講座などを継続して実施した。

平成26年4月から、紹介率、逆紹介率の計算式が変更となり、前年度と比較し紹介率は7%低下し、逆紹介率は7.8%上昇した。

退院調整については、地域医療支援係と退院支援係間での情報共有を行い、病棟とも連携し、地域包括ケア病棟の活用に繋げた。その結果、退院時担当者会議開催件数は18%上昇した。地域連携パス運用件数は5%低下した。

3 平成27年度目標

- ①地域医療機関と連携し、地域医療支援病院の承認を目指す。
(紹介率50%、逆紹介率70%、開放型病床利用率80%)
 - ・地域連携パスの運用件数を増やす。
- ②地域住民の医療機能分化への理解と関心を深める。
 - ・出前講座 10回/年
 - ・地域医療従事者とともに医療の質の向上を図る。
地域開放学習会 12回/年
- ③退院困難患者の早期退院支援を行う。
 - ・院内外の連携強化
 - ・地域包括ケア病棟での在宅復帰移行支援の推進

5 医療技術部

1 平成26年度活動状況、評価

①医療技術部内の情報共有

- ・医療技術部責任者会議を開催し、部署の取り組みなど情報共有化を図った。(4回開催)

第1回：5月1日、第2回：8月11日、第3回：12月9日、
第4回：3月30日

②多職種共同の研修会の実施

- ・多職種共同の研修会を2回開催し、初回は、新人の自己紹介を兼ねての発表を、2回目は、放射線被ばくに関する発表を行った。

第1回：6月6日、第2回：1月15日

2 平成27年度目標

①医療技術部内の情報共有（責任者会議：毎月開催する。）

②多職種共同による院内研修会の開催（医療技術部2カ月に1回、多職種に跨るベシックレクチャーを2カ月に1回行う。）

③人事考課制度への取り組み（平成28年度の実施に向けて、実施案の策定）

(1) 検査室

1 平成26年度活動

①患者サービスの向上及び他職種、チーム医療への業務支援

- ・総務企画課と協力し、採尿用トイレについて患者利便性の向上に取り組んだ。
- ・朝礼での挨拶運動を継続して行い、接遇への意識向上を図った。
- ・尿素呼気試験の院内化を実施し、患者利便性の向上に取り組んだ。
- ・各種委員会及びチームに積極的に参加し、臨床検査技師の視点から業務の支援を行った。
- ・カプセル内視鏡読影支援など診療業務の支援を行った。

②検査の質の向上

- ・学会発表及び研修会参加のサポートに努めた。
- ・検査室新人研修プログラムの一環として、プリセプターシップ制度を導入し、新人教育を行った。
- ・業務改善及び各種検査マニュアルを改訂した。
- ・新しい検査項目の導入等の検討を行った。

③経費の削減

- ・検査試薬等の見直しを実施した。
- ・診療材料、消耗品等の見直し等により、診療材料費の削減に努めた。

2 平成26年度評価

上記の活動を通じて、当初の目標は概ね達成できており、検査室の機能及び患者サービスの向上につながった。

3 平成27年度目標

継続性を重視し、「患者サービスの向上」を基本とした「検査の質の向上」、「経費の削減」を目標とする。

- ①患者サービスの向上及び他職種、チーム医療への業務支援
 - ・他部署、他職種との連携による、患者サービス向上の推進
 - ・他部署、他職種との連携による、業務支援の継続
- ②検査の質の向上
 - ・検査マニュアル改定の取り組みの継続
 - ・新規検査項目導入検討の継続
 - ・学会、研修会参加支援の継続
 - ・検査室スタッフの教育活動サポート
- ③経費の削減
 - ・検査コスト及び診療材料費削減の取り組みの継続

(2) 放射線室

1 平成26年度活動状況と評価

平成27年度の放射線部門システムの更新に向け、効率・リスク・安定性・経費について多方向より検討を重ね、安定稼働・安定配信に向けシステムの構築（案）の作成を行った。

(スタッフの教育・研修)

- ①院外において、研修やセミナーに部門（モダリティー）ごとに、県内外を問わず積極的に参加した。
- ②院内では定例で、科内ミーティングの場所で毎月スタッフが交代で自由な題材で発表を行った。
- ③定例外で他科も参加し、MRI勉強会や診療材料・薬剤等の勉強会を行い、また、QCサークルでは2か月に一回、リハビリテーション室と共に日常業務で感じたことや疑問点などを議題として挙げ、発表やカンファレンスを行うことにより、相互の業務に役立てた。
- ④医療被ばく低減認定施設に向けて、データの収集を行った。
- ⑤原子力防災、緊急被ばく、DMAT等の研修及び訓練に積極的に参加した。

(人事考課制度への取り組み)

面談で目標設定内容（指標・期間・ポイント）についてヒアリングを行った。
また、放射線室の現状についても話し合いを行った。

2 平成27年度活動目標

放射線科部門システムの更新に向けて、医用画像・患者情報の管理とセキュリティの強化を図る。

実質的な、経営分析に取り組む。

(3) リハビリテーション室

1 平成26年度活動

- ①入院患者の心大血管リハビリテーションを週5回に増やし、心臓リハビリテーションの充実を図った。
- ②処方日からリハビリテーションを開始して急性期患者の治療時間を増やすことで、初期加算・早期加算の増加を図った。
- ③がんのリハビリテーション研修会へ参加し、がんリハ専従スタッフの増加を図った。
- ④地域包括ケア病棟に専従スタッフを配置したことにより病棟看護師等との連携が深まり、退院前訪問指導など在宅復帰に向けての積極的なリハビリテーションが展開できた。
- ⑤3連休以上の長期休暇において、リハビリテーションを実施した。
- ⑥福井県子ども療育センターからの療法士派遣回数を増やすことで、小児リハビリテーションの対象患者増加に対応した。
- ⑦地域包括ケア病棟を開設したことによる療法士の業務負担軽減のため、随時採用により増員を図った。
- ⑧他科との合同研修会を開催し、職員の知識・技術の向上が図れた。

2 平成26年度評価

- ・上記活動の結果、リハビリテーション室として増収につながった。
- ・知識・技術の向上が図られ、質の高いリハビリテーションの提供につながった。
- ・退院前訪問指導を実施することにより患者・家族の不安を軽減でき、患者満足度の向上が図られた。
- ・療法士の随時採用により、地域包括ケア病棟のリハ単位基準を維持できた。

3 平成27年度目標

- ①外来患者の心大血管リハビリテーションを週に2回から3回に増やし、心臓リハビリテーションの充実を図る。
- ②リハビリテーション開始日に、リハビリテーション総合実施計画書を用いて説明し、計画的にリハビリテーションを実施する。
- ③がんのリハビリテーション研修会へ参加し、がんリハ専従スタッフの増加を図る。
- ④地域包括ケア病棟の増床に対応するため専従スタッフを育成し、在宅復帰に向け

てのリハビリテーションを展開する。

- ⑤地域包括ケア病棟の増床に対応するために、各療法士の増員を図る。また、各養成校への就職説明会に積極的に参加し当院の良さをアピールする。
- ⑥福井県こども療育センターからの療法士派遣を継続することで、小児リハビリテーションの質を高める。
- ⑦土日以外の休日において、リハビリテーションを実施する。
- ⑧他科との合同研修会を開催し、職員の知識・技術の向上を図る。

(4) 臨床工学技術室

1 平成26年度活動

- ①透析センターにおける業務を円滑に実施した。
- ②病棟透析・急性血液浄化・PCPS等の業務における対応を円滑に実施した。
- ③稼働中の人工呼吸器の動作中点検を、毎日実施した。
- ④中央管理化しているME機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ・人工呼吸器・経腸栄養ポンプ・電動式低圧吸引機）の管理を安定して行った。
- ⑤除細動器及びAEDの日常点検を行い、管理を強化した。
- ⑥手術室業務として、術中回収式自己血輸血（オーソパット・セルセーバー）を円滑に実施しました。
- ⑦高気圧酸素療法業務を円滑に実施した。
- ⑧看護師を対象に人工呼吸器に係る初級取扱い講習会を実施した。
- ⑨透析液水質確保加算に対応した透析液の管理を実施した。
- ⑩その他院内にある様々な医療機器の修理やトラブル対応を行った。

2 平成26年度評価

上記活動を通じて、当該年度の目標はほぼ達成できた。中でも看護師対象の人工呼吸器の研修(実習)は全病棟に対して実施できた。

しかし、輸液ポンプをはじめ人工呼吸器等の中央管理機器の運用については更なる検討が必要であると考える。

今後も安全で効率的なME機器の運用に向け努力していきたい。

3 平成27年度目標

- ①平成26年度の活動の継続と強化を図る。
- ②MEセンターや透析センター以外での活動を増やす。

(5) 栄養管理室

1 平成26年度活動と評価

食品衛生自主管理プログラムの認証取得、給食業務の衛生管理、マニュアルの周知徹底及び調理現場の定期的な巡回点検の実施により、食中毒をはじめインシデン

ト、アクシデントを予防し、安全でおいしい食事を提供した。また、朝食用献立（パン食）、幼児食の献立を見直し改善することができた。

一方、外来栄養指導など目標どおりには進まず、指導件数は維持できなかった。

2 平成27年度目標

- ①衛生管理を徹底し、安全で安心な食事を提供する。
 - ・衛生管理マニュアルを周知徹底させる。
 - ・インシデント、アクシデントの再発予防に努める。
- ②患者満足度の高い献立を検討する。
 - ・食事アンケート結果を踏まえ、献立の見直しを行う。
 - ・食事内容の改善を目的に委託業者との給食会議を開催する。
 - ・行事、旬の食材、地産地消などを考慮した献立を充実させる。
- ③適切な栄養管理を実施する。
 - ・適切な栄養管理の立案ができる。
 - ・個々に応じた食事内容や形態を提案できる。
 - ・個人栄養指導の件数を維持する。
 - ・外来栄養指導を充実させる。
 - ・研修会及び講演会に積極的に参加する。
- ④積極的にチーム医療に参画する。
 - ・チーム医療の一員として専門性を発揮する。

6 薬剤部

1 平成26年度活動

安全かつ安心な薬物療法の支援を行う

①調剤関連業務

- ・安全管理の充実：調剤関連事故防止のため、安全管理体制を強化する。
- ・薬剤の適正使用推進：適正使用推進のための仕組みを構築する。

②薬剤管理指導業務および病棟常駐業務

- ・モデル病棟において病棟業務を試行
：病棟常駐に向けて業務の可視化（数値化）を行う。

③医薬品情報管理業務

- ・業務全体を再構築
：業務を再構築し医薬品適正使用ためタイムリーな情報提供を行う。
- ・ハイリスク薬、特殊薬剤について適正使用のシステムを提案する。
- ・後発医薬品の選定：引き続き、適切な後発品の選定導入を目指す。

④医療安全対策業務

- ・業務改善の推進
：薬剤部QCレポート用紙の評価を行いさらなる業務改善を行う。

⑤医薬品管理業務

- ・SPDの導入を行い、在庫管理システムを評価する。

⑥各種委員会関係

- ・積極的参加：各種委員会へ積極的に参加し薬学的観点から提案を行う。
- ・化学療法委員会関連
：化学療法関連業務（レジメン管理ミキシング等）の円滑な実施を行う。
- ・感染対策委員会：抗MRSA薬を中心に適正使用を推進する。
- ・栄養サポートチーム：経腸栄養剤・静脈栄養剤の適正使用に貢献する。
- ・緩和ケア委員会：緩和ケアマニュアル改訂への協力
- ・糖尿病チーム：関連マニュアルの整備

⑦薬薬連携の推進

- ・医療連携の推進：医療連携推進のなか薬剤師同士の連携を強化する。

薬薬連携の集いの開催、合同研修会の実施

2 平成26年度評価

基本的業務の再構築とともに、SPDの導入及び業務体制を確立することができた。

また病棟業務についてはモデル病棟を設定し取り組んだ。しかしマンパワー不足のため充分に取り組みが出来ていない業務もあった。

3 平成27年度目標

安全かつ安心な薬物療法の支援を行う

①調剤関連業務

- ・安全管理の充実：調剤関連事故防止のため、安全管理体制を強化する。
- ・薬剤の適正使用推進：適正使用推進のための仕組みを構築する。

②薬剤管理指導業務および病棟常駐業務

- ・モデル病棟において病棟業務を試行
：服薬説明のみでなく、常駐に向けて業務の可視化（数値化）を行う。

③医薬品情報管理業務

- ・医薬品適正使用ためタイムリーな情報提供を行う。
- ・ハイリスク薬、特殊薬剤について適正使用のシステムを提案する。
- ・後発医薬品の選定：引き続き、適切な後発品の選定導入を目指す。

④医療安全対策業務

- ・業務改善の推進
：薬剤部内レポート用紙の評価を行いさらなる業務改善を行う。

⑤医薬品管理業務

- ・SPDを定着、在庫管理システムを評価する。

⑥各種委員会関係

- ・積極的参加：各種委員会へ積極的に参加し薬学的観点から提案を行う。
- ・化学療法委員会関連
：化学療法関連業務（レジメン管理ミキシング等）の円滑な実施を行う。
- ・感染対策委員会：抗MRSA薬を中心に適正使用を推進する。
- ・栄養サポートチーム：経腸栄養剤・静脈栄養剤の適正使用に貢献する。
- ・緩和ケア委員会：緩和ケアマニュアル改訂への協力
- ・糖尿病チーム：関連マニュアルの整備

⑦薬薬連携の推進

- ・医療連携の推進：医療連携推進のなか薬剤師同士の連携を強化する。

薬薬連携の集いの開催、合同研修会の実施

7 看護部

1 平成26年度活動及び評価

- ①地域医療の発展に寄与するため、看護の専門性を高める
 - ・認定看護師の学会参加、看護研究発表などを積極的に実施できた。
 - ・地域で出前講座を通じて、医療、看護に関する情報提供を行うとともに、看護の専門性の向上が図られた。
 - ・敦賀市立看護大学の開学に伴い学生の実習受入れが始まるとともに、実習指導者と大学側との打合せを行い、良好な実習環境の整備に努めた。
 - ・地域包括ケア病棟を一病棟開設し、在宅復帰に力を入れることができた。
 - ・インターンシップ、看護体験などの希望に対し積極的に対応し、看護職や就職先としての当院の魅力について情報発信することができた。
- ②医療安全（感染防止）に組織的に取り組み、安全・安心な看護の提供を行う
 - ・院内の勉強会への参加を促し、報告体制を確立した。
 - ・看護部内で発生した事例について、医療安全管理室と協力して記録体制を整備した。
- ③魅力的な職場環境を築き、職員の満足度を高め、看護の充実につなげる
 - ・看護体制の見直しのため、他院の研修に積極的に参加した。
 - ・院内保育所の活用、育児休業後の育児短時間勤務の活用により、全員の復帰が図られた。
 - ・看護体制を変更し、学生からも就職希望先として高い評価を得た。
 - ・前年度と比べ、離職率が下がった。
- ④部署の特性を踏まえ、安全で効率的・専門性を発揮できる看護体制の検討と導入に取り組む
 - ・他院での研修会の参加を通し、看護体制の改善に至った部署は一部であるが、着実に業務効率が改善されていることから、次年度以降も継続的に取り組み、看護部全体としての統一された体制の整備に繋げていきたい。

2 平成27年度目標

- ①信頼と温もりのある組織風土を作る
- ②医療安全、感染防止に組織的に取り組み、安全・安心な看護を提供に努める
- ③看護体制を整え、臨床実践能力を高め、看護の質向上に努める
- ④人材確保と学生実習体制の充実に取り組む
- ⑤部署の経営戦略をもち、看護部全体で経営に参画する

8 事務局

(1) 総務企画課

1 平成26年度活動

- ①医師・看護師等医療従事者の確保対策
 - ・医師確保のため関係機関への交渉を継続した。
 - ・研修医3名採用。
 - ・敦賀市立看護大学の実習受入を開始した。
 - ・薬剤師修学資金貸付制度を創設した。
- ②中期経営計画の推進と策定
 - ・地域包括ケア病棟を開設した。(平成26年10月1日)
- ③効率的な経営形態の構築
 - ・新公営企業会計制度を導入した。
- ④在宅医療体制の整備
 - ・在宅医療推進部会を設置した。
- ⑤施設整備の計画的補修と円滑な管理
 - ・原子力災害対策施設、看護師勤務環境改善に係る施設整備を着工した。

2 平成26年度評価

各部署一丸となり、目標に取り組んだ結果、5年連続で黒字決算となった。平成27年度も経営状況が厳しくなることが予想されるため、更なる効果効率的な経営を目指してまいりたい。

3 平成27年度目標

- ①医師・看護師等医療従事者の確保対策
 - ・常勤医師の確保…47名(研修医除く)の確保
 - ・研修医の確保…6名(フルマッチ)の確保
 - ・看護師の確保…30名増(看護師の負担軽減を図る)
 - ・薬剤師の確保…3名増(病棟配置を目指す)
 - ・リハビリ職員の確保…若干名(地域包括ケア病棟の円滑な運営)
- ②中期経営計画の推進
 - ・病院経営形態の見直し
- ③在宅医療体制の整備
 - ・在宅医療体制の設置及びサービスの開始
- ④医療器械の効果的配置
 - ・医療器械購入機種選定委員会の継続的開催
- ⑤施設整備の計画的補修と円滑な管理
 - ・職員更衣室、休憩室の充実

(2) 医療サービス課

1 平成26年度活動

- ①DPC分析の強化と地域連携室との業務強化
 - ・他医療機関とのベンチマーク比較の評価
 - ・疾病マップを作成し開業医との強化
- ②電子診療録システム更新
 - ・電子診療録システム更新及び院内整備
- ③未収金回収の効率化
 - ・未収金回収依頼の増加や積極的な未収金相談の実施
- ④診療報酬改正に伴う適切な請求業務
 - ・医療事務委託業者に対する評価表の充実
 - ・レセプト査定率の削減

2 平成26年度評価

- ・DPC分析により算定項目の改善が図られた。
- ・DPCコーディングの適正化が図られた。
- ・疾病マップを作成した。
- ・電子診療録システムを更新した。

3 平成27年度目標

- ①情報システムの適切な整備・運用
 - ・情報システム管理台帳及びシステム連携図を作成する。
- ②未収金削減に向けた取り組み
 - ・未収金回収依頼の増加や積極的な未収金相談を実施し、未収金回収を強化する。
- ③診療報酬改正に伴う適切な請求事務
 - ・医事業務委託業者に対する評価表の充実を図る
 - ・レセプト査定率の削減を図る。

IV 業務の概要

1 患者の状況

(1) 入院・外来別患者数

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----|-----------|---------|---------|---------|
| 入院 | 患者数（人） | 103,962 | 99,380 | 94,618 |
| | 対前年度比（%） | 105.4 | 95.6 | 95.2 |
| | 開院日（日） | 365 | 365 | 365 |
| | 一日平均（人） | 284.8 | 272.3 | 259.2 |
| | 病床利用率（%） | 85.8 | 82.0 | 78.1 |
| | 平均在院日数（日） | 17.9 | 17.2 | 17.0 |
| 外来 | 患者数（人） | 179,292 | 177,235 | 175,061 |
| | 対前年度比（%） | 101.2 | 98.9 | 98.8 |
| | 開院日（日） | 245 | 244 | 244 |
| | 一日平均（人） | 731.8 | 726.4 | 717.5 |
| 合計 | 患者数（人） | 283,254 | 276,615 | 269,679 |
| | 対前年度比（%） | 102.7 | 97.7 | 97.5 |

※診療報酬の基本診療料の施設基準等の別表第2に規定する入院患者も含む。

(2) 患者数の推移

①入院患者数

| | 病床数 | | | | 患者延数（人） | 対前年度比（%） | 1日平均患者数（人） |
|--------|-----|----|-----|----|---------|----------|------------|
| | 一般 | 感染 | ドック | 無菌 | | | |
| 平成21年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 99,970 | 98.6 | 273.9 |
| 平成22年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 104,761 | 104.8 | 287.0 |
| 平成23年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 98,625 | 94.1 | 269.5 |
| 平成24年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 103,962 | 105.4 | 284.8 |
| 平成25年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 99,380 | 95.6 | 272.3 |
| 平成26年度 | 323 | 2 | 6 | 1 | 94,618 | 95.2 | 259.2 |

②外来患者数

| | 患者延数（人） | 対前年度比（%） | 1日平均患者数（人） |
|--------|---------|----------|------------|
| 平成21年度 | 172,546 | 95.1 | 713.0 |
| 平成22年度 | 176,631 | 102.4 | 726.9 |
| 平成23年度 | 177,200 | 100.3 | 726.2 |
| 平成24年度 | 179,292 | 101.2 | 731.8 |
| 平成25年度 | 177,235 | 98.9 | 726.4 |
| 平成26年度 | 175,061 | 98.8 | 717.5 |

(3) 診療科別患者数

| | 入院 | | | | 外来 | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| | 平成24年度(人) | 平成25年度(人) | 平成26年度(人) | 対前年度比(%) | 平成24年度(人) | 平成25年度(人) | 平成26年度(人) | 対前年度比(%) |
| 内科 | 29,744 | 27,929 | 25,823 | 92.5 | 41,370 | 41,118 | 41,101 | 100.0 |
| 神経内科 | 0 | 0 | 0 | - | 1,659 | 1,684 | 1,630 | 96.8 |
| 消化器科 | 7,580 | 5,606 | 4,759 | 84.9 | 7,277 | 6,771 | 7,425 | 109.7 |
| 循環器科 | 7,088 | 6,887 | 6,749 | 98.0 | 12,439 | 12,599 | 12,204 | 96.9 |
| 小児科 | 3,555 | 2,794 | 2,468 | 88.3 | 11,842 | 10,390 | 9,447 | 90.9 |
| 外科 | 14,241 | 14,026 | 13,510 | 96.3 | 13,350 | 13,247 | 12,256 | 92.5 |
| 整形外科 | 15,271 | 15,829 | 15,488 | 97.8 | 21,537 | 22,346 | 20,967 | 93.8 |
| 脳神経外科 | 11,105 | 10,390 | 11,379 | 109.5 | 7,476 | 7,976 | 8,187 | 102.6 |
| 皮膚科 | 2,267 | 3,250 | 1,898 | 58.4 | 9,027 | 8,706 | 8,969 | 103.0 |
| 泌尿器科 | 4,882 | 5,056 | 5,612 | 111.0 | 14,369 | 15,147 | 15,397 | 101.7 |
| 産婦人科 | 7,286 | 6,628 | 6,034 | 91.0 | 6,839 | 6,667 | 6,882 | 103.2 |
| 眼科 | 352 | 320 | 208 | 65.0 | 6,282 | 6,137 | 5,885 | 95.9 |
| 耳鼻いんこう科 | 434 | 477 | 581 | 121.8 | 4,885 | 4,519 | 4,111 | 91.0 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | - | 1,005 | 909 | 902 | 99.2 |
| 神経科精神科 | 0 | 0 | 0 | - | 1,229 | 1,205 | 1,145 | 95.0 |
| 麻酔科 | 1 | 0 | 0 | - | 3,161 | 2,940 | 2,866 | 97.5 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | - | 6,681 | 5,720 | 5,724 | 100.1 |
| 歯科口腔外科 | 156 | 188 | 109 | 58.0 | 8,864 | 9,154 | 9,963 | 108.8 |
| 合計 | 103,962 | 99,380 | 94,618 | 95.2 | 179,292 | 177,235 | 175,061 | 98.8 |

※救急科患者は、傷病に応じて、各診療科で人数を計上

(4) 市町村別患者数

| | 平成24年度 | | | | | | 平成25年度 | | | | | | 平成26年度 | | | | | | |
|----|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|------|
| | 外来 | | 入院 | | 合計 | | 外来 | | 入院 | | 合計 | | 外来 | | 入院 | | 合計 | | |
| | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | 延患者数 (人) | 比率 (%) | |
| 県内 | 敦賀市 | 148,311 | 82.8 | 81,766 | 78.6 | 230,077 | 81.2 | 147,660 | 83.3 | 79,973 | 80.5 | 227,633 | 82.3 | 145,172 | 82.9 | 74,902 | 79.2 | 220,074 | 81.6 |
| | 美浜町 | 16,498 | 9.2 | 10,973 | 10.6 | 27,471 | 9.7 | 15,934 | 9.0 | 10,188 | 10.2 | 26,122 | 9.5 | 16,297 | 9.3 | 9,979 | 10.2 | 26,276 | 9.5 |
| | 若狭町 | 8,826 | 4.9 | 6,587 | 6.3 | 15,413 | 5.5 | 8,404 | 4.7 | 5,425 | 5.5 | 13,829 | 5.0 | 8,425 | 4.8 | 5,621 | 5.9 | 14,046 | 5.2 |
| | その他 | 2,183 | 1.2 | 1,541 | 1.5 | 3,724 | 1.3 | 2,225 | 1.3 | 1,462 | 1.5 | 3,687 | 1.3 | 1,907 | 1.1 | 1,311 | 1.4 | 3,218 | 1.2 |
| 県外 | 3,474 | 1.9 | 3,095 | 3.0 | 6,569 | 2.3 | 3,012 | 1.7 | 2,332 | 2.3 | 5,344 | 1.9 | 3,260 | 1.9 | 2,805 | 3.0 | 6,065 | 2.2 | |
| 合計 | 179,292 | 100.0 | 103,962 | 100.0 | 283,254 | 100.0 | 177,235 | 100.0 | 99,380 | 100.0 | 276,615 | 100.0 | 175,061 | 100.0 | 94,618 | 100.0 | 269,679 | 100.0 | |

(5) 月別患者数

平成26年度

入院

単位：人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 一日平均 | 構成割合 (%) |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------------|
| 内科 | 2,237 | 2,378 | 2,104 | 2,052 | 1,956 | 1,726 | 1,899 | 1,820 | 2,295 | 2,676 | 2,377 | 2,303 | 25,823 | 70.7 | 27.3 |
| 神経内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 消化器科 | 499 | 512 | 436 | 419 | 351 | 331 | 311 | 282 | 357 | 346 | 487 | 428 | 4,759 | 13.0 | 5.0 |
| 循環器科 | 569 | 537 | 483 | 574 | 491 | 472 | 648 | 621 | 675 | 678 | 459 | 542 | 6,749 | 18.5 | 7.1 |
| 小児科 | 228 | 222 | 177 | 225 | 155 | 162 | 201 | 251 | 259 | 151 | 210 | 227 | 2,468 | 6.8 | 2.6 |
| 外科 | 1,074 | 1,096 | 1,081 | 1,164 | 1,098 | 1,149 | 1,275 | 959 | 1,129 | 1,207 | 1,127 | 1,151 | 13,510 | 37.0 | 14.3 |
| 整形外科 | 1,248 | 1,087 | 987 | 1,107 | 1,354 | 1,187 | 1,448 | 1,466 | 1,637 | 1,360 | 1,306 | 1,301 | 15,488 | 42.4 | 16.4 |
| 脳神経外科 | 819 | 846 | 850 | 989 | 1,006 | 916 | 860 | 981 | 990 | 1,221 | 944 | 957 | 11,379 | 31.2 | 12.0 |
| 皮膚科 | 271 | 208 | 114 | 142 | 186 | 92 | 117 | 94 | 155 | 126 | 185 | 208 | 1,898 | 5.2 | 2.0 |
| 泌尿器科 | 452 | 410 | 421 | 449 | 501 | 479 | 375 | 340 | 475 | 597 | 570 | 543 | 5,612 | 15.4 | 5.9 |
| 産婦人科 | 393 | 514 | 385 | 419 | 461 | 414 | 469 | 508 | 505 | 660 | 677 | 629 | 6,034 | 16.5 | 6.4 |
| 眼科 | 14 | 32 | 16 | 18 | 14 | 16 | 16 | 16 | 18 | 16 | 16 | 16 | 208 | 0.6 | 0.2 |
| 耳鼻いんこう科 | 78 | 73 | 38 | 45 | 40 | 52 | 48 | 51 | 34 | 36 | 55 | 31 | 581 | 1.6 | 0.6 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 神経科精神科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 歯科口腔外科 | 27 | 6 | 0 | 13 | 6 | 6 | 8 | 3 | 13 | 8 | 12 | 7 | 109 | 0.3 | 0.1 |
| 合計 | 7,909 | 7,921 | 7,092 | 7,616 | 7,619 | 7,002 | 7,675 | 7,392 | 8,542 | 9,082 | 8,425 | 8,343 | 94,618 | 259.2 | 100.0 |

外来

単位：人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | 一日平均 | 構成割合 (%) |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-------|----------|
| 内科 | 3,459 | 3,451 | 3,266 | 3,530 | 3,394 | 3,403 | 3,513 | 3,108 | 3,533 | 3,744 | 3,171 | 3,529 | 41,101 | 168.4 | 23.5 |
| 神経内科 | 156 | 101 | 151 | 140 | 130 | 148 | 156 | 125 | 153 | 113 | 121 | 136 | 1,630 | 6.7 | 0.9 |
| 消化器科 | 598 | 605 | 585 | 634 | 556 | 615 | 646 | 596 | 684 | 653 | 574 | 679 | 7,425 | 30.4 | 4.2 |
| 循環器科 | 1,081 | 1,020 | 966 | 1,121 | 962 | 1,004 | 1,109 | 883 | 1,041 | 1,044 | 957 | 1,016 | 12,204 | 50.0 | 7.0 |
| 小児科 | 819 | 798 | 746 | 830 | 827 | 708 | 824 | 728 | 825 | 773 | 699 | 870 | 9,447 | 38.7 | 5.4 |
| 外科 | 1,084 | 999 | 979 | 1,095 | 1,026 | 1,059 | 1,097 | 956 | 956 | 1,022 | 897 | 1,086 | 12,256 | 50.2 | 7.0 |
| 整形外科 | 1,814 | 1,881 | 1,812 | 1,934 | 1,746 | 1,727 | 1,876 | 1,516 | 1,721 | 1,729 | 1,524 | 1,687 | 20,967 | 85.9 | 12.0 |
| 脳神経外科 | 648 | 675 | 691 | 750 | 607 | 688 | 732 | 668 | 686 | 690 | 606 | 746 | 8,187 | 33.6 | 4.7 |
| 皮膚科 | 727 | 802 | 679 | 936 | 835 | 806 | 801 | 657 | 681 | 641 | 661 | 743 | 8,969 | 36.8 | 5.1 |
| 泌尿器科 | 1,325 | 1,267 | 1,294 | 1,454 | 1,107 | 1,428 | 1,378 | 1,025 | 1,395 | 1,277 | 1,067 | 1,380 | 15,397 | 63.1 | 8.8 |
| 産婦人科 | 525 | 529 | 574 | 601 | 582 | 588 | 670 | 513 | 580 | 533 | 524 | 663 | 6,882 | 28.2 | 3.9 |
| 眼科 | 490 | 523 | 510 | 535 | 466 | 502 | 491 | 445 | 466 | 464 | 455 | 538 | 5,885 | 24.1 | 3.4 |
| 耳鼻いんこう科 | 353 | 340 | 335 | 365 | 354 | 311 | 387 | 338 | 313 | 322 | 304 | 389 | 4,111 | 16.8 | 2.3 |
| 放射線科 | 87 | 82 | 79 | 75 | 67 | 70 | 81 | 73 | 73 | 74 | 71 | 70 | 902 | 3.7 | 0.5 |
| 神経科精神科 | 112 | 111 | 95 | 127 | 99 | 100 | 86 | 76 | 90 | 94 | 67 | 88 | 1,145 | 4.7 | 0.7 |
| 麻酔科 | 243 | 216 | 225 | 241 | 231 | 245 | 268 | 219 | 231 | 242 | 237 | 268 | 2,866 | 11.7 | 1.6 |
| リハビリテーション科 | 531 | 532 | 543 | 492 | 418 | 414 | 449 | 423 | 488 | 467 | 463 | 504 | 5,724 | 23.5 | 3.3 |
| 歯科口腔外科 | 851 | 824 | 819 | 855 | 784 | 834 | 833 | 738 | 841 | 828 | 826 | 930 | 9,963 | 40.8 | 5.7 |
| 合計 | 14,903 | 14,756 | 14,349 | 15,715 | 14,191 | 14,650 | 15,397 | 13,087 | 14,757 | 14,710 | 13,224 | 15,322 | 175,061 | 726.3 | 100.0 |

※救急科患者は、傷病に応じて、各診療科で人数を計上。

(6) 救急患者の取扱状況

平成24年度

単位：人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|--------|
| 内科 | 338 | 399 | 371 | 357 | 519 | 391 | 346 | 413 | 452 | 510 | 402 | 413 | 4,911 |
| 神経内科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 4 |
| 消化器科 | 19 | 25 | 21 | 25 | 25 | 27 | 14 | 23 | 39 | 29 | 25 | 29 | 301 |
| 循環器科 | 16 | 16 | 20 | 21 | 9 | 10 | 8 | 20 | 19 | 18 | 15 | 9 | 181 |
| 小児科 | 216 | 189 | 114 | 182 | 126 | 134 | 112 | 173 | 154 | 127 | 181 | 138 | 1,846 |
| 外科 | 57 | 52 | 40 | 57 | 67 | 69 | 45 | 39 | 54 | 42 | 34 | 36 | 592 |
| 整形外科 | 156 | 164 | 162 | 199 | 235 | 145 | 121 | 168 | 165 | 157 | 107 | 140 | 1,919 |
| 脳神経外科 | 69 | 90 | 102 | 91 | 82 | 82 | 87 | 79 | 90 | 86 | 77 | 95 | 1,030 |
| 皮膚科 | 53 | 39 | 41 | 89 | 83 | 68 | 49 | 47 | 39 | 35 | 26 | 34 | 603 |
| 泌尿器科 | 30 | 22 | 26 | 48 | 39 | 46 | 31 | 26 | 38 | 28 | 26 | 38 | 398 |
| 産婦人科 | 32 | 46 | 58 | 31 | 24 | 57 | 39 | 46 | 38 | 38 | 30 | 14 | 453 |
| 眼科 | 8 | 23 | 15 | 22 | 26 | 12 | 11 | 9 | 12 | 7 | 5 | 10 | 160 |
| 耳鼻いんこう科 | 34 | 52 | 33 | 31 | 43 | 37 | 52 | 40 | 38 | 30 | 34 | 29 | 453 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 神経科精神科 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 麻酔科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 11 |
| 救急科 | 10 | 0 | 2 | 1 | 6 | 6 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | 35 |
| 合計 | 1,039 | 1,118 | 1,006 | 1,155 | 1,285 | 1,084 | 921 | 1,085 | 1,141 | 1,107 | 964 | 996 | 12,901 |
| 入院患者数(再掲) | 168 | 163 | 178 | 147 | 168 | 149 | 167 | 140 | 181 | 166 | 155 | 129 | 1,911 |
| 救急車台数(台) | 148 | 149 | 159 | 176 | 201 | 164 | 156 | 167 | 192 | 189 | 151 | 157 | 2,009 |

平成25年度

単位：人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|-----|-------|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-------|--------|
| 内科 | 354 | 369 | 291 | 384 | 409 | 301 | 302 | 306 | 429 | 525 | 435 | 402 | 4,507 |
| 神経内科 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 7 |
| 消化器科 | 13 | 23 | 16 | 19 | 4 | 15 | 17 | 20 | 31 | 21 | 14 | 21 | 214 |
| 循環器科 | 13 | 17 | 16 | 17 | 16 | 13 | 17 | 13 | 13 | 14 | 7 | 13 | 169 |
| 小児科 | 134 | 160 | 127 | 141 | 174 | 108 | 96 | 120 | 160 | 184 | 176 | 177 | 1,757 |
| 外科 | 38 | 37 | 40 | 46 | 45 | 28 | 41 | 38 | 23 | 27 | 33 | 25 | 421 |
| 整形外科 | 170 | 155 | 219 | 193 | 206 | 156 | 138 | 128 | 180 | 142 | 114 | 144 | 1,945 |
| 脳神経外科 | 91 | 96 | 80 | 99 | 113 | 83 | 81 | 93 | 103 | 111 | 75 | 84 | 1,109 |
| 皮膚科 | 37 | 47 | 68 | 97 | 118 | 65 | 54 | 44 | 47 | 34 | 27 | 36 | 674 |
| 泌尿器科 | 27 | 28 | 40 | 38 | 33 | 52 | 29 | 35 | 41 | 33 | 28 | 31 | 415 |
| 産婦人科 | 40 | 28 | 46 | 51 | 54 | 37 | 40 | 48 | 29 | 58 | 32 | 21 | 484 |
| 眼科 | 16 | 12 | 5 | 13 | 12 | 8 | 6 | 12 | 10 | 7 | 8 | 6 | 115 |
| 耳鼻いんこう科 | 31 | 42 | 32 | 34 | 40 | 56 | 41 | 32 | 46 | 54 | 20 | 37 | 465 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 神経科精神科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 麻酔科 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 12 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 10 |
| 救急科 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 8 |
| 合計 | 967 | 1,025 | 983 | 1,133 | 1,228 | 925 | 863 | 890 | 1,114 | 1,210 | 972 | 1,002 | 12,312 |
| 入院患者数(再掲) | 138 | 144 | 141 | 174 | 174 | 130 | 158 | 172 | 165 | 185 | 125 | 135 | 1,841 |
| 救急車台数(台) | 146 | 135 | 152 | 167 | 221 | 158 | 153 | 163 | 180 | 174 | 137 | 167 | 1,953 |

平成26年度

単位：人

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-----|-----|--------|
| 内科 | 312 | 363 | 283 | 354 | 390 | 309 | 273 | 279 | 380 | 554 | 357 | 347 | 4,201 |
| 神経内科 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 6 |
| 消化器科 | 20 | 21 | 20 | 21 | 20 | 9 | 19 | 21 | 14 | 18 | 13 | 16 | 212 |
| 循環器科 | 10 | 22 | 15 | 16 | 14 | 20 | 12 | 17 | 30 | 24 | 10 | 9 | 199 |
| 小児科 | 128 | 128 | 123 | 146 | 142 | 109 | 109 | 117 | 163 | 173 | 127 | 152 | 1,617 |
| 外科 | 43 | 30 | 21 | 23 | 30 | 46 | 39 | 32 | 40 | 33 | 20 | 16 | 373 |
| 整形外科 | 118 | 142 | 125 | 131 | 150 | 136 | 117 | 123 | 140 | 112 | 90 | 111 | 1,495 |
| 脳神経外科 | 69 | 84 | 81 | 78 | 60 | 81 | 90 | 102 | 89 | 82 | 74 | 74 | 964 |
| 皮膚科 | 31 | 68 | 68 | 83 | 75 | 69 | 48 | 51 | 50 | 25 | 24 | 21 | 613 |
| 泌尿器科 | 23 | 25 | 24 | 26 | 34 | 31 | 17 | 25 | 43 | 34 | 24 | 24 | 330 |
| 産婦人科 | 24 | 26 | 12 | 18 | 18 | 17 | 26 | 12 | 30 | 31 | 13 | 12 | 239 |
| 眼科 | 9 | 16 | 5 | 5 | 7 | 7 | 7 | 3 | 5 | 3 | 4 | 9 | 80 |
| 耳鼻いんこう科 | 35 | 47 | 36 | 37 | 36 | 26 | 28 | 43 | 26 | 31 | 19 | 32 | 396 |
| 放射線科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 神経科精神科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 麻酔科 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 歯科口腔外科 | 2 | 2 | 4 | 4 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 19 |
| 救急科 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| 合計 | 825 | 974 | 822 | 942 | 978 | 863 | 786 | 827 | 1,011 | 1,121 | 778 | 823 | 10,750 |
| 入院患者数(再掲) | 125 | 123 | 105 | 138 | 128 | 124 | 157 | 155 | 173 | 158 | 103 | 120 | 1,609 |
| 救急車台数(台) | 152 | 137 | 128 | 167 | 166 | 164 | 175 | 150 | 198 | 182 | 126 | 150 | 1,895 |

(7) 患者搬送の状況

単位：件

| | 平成24年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | |
|-----|--------|----------------|--------|----------------|--------|----------------|
| | | 周産期医療 関係搬送数 | | 周産期医療 関係搬送数 | | 周産期医療 関係搬送数 |
| 市 内 | 1 | | 9 | | 11 | |
| 県 内 | 48 | 6 | 75 | 7 | 78 | 9 |
| 石川県 | 2 | | 1 | | | |
| 岐阜県 | | | 1 | | | |
| 京都府 | 1 | | | | | |
| 滋賀県 | | | 1 | | | |
| 奈良県 | | | | | 1 | |
| 合計 | 52 | 6 | 86 | 7 | 90 | 9 |

2 人間ドックの状況

単位：件、円

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 | |
|------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 24年度 | 1日ドック | 5 | 15 | 21 | 39 | 62 | 47 | 47 | 52 | 27 | 30 | 30 | 411 | |
| | 2日ドック | 0 | 4 | 6 | 5 | 11 | 6 | 6 | 3 | 5 | 1 | 0 | 56 | |
| | 脳ドック単独 | 0 | 3 | 0 | 2 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 3 | 1 | 26 | |
| | オプション検査 | 27 | 58 | 64 | 65 | 63 | 73 | 58 | 49 | 50 | 36 | 30 | 43 | 616 |
| | けんぽ一般 | 41 | 122 | 131 | 132 | 92 | 114 | 137 | 124 | 80 | 56 | 115 | 60 | 1,204 |
| | けんぽ付加 | 3 | 2 | 4 | 4 | 4 | 10 | 7 | 5 | 2 | 1 | 0 | 5 | 47 |
| | 乳がん | 5 | 16 | 16 | 16 | 13 | 18 | 22 | 17 | 14 | 5 | 22 | 13 | 177 |
| | 子宮がん | 6 | 16 | 11 | 18 | 13 | 25 | 18 | 15 | 18 | 6 | 21 | 16 | 183 |
| | 子宮がん (20～40歳) | 2 | 9 | 18 | 6 | 3 | 6 | 4 | 6 | 3 | 2 | 2 | 8 | 69 |
| | 眼底 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計件数 | 89 | 245 | 271 | 287 | 263 | 302 | 302 | 266 | 223 | 141 | 222 | 178 | 2,789 |
| | 金額 | 1,088,852 | 3,533,058 | 4,024,224 | 4,823,077 | 5,577,398 | 5,222,223 | 5,551,881 | 4,953,015 | 4,120,982 | 2,761,718 | 3,487,141 | 2,891,377 | 48,034,946 |
| 25年度 | 1日ドック | 6 | 13 | 25 | 38 | 62 | 36 | 38 | 40 | 42 | 42 | 26 | 390 | |
| | 2日ドック | 2 | 2 | 2 | 9 | 10 | 5 | 2 | 3 | 1 | 4 | 5 | 49 | |
| | 脳ドック単独 | 2 | 6 | 5 | 4 | 6 | 2 | 3 | 2 | 6 | 5 | 3 | 4 | 48 |
| | オプション検査 | 24 | 72 | 56 | 52 | 70 | 51 | 55 | 40 | 36 | 31 | 39 | 32 | 558 |
| | けんぽ一般 | 49 | 139 | 122 | 138 | 88 | 114 | 107 | 113 | 83 | 89 | 95 | 85 | 1,222 |
| | けんぽ付加 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 5 | 7 | 8 | 4 | 8 | 2 | 4 | 47 |
| | 乳がん | 5 | 14 | 10 | 23 | 9 | 20 | 21 | 19 | 18 | 10 | 12 | 18 | 179 |
| | 子宮がん | 3 | 14 | 12 | 25 | 14 | 22 | 23 | 21 | 18 | 7 | 13 | 16 | 188 |
| | 子宮がん (20～40歳) | 7 | 3 | 11 | 5 | 2 | 7 | 6 | 2 | 0 | 0 | 4 | 2 | 49 |
| | 眼底 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計件数 | 99 | 265 | 246 | 295 | 263 | 262 | 262 | 231 | 208 | 193 | 214 | 192 | 2,730 |
| | 金額 | 1,529,261 | 3,895,907 | 4,157,367 | 5,314,689 | 5,821,933 | 4,692,215 | 4,709,298 | 4,181,695 | 4,078,812 | 3,863,499 | 4,339,037 | 3,397,700 | 49,981,413 |
| 26年度 | 1日ドック | 16 | 21 | 31 | 48 | 67 | 33 | 41 | 30 | 25 | 25 | 27 | 397 | |
| | 2日ドック | 1 | 2 | 5 | 8 | 4 | 4 | 5 | 2 | 1 | 1 | 3 | 41 | |
| | 脳ドック単独 | 0 | 3 | 0 | 7 | 5 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 3 | 31 | |
| | オプション検査 | 25 | 51 | 45 | 53 | 66 | 55 | 45 | 32 | 36 | 32 | 19 | 475 | |
| | けんぽ一般 | 48 | 133 | 140 | 116 | 78 | 124 | 132 | 125 | 109 | 102 | 103 | 64 | 1,274 |
| | けんぽ付加 | 3 | 2 | 2 | 6 | 4 | 6 | 6 | 4 | 2 | 5 | 5 | 2 | 47 |
| | 乳がん | 5 | 12 | 15 | 13 | 13 | 20 | 18 | 13 | 18 | 17 | 22 | 20 | 186 |
| | 子宮がん | 6 | 11 | 14 | 11 | 12 | 20 | 17 | 16 | 19 | 16 | 21 | 21 | 184 |
| | 子宮がん (20～40歳) | 1 | 5 | 11 | 5 | 2 | 2 | 1 | 1 | 4 | 0 | 2 | 4 | 38 |
| | 眼底 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 合計件数 | 105 | 240 | 263 | 267 | 251 | 266 | 267 | 231 | 224 | 200 | 201 | 158 | 2,673 |
| | 金額 | 2,092,149 | 3,739,200 | 4,900,592 | 5,564,271 | 5,443,644 | 4,703,685 | 5,102,671 | 4,485,441 | 4,008,356 | 3,540,336 | 3,407,327 | 2,882,459 | 49,870,131 |

3 中央手術室業務の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 内 科 | | | |
| 神 経 内 科 | 32 | 39 | 33 |
| 消 化 器 科 | | | |
| 循 環 器 科 | | | |
| 小 児 科 | 0 | 0 | 0 |
| 外 科 | 550 | 554 | 513 |
| 整 形 外 科 | 430 | 420 | 422 |
| 脳 神 経 外 科 | 80 | 64 | 69 |
| 皮 膚 科 | 13 | 17 | 11 |
| 泌 尿 器 科 | 144 | 185 | 153 |
| 産 婦 人 科 | 124 | 114 | 116 |
| 眼 科 | 143 | 108 | 96 |
| 耳 鼻 い ん こ う 科 | 8 | 2 | 9 |
| 放 射 線 科 | 0 | 0 | 0 |
| 神 経 科 精 神 科 | 0 | 0 | 0 |
| 麻 酔 科 | 0 | 0 | 0 |
| リハビリテーション科 | 0 | 0 | 0 |
| 歯 科 口 腔 外 科 | 33 | 40 | 30 |
| 合 計 | 1,557 | 1,543 | 1,452 |

4 種類別麻酔件数

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 全 身 麻 酔 | 844 | 801 | 833 |
| 腰 椎 麻 酔 ・ 硬 膜 外 麻 酔 | 237 | 269 | 229 |
| 局 所 麻 酔 | 476 | 473 | 376 |
| そ の 他 | 0 | 0 | 14 |
| 合 計 | 1,557 | 1,543 | 1,452 |

5 内視鏡検査件数

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 食 道 ・ 胃 ・ 十 二 指 腸 | 3,333 | 3,383 | 3,238 |
| 臍 ・ 胆 道 | 148 | 133 | 124 |
| 大 腸 | 1,000 | 977 | 1,068 |
| 気 管 支 | 87 | 92 | 85 |
| カプセル内視鏡検査 | 27 | 31 | 25 |
| 合 計 | 4,595 | 4,616 | 4,540 |

6 周産期医療の状況

(1) 月別出産等の状況

平成26年度

単位：件

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 総数 | 経膈分娩 | 14 | 25 | 22 | 17 | 20 | 17 | 20 | 16 | 20 | 31 | 24 | 20 | 246 |
| | 帝王切開 | 7 | 10 | 4 | 5 | 6 | 3 | 9 | 12 | 5 | 8 | 8 | 6 | 83 |
| | 計 | 21 | 35 | 26 | 22 | 26 | 20 | 29 | 28 | 25 | 39 | 32 | 26 | 329 |
| 時間内 | 経膈分娩 | 2 | 4 | 8 | 5 | 1 | 9 | 3 | 4 | 6 | 6 | 9 | 6 | 63 |
| | 帝王切開 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 3 | 6 | 10 | 1 | 4 | 6 | 4 | 52 |
| | 計 | 6 | 7 | 12 | 8 | 5 | 12 | 9 | 14 | 7 | 10 | 15 | 10 | 115 |
| 時間外 | 経膈分娩 | 0 | 5 | 2 | 3 | 3 | 0 | 7 | 5 | 1 | 5 | 4 | 3 | 38 |
| | 帝王切開 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 12 |
| | 計 | 1 | 6 | 2 | 5 | 4 | 0 | 8 | 6 | 1 | 6 | 6 | 5 | 50 |
| 深夜等 | 経膈分娩 | 12 | 16 | 12 | 9 | 16 | 8 | 10 | 7 | 13 | 20 | 11 | 11 | 145 |
| | 帝王切開 | 2 | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 4 | 3 | 0 | 0 | 19 |
| | 計 | 14 | 22 | 12 | 9 | 17 | 8 | 12 | 8 | 17 | 23 | 11 | 11 | 164 |

平成25年度

単位：件

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 総数 | 経膈分娩 | 20 | 22 | 31 | 27 | 31 | 16 | 25 | 28 | 33 | 27 | 17 | 14 | 291 |
| | 帝王切開 | 4 | 8 | 2 | 5 | 4 | 10 | 10 | 7 | 6 | 8 | 6 | 7 | 77 |
| | 計 | 24 | 30 | 33 | 32 | 35 | 26 | 35 | 35 | 39 | 35 | 23 | 21 | 368 |

平成24年度

単位：件

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 総数 | 経膈分娩 | 23 | 31 | 30 | 22 | 16 | 29 | 22 | 22 | 26 | 24 | 16 | 18 | 279 |
| | 帝王切開 | 6 | 4 | 8 | 14 | 9 | 4 | 9 | 6 | 6 | 12 | 2 | 6 | 86 |
| | 計 | 29 | 35 | 38 | 36 | 25 | 33 | 31 | 28 | 32 | 36 | 18 | 24 | 365 |

時間内：平日 8:30～17:00

時間外：平日 6:00～ 8:30、17:00～22:00

深夜等：平日22:00～ 6:00、土曜日、日曜日、祝日

(2) 助産師外来の開設状況（延件数）

単位：件

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 平成26年度 | 12 | 19 | 6 | 14 | 8 | 8 | 10 | 9 | 9 | 12 | 10 | 8 | 125 |
| 平成25年度 | 21 | 12 | 14 | 19 | 12 | 12 | 21 | 11 | 14 | 14 | 12 | 6 | 168 |
| 平成24年度 | 19 | 19 | 17 | 12 | 15 | 12 | 13 | 13 | 10 | 7 | 14 | 11 | 162 |

7 薬剤室業務の状況

(1) 調剤業務の状況

単位：件

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|-----|--------|--------|--------|
| 調 剤 数 | 外 来 | 16,644 | 18,090 | 14,809 |
| | 入 院 | 64,393 | 66,051 | 67,249 |
| | 合 計 | 81,037 | 84,141 | 82,058 |
| 処 方 箋 枚 数 | 外 来 | 8,760 | 8,980 | 7,788 |
| | 入 院 | 33,891 | 32,295 | 32,469 |
| | 合 計 | 42,651 | 41,275 | 40,257 |

(2) 服薬指導の状況

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------------|--------|--------|--------|
| 服 薬 指 導 患 者 数 (人) | 2,730 | 1,904 | 2,051 |
| 服 薬 指 導 延 回 数 (回) | 3,275 | 2,285 | 2,462 |

(3) 注射剤調製の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------------------|--------|--------|--------|
| 外 来 注 射 (化 学 療 法) | 1,407 | 1,206 | 1,270 |
| 外来注射 (レミケード注他抗リウマチ薬) | 173 | 156 | 129 |
| 入 院 注 射 (化 学 療 法) | 236 | 241 | 249 |
| 入院注射 (レミケード注他抗リウマチ薬) | 43 | 26 | 24 |
| 入 院 注 射 (中 心 静 脈) | 0 | 0 | 0 |

(4) 後発医薬品採用率

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------------------|--------|--------|--------|
| 採 用 率 (%) | 13.7 | 17.0 | 18.7 |
| 当 院 採 用 の 後 発 医 薬 品 数 | 176 | 220 | 243 |
| 当 院 採 用 の 全 医 薬 品 数 | 1,284 | 1,291 | 1,297 |

採用率 (%) = 当院採用の後発医薬品数 / 当院採用の全医薬品数

8 人工透析の状況

単位：人

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------|--------|--------|--------|
| 多 人 数 用 装 置 | 15,198 | 14,987 | 14,519 |
| 単 身 用 装 置 | 314 | 602 | 454 |
| 合 計 | 15,512 | 15,589 | 14,973 |

平成26年度末現在

患者数 (定期) 98 人

多人数用装置設置台数 22台 (透析センター)

単身用装置設置台数 3台 (MEセンター 2台、HCU 1台)

イーカム用血液浄化機 3台 (MEセンター 2台、HCU 1台)

※単身用装置実績にイーカム用も含む。

9 放射線科（室）の状況

（1）撮影の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 一般撮影 | 33,996 | 36,026 | 32,380 |
| 尿路撮影（DIP） | 169 | 99 | 53 |
| 透視撮影 | 1,180 | 1,132 | 1,170 |
| 血管造影撮影 | 751 | 581 | 533 |
| CT（2台） | 11,929 | 12,404 | 11,860 |
| MRI（1台） | 3,915 | 4,052 | 3,956 |
| 超音波診断 | 3,730 | 3,915 | 3,657 |
| RI | 698 | 535 | 540 |
| 放射線治療 | 1,311 | 871 | 858 |
| 骨密度測定 | 852 | 1,053 | 1,102 |
| マンモグラフィ | 1,547 | 1,643 | 1,511 |
| 合計 | 60,078 | 62,311 | 57,620 |

（2）フィルム及びCD/DVDの使用状況

単位：枚

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 半切CR用 | 479 | 499 | 548 |
| CR-MMG | 5,218 | 5,489 | 5,098 |
| B4版CR用 | 156 | 109 | 120 |
| CD/DVD | 2,142 | 2,207 | 2,517 |
| 合計 | 7,995 | 8,304 | 8,283 |

（3）血管撮影検査の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 脳神経外科 | 94 | 66 | 75 |
| 循環器科 | 456 | 337 | 322 |
| 放射線科 | 201 | 178 | 136 |
| 合計 | 751 | 581 | 533 |

（4）MRI検査の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 院内件数 | 3,559 | 3,710 | 3,612 |
| 院外件数 | 356 | 342 | 344 |
| 合計 | 3,915 | 4,052 | 3,956 |
| 頭部件数 | 1,894 | 1,924 | 1,976 |
| 体部件数 | 2,021 | 2,128 | 1,980 |
| 合計 | 3,915 | 4,052 | 3,956 |

（5）CT検査の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|
| MDCCT（CT室①） | 8,292 | 5,107 | 4,417 |
| MDCCT（CT室②） | 3,637 | 7,297 | 7,443 |
| Single CT（CT室②） | 11月廃棄 | | |
| 合計 | 11,929 | 12,404 | 11,860 |
| 院内件数 | 11,628 | 12,101 | 11,561 |
| 院外件数 | 301 | 303 | 299 |
| 合計 | 11,929 | 12,404 | 11,860 |

(6) 核医学検査の状況

単位：件

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | | |
|-------|-----------|--------|--------|--------|-----|--|
| 脳神経系 | 脳血流 | 81 | 51 | 89 | 107 | |
| | 脳血流（負荷） | 11 | 12 | 15 | | |
| | 脳 | 92 | 64 | 3 | | |
| | 脳槽 | | | | | |
| | シャントフロー | | | | | |
| 循環器系 | 心筋血流（同期） | 13 | 6 | 2 | 116 | |
| | 心筋脂肪酸代謝 | 14 | 7 | | | |
| | 心筋交感神経 | 18 | 12 | 9 | | |
| | 急性心筋梗塞 | 8 | 5 | 6 | | |
| | 代謝＋血流同時 | 48 | 37 | 47 | | |
| | 負荷心筋（運動） | 48 | 18 | 16 | | |
| | 負荷心筋（薬剤） | 102 | 63 | 30 | | |
| | 心プール | | 1 | | | |
| | 四肢血流（上肢） | | | | | |
| | 四肢血流（下肢） | 4 | 2 | 5 | | |
| | 静脈血栓 | 1 | | 1 | | |
| | 循環血漿流量 | | | | | |
| 呼吸器系 | 肺血流 | 4 | 1 | 6 | 11 | |
| | 肺換気 | 3 | | 4 | | |
| | 静脈血栓 | 1 | 1 | 1 | | |
| 消化器系 | 肝 | | | | 2 | |
| | 胆道 | | | | | |
| | 唾液腺 | 3 | 2 | 1 | | |
| | メックェル憩室 | | 1 | 1 | | |
| | 蛋白漏出試験 | 2 | 1 | | | |
| | 異所性胃粘膜 | | | | | |
| | 胃排泄能試験 | | | | | |
| | 門脈循環短絡 | | | | | |
| 消化管出血 | 1 | | | | | |
| 内分泌系 | 甲状腺 | 4 | | | 2 | |
| | 副甲状腺 | 2 | 9 | 2 | | |
| 腎尿路系 | レノグラム | 9 | 5 | 5 | 20 | |
| | レノグラム（負荷） | 7 | 2 | 4 | | |
| | 腎 | 8 | 1 | 9 | | |
| | 副腎 | 4 | 4 | 2 | | |
| | 精巣 | | | | | |
| 全身検索系 | 骨 | 226 | 229 | 212 | 282 | |
| | 腫瘍・炎症 | 70 | 58 | 64 | | |
| | 骨髄 | | | 1 | | |
| | リンパ節 | 6 | 6 | 5 | | |
| | 筋血流 | | | | | |
| 合計 | | 698 | 535 | 540 | | |

(7) 放射線治療の状況

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| 新患者数（人） | 61 | 37 | 33 |
| 延治療件数（件） | 1,311 | 871 | 858 |

(8) マンモグラフィーの状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| ドック件数 | 364 | 322 | 323 |
| ドック外件数 | 1,183 | 1,321 | 1,188 |
| 合計 | 1,547 | 1,643 | 1,511 |

(9) 骨密度検査の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----|--------|--------|--------|
| 延件数 | 852 | 1,053 | 1,102 |

(10) エコー検査の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------|--------|--------|--------|
| 頸部 | 367 | 431 | 433 |
| 頸部血管 | 257 | 225 | 178 |
| 乳腺 | 1,176 | 1,340 | 1,134 |
| 腹部 | 1,740 | 1,672 | 1,647 |
| 四肢血管 | 178 | 231 | 232 |
| その他 | 12 | 26 | 33 |
| 合計 | 3,730 | 3,925 | 3,657 |

(11) 透視検査の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------|--------|--------|--------|
| ドッグ、健診外科胃透視 | 114 | 131 | 141 |
| 胃がん個別検診 | 134 | 125 | 126 |
| 消化管（注腸含む） | 221 | 208 | 252 |
| 肝胆道 | 202 | 153 | 170 |
| 胸部、IVH挿入 | 33 | 47 | 23 |
| 腎尿路系 | 108 | 113 | 117 |
| 整形領域 | 93 | 83 | 101 |
| 内視鏡併用 | 82 | 132 | 116 |
| その他 | 193 | 140 | 124 |
| 合計 | 1,180 | 1,132 | 1,170 |

10 臨床検査の状況

(1) 各種検査件数

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|
| 病 理 検 査 | 4,881 | 4,676 | 4,711 |
| 細 菌 検 査 | 7,754 | 6,649 | 6,390 |
| 生 化 学 検 査 (項 目 数) | 908,588 | 934,758 | 936,811 |
| 血 液 検 査 | 63,159 | 63,204 | 62,862 |
| 検 尿 検 査 | 35,244 | 35,792 | 36,013 |
| 免 疫 検 査 (項 目 数) | 48,818 | 49,220 | 49,624 |
| 輸 血 検 査 | 4,049 | 4,113 | 4,197 |
| 生 理 学 的 検 査 | 24,186 | 24,392 | 23,686 |
| そ の 他 (項 目 数) | 55,511 | 49,242 | 45,607 |
| 合 計 | 1,152,190 | 1,172,046 | 1,169,901 |

(2) 生理機能検査件数

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|
| 1 2 誘 導 心 電 図 検 査 | 14,089 | 13,942 | 13,644 |
| 3 分 間 心 電 図 | 70 | 109 | 59 |
| マ ス タ ー 負 荷 心 電 図 | 560 | 554 | 548 |
| ト レ ッ ド ミ ル 検 査 | 26 | 8 | 13 |
| ホ ル タ ー 心 電 図 | 279 | 268 | 236 |
| 心 臓 超 音 波 | 3,035 | 3,230 | 3,404 |
| 経 食 堂 心 臓 超 音 波 | 9 | 9 | 13 |
| 脳 波 検 査 | 204 | 243 | 227 |
| 神 経 電 導 検 査 | 163 | 226 | 217 |
| 聴 性 脳 幹 反 応 | 25 | 18 | 21 |
| ス パ イ ロ メ ト リ ー | 1,885 | 1,791 | 1,654 |
| 可 逆 性 試 験 | 90 | 92 | 100 |
| 精 密 肺 機 能 検 査 | 12 | 11 | 9 |
| A B I / P W V | 664 | 653 | 596 |
| C V R - R | 51 | 65 | 54 |
| 心 臓 カ テ ー テ ル | 446 | 332 | 302 |
| O D テ ス ト | 37 | 40 | 25 |
| 終 夜 睡 眠 ポ リ グ ラ フ ィ ー (簡 易) | 13 | 5 | 4 |
| 終 夜 睡 眠 ポ リ グ ラ フ ィ ー | 27 | 24 | 23 |
| 聴 力 (検 査 室 で 施 行) | 1,521 | 1,653 | 1,621 |
| 耳 鼻 咽 喉 科 依 頼 聴 力 検 査 | 698 | 822 | 621 |
| 自 動 A B R (新 生 児 聴 力 検 査) | 291 | 297 | 292 |
| 6 分 間 歩 行 検 査 | | | 3 |
| 合 計 | 24,195 | 24,392 | 23,686 |

(3) 血液製剤使用量 (単位数)

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|--------|--------|--------|
| 赤血球 | 2,181 | 1,872 | 1,664 |
| 血小板 | 2,070 | 850 | 480 |
| 新鮮凍結血漿 | 60 | 108 | 144 |
| 自己血 | 10 | 12 | 12 |
| アルブミン | 4,026 | 3,982 | 3,494 |
| 合計 | 8,347 | 6,824 | 5,794 |

1.1 リハビリテーションの状況

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| 運動 (単位) | 32,654 | 36,224 | 38,163 |
| 水治療 (件) | 0 | 147 | 424 |
| 物理 (件) | 2,103 | 1,316 | 1,247 |
| 作業 (単位) | 16,065 | 20,452 | 26,994 |
| 装具 (件) | 5 | 4 | 5 |
| 言語 (単位) | 12,581 | 9,427 | 6,983 |
| 摂食 (単位) | 1 | 317 | 1,821 |
| 合計 | 63,409 | 67,887 | 75,637 |

1 2 患者給食及び栄養指導の状況

単位：食

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----|------|---------|---------|---------|
| 普通食 | 通常 | 46,890 | 43,482 | 36,631 |
| | 軟食 | 56,113 | 65,679 | 69,233 |
| | 流動食 | 1,997 | 1,842 | 1,943 |
| | 小計 | 105,000 | 111,003 | 107,807 |
| 特別食 | 外来透析 | 493 | 392 | 438 |
| | その他 | 127,925 | 116,275 | 114,357 |
| | 小計 | 128,418 | 116,667 | 114,795 |
| 付添食 | | 576 | 397 | 437 |
| 合計 | | 233,994 | 228,067 | 223,039 |

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-------------|-------|--------|--------|--------|
| 栄養指導 (件) | 個人指導 | 512 | 533 | 411 |
| | 集団指導 | 22 | 22 | 20 |
| | N S T | 140 | 168 | 124 |
| | 透析予防 | 6 | 0 | 9 |
| | 合計 | 534 | 723 | 564 |

1 3 死亡患者数及び病理解剖件数

| | 死亡患者数 (人) | | | 病理解剖件数 (件) | | | 病理解剖検査率 (%) | | |
|--------|-----------|-----|-----|------------|----|---|-------------|-----|-----|
| | | 男 | 女 | | 男 | 女 | | 男 | 女 |
| 平成17年度 | 193 | 113 | 80 | 15 | 9 | 6 | 7.8 | 8.0 | 7.5 |
| 平成18年度 | 262 | 147 | 115 | 11 | 3 | 8 | 4.2 | 2.0 | 7.0 |
| 平成19年度 | 288 | 170 | 118 | 16 | 9 | 7 | 5.6 | 5.3 | 5.9 |
| 平成20年度 | 300 | 199 | 101 | 12 | 10 | 2 | 4.0 | 5.0 | 2.0 |
| 平成21年度 | 252 | 156 | 96 | 12 | 9 | 3 | 4.8 | 5.8 | 3.1 |
| 平成22年度 | 226 | 142 | 84 | 10 | 8 | 2 | 4.4 | 5.6 | 2.4 |
| 平成23年度 | 212 | 118 | 94 | 4 | 2 | 2 | 1.9 | 1.7 | 2.1 |
| 平成24年度 | 222 | 129 | 93 | 10 | 4 | 6 | 4.5 | 3.1 | 6.5 |
| 平成25年度 | 204 | 126 | 78 | 4 | 3 | 1 | 2.0 | 2.4 | 1.3 |
| 平成26年度 | 236 | 145 | 91 | 12 | 6 | 6 | 5.1 | 4.1 | 6.6 |

1 4 医療福祉相談の状況

(1) 医療相談の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|--------|--------|--------|
| 診療に関すること | 43 | 33 | 194 |
| 療養生活に関すること | | 3,103 | 3,464 |
| 介護に関すること | 8 | | |
| 医療費に関すること | 35 | 9 | 5 |
| 制度について | 73 | 72 | 104 |
| セカンドオピニオン | | 2 | 3 |
| その他の | 16 | 6 | 33 |
| 合計 | 175 | 3,225 | 3,803 |

※「療養生活に関すること」は退院支援の相談を含む

(2) 病院に対するご要望の状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 診療に関すること | 6 | 10 | 6 |
| 職員の対応に関すること | 9 | 6 | 6 |
| 設備・システムに関すること | 0 | 2 | 1 |
| 医療費に関すること | 2 | 0 | 0 |
| その他の | 1 | 0 | 0 |
| 合計 | 18 | 18 | 13 |

(3) 入院説明・案内の状況

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 入院説明をした患者数（人） | 1,949 | 3,327 | 3,935 |
| 全入院に対する割合（％） | 35.6 | 61.4 | 75.0 |
| 病棟案内をした患者数（人） | 2,031 | 1,906 | 1,754 |
| 全入院に対する割合（％） | 36.9 | 35.2 | 33.4 |

(4) ボランティアの活動状況

（平成26年度）

○活動人数 20名

○活動時間 午前8時～午後0時

○活動状況

・活動延べ人数 754人

・活動延べ日数 244日

・一日平均活動人数 3.0人

○活動内容

- ・新規患者受付の案内
- ・再診受付機の案内
- ・自動精算機の案内
- ・車椅子の介助及び整備（空気入れ等）
- ・各科外来、検査室への案内
- ・受診の付添い、手伝い
- ・入院時の病棟への案内
- ・正面玄関フロア、病院前バス停の清掃
- ・エレベータ昇降時の見守り
- ・子供連れの方への受診の手伝い

1 5 地域医療連携の状況

(1) 紹介及び逆紹介の状況

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| 全診療情報提供書受理数（件） | 6,096 | 6,330 | 6,249 |
| 紹介患者（初診）（人） A | 3,782 | 4,280 | 4,057 |
| 初診料算定患者（人） B | 17,586 | 17,054 | 15,879 |
| 外来初診後即入院患者（人） C | 1,238 | 1,250 | 949 |
| 外来時間外初診患者（人） D | 5,021 | 5,043 | 4,537 |
| 逆紹介数（診療情報料算定）（件） E | 3,947 | 5,451 | 5,534 |
| 紹介率（％） ※1 | 40.0 | 46.0 | 39.0 |
| 逆紹介率（％） ※2 | 31.4 | 45.4 | 53.2 |

26年度（C：救急車搬送者初診のみ）

※1 紹介率（％） $= [A / \{B - (C + D)\}] * 100$

※2 逆紹介率（％） $= [E / \{B - (C + D)\}] * 100$

24、25年度

※1 紹介率（％） $= [(A + C) / (B - D)] * 100$

※2 逆紹介率（％） $= [E / (B - D)] * 100$

(2) 開放型病床の状況

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|------------|------------|------------|------------|
| 利用医師数(実人数) | 110(10) | 107(19) | 103(15) |
| 利用患者数(実人数) | 3,273(133) | 3,727(157) | 3,676(110) |
| 利用率(%)(*3) | 89.7 | 81.7 | 67.2 |

(*3) 利用率= ((開放型病床に入院した患者の診療を担当している
保険医の紹介による延べ入院患者数) / (開放型病床数×365日)

※平成25年10月、10床から15床へ増床

(3) 亜急性期病床等の状況

| | | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 亜急性期病床(28床) | 患者数(人) | 371 | 320 | 185 |
| | 延日数(日) | 7,464 | 6,584 | 2,588 |
| 地域包括ケア病棟(35床) ※平成26年10月から運用 | 患者数(人) | | | 247 |
| | 延日数(日) | | | 5,695 |

(4) 退院支援の状況

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 退院援助依頼票総数(件) | 728 | 599 | 447 |
| 退院支援人数(年間) | 1,107 | 1,161 | 1,233 |
| 退院支援人数(月平均) | 92 | 97 | 103 |
| 退院支援介入の退院率(%) | 74 | 84 | 89 |
| 退院時担当者会議(回) | 185 | 241 | 284 |

支援介入退院率：新規退院支援介入の退院者数/退院支援介入者数(新規)

(5) 地域連携パスの状況

単位：人

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----------------|--------|--------|--------|
| 大腿頸部骨骨折連携パス | (1) | (14) | 11 |
| 脳卒中地域連携パス | 4 | 19 | 12 |
| 急性心筋梗塞・狭心症連携パス | 15 | 6 | 18 |

()は当院独自のパス

(6) ふくいメディカルネット運用件数

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|--------|--------|---------|
| 二州地区閲覧病院 | | | 173(55) |
| その他地区閲覧病院 | | | 2(0) |
| 開示病院 | | | 21(11) |
| 合計 | | | 196(66) |

()は当院の同意取得件数

1.6 医療安全の状況

(1) インシデント・アクシデントレポートの提出状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 薬剤 | 502 | 582 | 516 |
| 輸血 | 3 | 5 | 3 |
| 治療・処置 | 118 | 122 | 111 |
| ドレーン・チューブ | 161 | 168 | 124 |
| 検査 | 137 | 215 | 161 |
| 療養上の世話 | 130 | 147 | 178 |
| 医療機器 | 95 | 72 | 81 |
| 転倒 | 198 | 184 | 158 |
| 転落 | 49 | 37 | 46 |
| その他 | 96 | 136 | 100 |
| 合計 | 1,489 | 1,668 | 1,478 |

(2) 根本原因分析の実施状況

単位：件

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|----|--------|--------|--------|
| 合計 | 34 | 53 | 63 |

17 院内がん登録の状況（平成25年1月～12月）

(1) 部位別院内がん登録状況

単位：件

| 部位 | 総数 | 治療開始後 | 初発 | 性別 | | 入院の有無 | | STAGE別 | | | | | | 治療の有無 | | | |
|-----------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|----|--------|-----|-----|----|-----|-----|-------|------|----|---|
| | | | | 男 | 女 | 有 | 無 | I | II | III | IV | その他 | 外科的 | 体腔的 | 内視鏡的 | | |
| 口唇・咽頭 | 3 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 食道 | 8 | 0 | 8 | 8 | 0 | 6 | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 胃 | 43 | 1 | 42 | 33 | 9 | 35 | 7 | 0 | 23 | 4 | 3 | 7 | 5 | 14 | 2 | 13 | 0 |
| 小腸 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 結腸 | 38 | 1 | 37 | 22 | 15 | 35 | 2 | 4 | 11 | 8 | 6 | 7 | 1 | 23 | 2 | 11 | 0 |
| 直腸・肛門 | 21 | 3 | 18 | 16 | 2 | 14 | 4 | 2 | 4 | 5 | 3 | 0 | 4 | 9 | 0 | 4 | 0 |
| 肝臓 | 16 | 3 | 13 | 10 | 3 | 5 | 8 | 0 | 5 | 5 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 胆嚢・胆管 | 11 | 1 | 10 | 3 | 7 | 8 | 2 | 0 | 0 | 2 | 4 | 3 | 1 | 1 | 0 | 5 | 0 |
| 膵臓 | 9 | 2 | 7 | 6 | 1 | 5 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他の部位 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 鼻腔・中耳・副鼻腔 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 喉頭 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 肺・気管支 | 39 | 5 | 34 | 22 | 12 | 26 | 8 | 0 | 12 | 1 | 8 | 12 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 骨・軟部組織 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 皮膚 | 14 | 1 | 13 | 5 | 8 | 10 | 3 | 1 | 10 | 1 | 0 | 0 | 1 | 11 | 0 | 0 | 0 |
| 乳房 | 36 | 5 | 31 | 0 | 31 | 27 | 4 | 8 | 14 | 1 | 4 | 3 | 1 | 28 | 0 | 0 | 0 |
| 子宮頸部 | 4 | 0 | 4 | 0 | 4 | 0 | 4 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 子宮体部 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 卵巣 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 前立腺 | 51 | 7 | 44 | 44 | 0 | 13 | 31 | 0 | 22 | 9 | 3 | 8 | 2 | 1 | 0 | 3 | 0 |
| 腎 | 9 | 3 | 6 | 4 | 2 | 4 | 2 | 0 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| 腎盂・尿管 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 膀胱 | 23 | 1 | 22 | 14 | 8 | 21 | 1 | 13 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 20 | 0 |
| 脳 | 11 | 0 | 11 | 7 | 4 | 4 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 脳状腺 | 6 | 1 | 5 | 1 | 4 | 4 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| リンパ腫・骨髄腫 | 20 | 6 | 14 | 6 | 8 | 7 | 7 | 0 | 4 | 0 | 1 | 4 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 白血病 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 骨髄増殖性疾患 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 原発部位不明 | 3 | 1 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 3 | 0 | 3 | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 379 | 50 | 329 | 207 | 122 | 231 | 98 | 31 | 117 | 46 | 35 | 60 | 40 | 99 | 10 | 58 | 0 |

※院内がん登録は、当院初発がん患者を対象としており、性別、入院の有無、ステージ別及び治療の有無については、初発がん患者の内訳となっている。

(2) 経緯別院内がん登録の状況

単位：件

| 来院経路 | 登録数 |
|-------------------|-----|
| 自 主 | 94 |
| 他 院 よ り 紹 介 | 169 |
| が ん 検 診 よ り 紹 介 | 3 |
| 健 康 診 断 よ り 紹 介 | 0 |
| 人 間 ド ッ ク よ り 紹 介 | 1 |
| 自施設で他疾患の経過観察中 | 97 |
| 剖 検 発 見 | 2 |
| そ の 他 | 13 |
| 不 明 | 0 |
| 合 計 | 379 |

| 発見経緯 | 登録数 |
|---------------------|-----|
| が ん 検 診 | 21 |
| 健 康 診 断 ・ 人 間 ド ッ ク | 19 |
| 他 疾 患 の 経 過 観 察 中 | 127 |
| 剖 検 発 見 | 2 |
| そ の 他 ・ 不 明 | 210 |
| 合 計 | 379 |

| 症例区分別 | 登録数 |
|----------------|-----|
| 診 断 の み | 70 |
| 自施設診断（自施設治療） | 241 |
| 他施設診断（自施設治療） | 12 |
| 他施設診断にて（治療開始後） | 45 |
| 剖 検 の み | 2 |
| 不 明 | 0 |
| そ の 他 | 9 |
| 合 計 | 379 |

18 救急蘇生災害医療部会（災害部門）の活動状況

目的：災害時、病院職員が適切な行動がとれ、1人でも多くの命を守ることができること

目標：病院の防災機能の向上を図る

- ① 救急蘇生・災害医療部会の運営方法の検討
- ② 災害マニュアルの拡充、策定
- ③ 院内緊急連絡網の整備
- ④ 入院案内冊子の災害時避難方法の記載

| 月 | 部会の活動 | 院内訓練・講演会 |
|-----|--|---|
| 4月 | 第1回部会(4/10) ※年間活動計画の承認 ※WGの組織編成について | |
| 5月 | 第2回部会(5/8) ※WGからの報告について ※新部員の紹介について | |
| 6月 | 第3回部会(6/12) ※WGからの報告について | ICLS講習会(6/21) |
| 7月 | 第4回部会(7/10) ※WGからの報告について | |
| 9月 | 第5回部会(9/11) ※WGからの報告について ※災害対策訓練について | |
| 10月 | 第6回部会(10/9) ※WGからの報告について ※災害対策訓練について | 災害対策訓練(10/21) |
| 11月 | 第7回部会(11/13) ※WGからの報告について ※災害対策訓練について | ICLS講習会(11/29) |
| 12月 | 第8回部会(12/11) ※WGからの報告について ※災害訓練後のアンケート結果について | |
| 1月 | 第9回部会(1/8) ※WGからの報告について | 机上訓練(1/29) |
| 2月 | 第10回部会(2/12) ※WGからの報告について | ICLS講習会(2/11) 講演会(2/12) 「地域防災計画の概要と市立敦賀病院の役割」 |
| 3月 | 第11回部会(3/12) ※WGからの報告について | |

※部会内のワーキンググループで、院内防災ラウンド、災害対策マニュアルの改善等を議論した。

19 救急蘇生災害医療部会（救急部門）の活動状況

本部会は、院内における救急蘇生の技術向上を目的として活動している。前年度に引き続きICLSコースの教育と参加を重点目標とした。

《活動計画》

(1) I C L S 講習会（年3回）

市外から受講生やインストラクター参加の協力を呼びかけて、講習会開催の地域拠点として活動していく。また、より多くの職員に参加してもらう為に、前年度に引き続き、年3回実施する。

(2) B L S 講習会 講習会未受講の職員を対象に実施する。

(3) 救急カートの点検・整備 救急カートの点検・整備を実施する。

《年間活動》

(1) I C L S 講習会

第16回 平成26年 6月21日 参加人数 50名（うち受講人数 18名）

第17回 平成26年11月29日 参加人数 48名（うち受講人数 18名）

第18回 平成27年 2月11日 参加人数 48名（うち受講人数 18名）

(2) B L S 講習会

全11回開催 平成26年 5月29日、7月31日、8月28日、9月25日、10月30日、
11月26日、11月27日、12月2日、12月3日、
平成27年 1月29日、3月25日

参加者総数 73名

対象者 診療放射線技師 ほか

(3) 救急カートの整備・点検

救急カートの整備後の巡視点検を実施

実施月 平成26年10月、平成27年 2月

(4) その他

講演会

平成27年 2月12日 テーマ「地域防災計画の概要と市立敦賀病院の位置付け」

講師 敦賀市役所 危機管理対策課 小川 明 課長

《活動の振り返り》

(1) I C L S 講習会

I C L S 講習会は前年度と同様に3回開催し、多くの職員の参加があった。今後も引き続き継続していく事業であり、院外への広報活動にもさらに力を入れていきたい。

(2) B L S 講習会

講習を受講していなかった看護補助員や委託業者にも参加してもらうことで、知識習得者の裾野が広がった。今後も講習会を継続して開催し、より多くの職員が参加できる機会を提供していきたい。

(3) 救急カートの整備・点検

救急カートの定期的な点検を実施した。今後も定期的な点検をしていきたい。

(4) その他 講演会

地域防災計画の概要と市立敦賀病院の役割をテーマとして講演会を行い、多くの職員に参加してもらった。今後もこのような講演会を設け、職員の防災について学ぶ機会を提供していきたい。

20 DMATの活動状況

○隊員の状況 2チーム

平成26年度末現在 単位：人

| 医師※1 | 看護師※2 | 業務調整員※3 | 計 |
|------|-------|---------|----|
| 4 | 5 | 3 | 12 |

※1 統括DMAT 1名含む ※2 助産師1、看護師4

※3 臨床検査技師1、診療放射線技師1、臨床工学技士1

○定例部会の実施状況

| 開催日 | 内容 |
|---------|--------------------|
| 毎月第2木曜日 | 研修、訓練の企画及び参加打ち合わせ等 |

○緊急対応

- ・H26.11.22（土）長野県北部の地震に伴う待機（災害派遣等の実動なし）

○研修、訓練への参加状況

・隊員養成研修、統括DMAT研修

| 年月日 | 研修・訓練内容 |
|-------------------|----------------------------------|
| H26.5.11（日）～14（水） | 隊員養成研修 助産師1名受講 |
| H26.7.14（月）～15（火） | 統括DMAT研修 医師1名受講 |
| H26.7.28（月）～31（木） | 隊員養成研修 医師1名、業務調整員（臨床検査技師）1名受講 |

・技能維持研修（DMAT個人更新要件）

| 年月日 | 研修・訓練内容 |
|--------------------|-------------------|
| H26.11.10（月）～11（火） | 技能維持研修（福井県庁）10名受講 |

・ブロック実働訓練（DMATチーム更新要件）

| 年月日 | 研修・訓練内容 |
|--------------------|--------------------|
| H26.10.11（土）～12（日） | 実働訓練（岐阜県→愛知県内）5名参加 |

・その他の研修、訓練等

| 年月日 | 研修・訓練内容 |
|-------------------|----------------------------|
| H26.6.25（水） | 舞鶴若狭自動車道多重事故対応訓練（若狭町） |
| H26.8.31（日） | 平成26年度福井県原子力防災訓練（院内） |
| H26.10.4（土） | 福井県立病院防災訓練 |
| H26.11.9（日） | 平成26年度敦賀市総合防災訓練（中郷スポーツ広場等） |
| ※その他、院内部署机上訓練等に参画 | |

2 1 感染対策の状況

1 ICT（感染制御チーム）活動

(1) カンファレンス

週1回（月曜日）10:30～12:00

(2) ICTラウンド

月2回（第1、第3月曜日、第5月曜日）14:00～15:30

(3) ICTメンバーおよび感染リンクスタッフによる環境ラウンド

月2回（第2水曜日）13:00～14:00

（第4水曜日）16:45～17:45

(4) 適宜ラウンド

サーベイランスで感染率が増加した場合

(5) 感染防止対策加算1算定医療機関の相互連携

（カンファレンス及びラウンド）

・年1回実施

国立病院機構福井病院（現：敦賀医療センター）と連携

（平成26年6月23日、10月27日）

杉田玄白記念公立小浜病院と連携（平成26年8月25日、12月22日）

(6) 感染防止対策加算1算定医療機関と感染防止対策加算2算定医療機関との連携

（カンファレンス及びラウンド等）

・年4回実施：医療法人 保仁会 泉ヶ丘病院

（平成26年5月26日、7月28日、9月29日、12月15日）

2 研修・教育

【院内】

(1) 全体研修（年2回以上）：全職員対象

① 1回目：計5回実施（不参加者は資料を見て問題に回答し提出）

7月11日（17:30～18:30）、7月16日（12:15～13:00）、

7月16日（17:30～18:30）、7月17日（15:00～16:00）、

7月17日（17:30～18:30）

「いまさら聞けない 感染のお話」…参加率92%

② 2回目：計7回実施（不参加者には資料を配布）

11月11日（12:15～13:00）、（16:00～17:00）、（17:30～18:30）

11月14日（12:15～13:00）、（16:00～17:00）、（17:30～18:30）、

（18:30～19:30）

「今から実践 冬の感染対策」…参加率94%

(2) TQM大会 平成27年2月28日

「ゴミ分別 その後 どう変化した？」…小堀和美

【院外】

(1) 地域での研修会・講習会

- ① 泉ヶ丘病院「感染性胃腸炎発生時の対応について」
- ② リバーサイド気比の杜「感染対策（流行する感染症）」
- ③ 地域開放学習会「在宅での感染対策Q&A（インフルエンザ・ノロウイルス）」
- ④ 国立病院機構福井病院（現：敦賀医療センター）「ノロウイルス食中毒を経験して」

(2) 環境感染学会発表 平成27年2月

- ・「当院で経験したノロウイルス食中毒」…高橋秀房
- ・「ノロウイルス検査における遺伝子検査の注意点—ノロウイルス食中毒事例を経験して」…川端直樹
- ・「リンクスタッフの育成—モチベーション向上に向けた活動の見直し」…小堀和美

(3) 嶺南インフェクションコントロール

平成26年9月6日

「个人防护具の装着方法、適切な手指衛生、標準予防策の重要性」

吐物処理方法の実演 小堀和美

3 感染リンクスタッフ会活動

(1) 活動目標

- ① 環境ラウンドを行い、部署の問題点を改善につなげる
- ② 環境ラウンドを他部署と比較することにより、自部署の環境整備を見直す
- ③ 環境ラウンドを、ナース以外の他職種とラウンドすることで、部署内の環境整備に対する意識を向上させる
- ④ グループで活動を行い、自主的に問題点を見つけ改善する意識を持つ
- ⑤ 最終で活動報告を行うことで、感染リンクスタッフの活動を他者に理解してもらい、スタッフは感染対策に関する意識を高める

(2) 組織メンバー

看護師長：前田昭子、八木佳子、小堀和美

委員長：山崎巖（放射線室）

メンバー：向井彩佳（7階病棟）、山本朋子（6階病棟）、遠藤奈美子（5階病棟）、角野良美（4階病棟）、中村ひとみ（3階病棟）、安田 泉（北3階病棟）、中村智美（北4階病棟）、中村和代（北5階病棟）、江南里美（HCU）、田中恵実（手術室）、畠中（透析センター）、田中里美（外来）、高木隆幸（リハビリテーション室）、佐藤友美、大久保康広（薬剤室）、高島和佳（検査室）、比田羽美（栄養管理室）、舘陽子（歯科口腔外科）、東野正輝（総務企画課）

(3) 活動日時

第2水曜日（13:00～14:00）：環境ラウンド（看護師のみで活動）

第4水曜日（16:45～17:45）：グループ活動（他職種と合同で活動）

(4) 活動内容

環境ラウンド (第2水曜日)

①活動内容

- ・ 部署、院内環境ラウンドを実施し、点数化して出来ていない部分は改善

②結果

- ・ 環境ラウンドを実施して、90点を下回ることがなくなった
- ・ 点数をグラフ化し、部署の比較が可能になった
- ・ 改善後の確認ができていないので、次回も同じ項目が指摘事項となることもあった。

グループ活動 (第4水曜日)

①活動内容

- 1 G : 手指消毒量の使用量UPに向けて
- 2 G : 処置・ケアのマニュアル作成 (気管内吸引)
- 3 G : ゴミ分別表作成
- 4 G : 他部署ラウンド ビフォー&アフター

②結果

- 1 G : 手指消毒の回数を実験し、必要量2プッシュを推奨する。使用量UPにまでは啓蒙活動が出来なかったため、次年度の課題。
- 2 G : ビデオでのマニュアル作成し、各部署でリンクナース中心に実践指導を行い、気管内吸引のチューブ単回使用を実践。次年度手技の評価を行う。
- 3 G : 正しいゴミ分別表を作成し、各部署へ掲示。その後、分別に対して知識を持っているかどうかのテストを実施し、意識の向上を図る。
- 4 G : 手術室、薬剤室、検査室へラウンドを実施。各部署、問題点に対して改善できた。次年度はラウンドの継続とフィードバックの方法を検討する。

(5) 課題

他職種を入れたグループ活動も2年目となり、活動に幅が広がってきた。しかし、感染リンクスタッフとして感染に関する知識の向上のための勉強会も定期的には実施できなかったため、次年度は、計画的に実施していく方向でプログラムを作成していく。

活動報告を発表の場も2年目を迎え、リンクスタッフの発表に対する自覚もでき継続して実践できており、活動報告を通じて全職員へ伝達できた。今後も、楽しく感染対策に取り組んでいけるような活動を目指して実践していきたいと思う。

2.2 TQM委員会の活動状況

当院における医療及び業務の質の向上を図り、良質な医療を提供するため、平成21年5月に当該委員会を設置した。平成26年度は、9のサークルが、問題、課題を設定し、研究・打合せを重ね、平成27年2月27日のTQM大会において、院内職員に向けて発表した。

<発表詳細>

| 発表順 | テーマ | サークル名・発表者 |
|------------|--|--|
| 1 | 繋がろう！外来と病棟 | お乳よ～でる！ギネウオッチ！ 大谷 貴香子（北5階病棟） |
| 2 | 合同勉強会って役立つ？ | チームR&R in むらさき組 高井 悦子（リハビリテーション室） |
| 3 | やりがいのある職場づくりをめざして ～主任会からの発信～ | 繋がりやすさNo. 1@主任会. ton 竹中 智子（3階病棟） |
| 4 | ごみ分別 第2弾 ～その後・・・ どう変化した？～ | Infection Control Team (ICT) 小堀 和美 (ICT) |
| 5 | 褥瘡チーム会の役割 まずは何かから？ | 褥瘡チーム会 山田 久美子（6階病棟） |
| 6 | 薬剤アシスタント導入☆大作戦！！ アシスタントは見た！！～薬剤師不足の現状～ | 薬局009 小林 雅子（薬剤室） |
| 7 | 理想のトイレ 患者さんの声を活かして快適な空間へ | おひさま. comm Part 3 小野 早織（検査室） |
| 8 | 医療被ばく低減施設認定を取得しよう！ （第2弾） | もっと被ばく低減ひろめ隊 森崎 将臣（放射線室） |
| 9 | 私たちプライマリーペアナーシングはじめました！ ～円滑なPNS導入を目指して～ | チーム☆カエル 大石 郁奈（7階病棟） |
| 参考 発表 1 | 外来業務の効率化 －PDCAを回せ！－ | 秘の泌 ver. 6 澤田 樹佳（泌尿器科） |
| 参考 発表 2 | 顔の見える事務局 | ワークマン 上野 建吾（総務企画課） |

<審査結果>

1位：おひさま. comm Part 3

2位：チーム☆カエル

3位：チームR&R in むらさき組

TQM委員長賞：繋がりやすさNo. 1@主任会. ton

V D P C の概要

1 DPC係数の状況

| 係 数 | 内 訳 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|----------|--------------------|---------|---------|
| 機能評価係数Ⅰ | 臨床研修病院入院診療加算1 | 0.0012 | 0.0012 |
| | 診療録管理体制加算 | 0.0027 | 0.0027 |
| | 医師事務作業補助体制加算（25：1） | 0.0158 | 0.0158 |
| | 急性期看護補助体制加算（50：1） | 0.0287 | 0.0335 |
| | 医療安全対策加算1 | 0.0026 | 0.0026 |
| | 感染防止対策加算1 | 0.0121 | 0.0121 |
| | 感染防止対策地域連携加算 | 0.0030 | 0.0030 |
| | 検体検査管理加算Ⅱ | 0.0025 | 0.0025 |
| | データ提出加算2 | 0.0033 | 0.0033 |
| | 機能評価係数Ⅰ 計 | 0.0719 | 0.0767 |
| 機能評価係数Ⅱ | データ提出指数 ⇒ 保険診療係数 | 0.00731 | 0.00730 |
| | 効率性指数 | 0.00660 | 0.00730 |
| | 複雑性指数 | 0.00606 | 0.00570 |
| | カバー率指数 | 0.00681 | 0.00676 |
| | 地域医療指数（7⇒8P） | 0.01276 | 0.01259 |
| | 救急医療指数 | 0.00535 | 0.00507 |
| | 後発医薬品係数 | 0.00841 | 0.00856 |
| | 機能評価係数Ⅱ 計 | 0.0533 | 0.0533 |
| （暫定）調整係数 | | 0.0310 | 0.0310 |
| 基礎係数 | 医療機関群Ⅲ | 1.0276 | 1.0276 |
| 医療機関係数 | 合計 | 1.1838 | 1.1886 |

2 DPC/PDPSにおけるMDC2析分類

| | MDC 2 析コード | 件数 | 平均在院 日数 (日) | 入院期間率 | | | | DPC 1日当り 平均 (円) |
|----|------------------------|-------|----------------|--------|---------|----------|------------|-----------------------|
| | | | | 入院期間 I | 入院期間 II | 入院期間 III | 入院期間 III 超 | |
| 01 | 神経系疾患 | 333 | 31.4 | 16.20% | 30.60% | 36.00% | 16.50% | 40,036 |
| 02 | 眼科系疾患 | 97 | 2.3 | 1.00% | 0.00% | 1.00% | 0.00% | 122,097 |
| 03 | 耳鼻咽喉科系疾患 | 124 | 6.6 | 12.10% | 31.50% | 30.60% | 9.70% | 32,687 |
| 04 | 呼吸器系疾患 | 669 | 20.4 | 18.10% | 41.30% | 29.00% | 10.50% | 33,892 |
| 05 | 循環器系疾患 | 515 | 17.4 | 21.00% | 40.80% | 27.80% | 9.70% | 57,241 |
| 06 | 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患 | 933 | 16.0 | 9.10% | 32.20% | 31.80% | 11.10% | 44,966 |
| 07 | 筋骨格系疾患 | 249 | 22.8 | 17.30% | 25.70% | 37.30% | 16.50% | 55,080 |
| 08 | 皮膚・皮下組織の疾患 | 135 | 10.0 | 26.70% | 50.40% | 20.00% | 3.00% | 32,293 |
| 09 | 乳房の疾患 | 38 | 13.9 | 5.30% | 31.60% | 47.40% | 15.80% | 67,802 |
| 10 | 内分泌・栄養・代謝に関する疾患 | 108 | 16.2 | 21.30% | 29.60% | 33.30% | 15.70% | 31,510 |
| 11 | 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患 | 613 | 13.3 | 11.40% | 41.90% | 22.80% | 12.40% | 38,348 |
| 12 | 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩 | 348 | 11.9 | 28.20% | 22.10% | 25.60% | 22.70% | 37,914 |
| 13 | 血液・造血器・免疫臓器の疾患 | 43 | 18.2 | 27.90% | 37.20% | 30.20% | 2.30% | 45,575 |
| 14 | 新生児疾患、先天性奇形 | 109 | 8.6 | 5.50% | 50.50% | 34.90% | 8.30% | 30,786 |
| 15 | 小児疾患 | 101 | 7.7 | 10.90% | 54.50% | 23.80% | 8.90% | 34,374 |
| 16 | 外傷・熱傷・中毒 | 405 | 22.6 | 32.10% | 28.40% | 23.50% | 15.60% | 41,475 |
| 17 | 精神疾患 | 4 | 3.8 | 25.00% | 25.00% | 25.00% | 0.00% | 33,943 |
| 18 | その他 | 132 | 22.3 | 16.70% | 35.60% | 25.80% | 11.40% | 43,820 |
| 統計 | | 4,956 | 17.2 | 16.90% | 34.80% | 28.30% | 12.30% | 42,657 |

VI 固定資産状況

1 有形固定資産の取得状況

平成24年度

単位：円

| 品名 | メーカー名 | 金額 | 備考 |
|-------------|------------------|-------------|------------|
| 全身用X線断層撮影装置 | 東芝メディカルシステムズ(株) | 104,790,000 | 放射線科 |
| 超音波診断装置外 | 東芝メディカルシステムズ(株)外 | 12,893,625 | リハビリテーション科 |

平成25年度

| | | | |
|------------|-----------------|------------|--------|
| 人工腎臓装置 | 日機装(株) | 4,462,500 | 透析センター |
| 超音波画像診断装置 | 東芝メディカルシステムズ(株) | 42,210,000 | 検査室 |
| 臨床化学自動分析装置 | フィリップス | 37,590,000 | 検査室 |

平成26年度

| | | | |
|-------------|-----------------|-------------|----------|
| 医療情報システム | 富士通(株) | 124,200,000 | 情報システム室等 |
| 人工腎臓装置 | 日機装(株) | 69,660,000 | 人工透析室 |
| 透析室ベッド | パラマウントベッド(株) | 12,657,600 | 人工透析室 |
| 超音波画像診断装置 | 東芝メディカルシステムズ(株) | 6,480,000 | 検査室 |
| ポータブルX線撮影装置 | (株)日立メディコ | 4,860,000 | 放射線科 |

2 主要医療機器の設置状況 (20,000千円以上の機器)

単位：千円

| 設置場所 | 品名 | 取得年月 | 数量 | 金額 |
|-------------|---------------------------------------|----------|----|---------|
| 中央手術室・中央材料室 | 手術顕微鏡 | 平成 6年 8月 | 1 | 31,500 |
| 内科外来 | 血管連続撮影装置 | 平成 7年 1月 | 1 | 248,640 |
| | 心拍変動スペクトラシステム | 平成 7年 6月 | 1 | 21,788 |
| 本館6階病棟 | 患者監視システム(16人用) | 平成 8年 5月 | 1 | 24,150 |
| | X線骨密度測定器 | 平成 9年11月 | 1 | 22,890 |
| | 核医学診断装置 (デジタルガンマカメラシステム) | 平成 9年12月 | 1 | 139,650 |
| 薬剤室 | 全自動錠剤分包機・薬袋印字機 | 平成11年 6月 | 1 | 29,715 |
| 内科外来 | 多チャンネル心電図解析記録装置 | 平成11年 7月 | 1 | 29,925 |
| 検査室 | 多項目自動血球分析装置 | 平成13年12月 | 1 | 34,755 |
| 放射線科 | デジタルガンマカメラ | 平成14年11月 | 1 | 108,150 |
| 放射線科 | 医用リニアアクセレータ | 平成17年 3月 | 1 | 382,725 |
| | 位置決め用全身用X線CT装置 | 平成17年 3月 | 1 | 68,040 |
| | 二方向型循環器撮影装置 | 平成17年 3月 | 1 | 154,875 |
| 中央手術室・中央材料室 | アルファマック手術台 | 平成17年 6月 | 6 | 57,918 |
| | 高圧蒸気滅菌装置 (クリーン蒸気発生器付) フロアローディングカート | 平成17年 6月 | 1 | 22,365 |
| | 低温プラズマ滅菌システム | 平成17年 6月 | 1 | 28,350 |
| 北診療棟5階 | 胎児集中監視システム | 平成17年 7月 | 1 | 23,520 |
| 放射線科 | 多目的オールデジタルX線テレビ装置 | 平成17年 7月 | 1 | 66,150 |
| HCU | 患者情報統合システム外 | 平成17年 7月 | 1 | 33,075 |
| | 生体情報モニタ・ベットサイドモニタシステム | 平成17年 7月 | 1 | 23,625 |
| | 心血管用超音波診断装置 | 平成17年 7月 | 1 | 29,400 |
| 放射線科 | 全身用X線断層撮影装置 | 平成17年11月 | 1 | 236,250 |
| 中央手術室・中央材料室 | 高圧蒸気滅菌装置セミフロアローディングカート | 平成17年11月 | 1 | 23,373 |
| 放射線科 | 循環器用画像保存装置 | 平成17年11月 | 1 | 23,625 |
| 本館7階病棟 | 無菌病室 | 平成18年 3月 | 1 | 45,150 |
| 泌尿器科 | 体外衝撃波結石破碎装置 | 平成18年 3月 | 1 | 69,090 |
| 検査室 | 採血管準備システム | 平成18年 3月 | 1 | 22,575 |
| 心エコー室 | 超音波診断装置 | 平成18年 7月 | 1 | 36,698 |
| 放射線科 | 尿路系X線撮影システム外 | 平成18年 8月 | 1 | 23,415 |
| 検査室 | 生理検査・採血患者案内情報システム | 平成18年 9月 | 1 | 21,945 |
| 高気圧酸素治療室 | 高気圧酸素治療装置 | 平成18年10月 | 1 | 31,899 |
| 内視鏡室 | 内視鏡システム | 平成23年11月 | 1 | 45,675 |
| 放射線科 | 磁気共鳴断層撮影装置 | 平成24年 3月 | 1 | 153,300 |
| 放射線科 | 全身用X線断層撮影装置 | 平成24年12月 | 1 | 104,790 |
| 検査室 | 超音波画像診断装置 | 平成25年10月 | 1 | 42,210 |
| 検査室 | 臨床化学自動分析装置 | 平成25年11月 | 1 | 37,590 |
| 情報システム室等 | 医療情報システム | 平成27年 3月 | 1 | 124,200 |
| 人工透析室 | 人工腎臓装置 | 平成27年 3月 | 1 | 69,660 |

3 企業債・減価償却の状況

(1) 企業債の年度別状況

単位：千円

| | 発行総額 | 当年度償還高 | 償還高累計 | 未償還残高 | 企業債利息 |
|--------|-----------|---------|-----------|-----------|---------|
| 平成20年度 | 9,587,400 | 300,312 | 2,747,303 | 6,840,097 | 205,349 |
| 平成21年度 | 9,587,400 | 338,179 | 3,085,481 | 6,501,919 | 195,020 |
| 平成22年度 | 9,330,400 | 386,795 | 3,215,276 | 6,115,124 | 183,512 |
| 平成23年度 | 9,330,400 | 405,160 | 3,620,436 | 5,709,964 | 170,995 |
| 平成24年度 | 9,330,400 | 418,245 | 4,038,681 | 5,291,719 | 157,910 |
| 平成25年度 | 9,210,400 | 458,245 | 4,367,926 | 4,842,474 | 144,392 |
| 平成26年度 | 9,370,300 | 401,705 | 4,616,730 | 4,753,570 | 129,915 |

(2) 減価償却額の年度別状況

単位：千円

| | 建物 | 構築物 | 器械・備品 | 車両 | リース資産 | 減価償却費合計 |
|--------|---------|-------|--------|-----|---------|---------|
| 平成20年度 | 207,142 | 2,724 | 91,988 | 650 | | 302,504 |
| 平成21年度 | 204,784 | 2,724 | 63,498 | 144 | | 271,150 |
| 平成22年度 | 202,702 | 2,609 | 44,361 | 0 | | 249,672 |
| 平成23年度 | 195,740 | 2,290 | 35,004 | 0 | | 233,034 |
| 平成24年度 | 195,789 | 1,950 | 28,329 | 0 | | 226,068 |
| 平成25年度 | 196,358 | 1,950 | 13,967 | 0 | | 212,275 |
| 平成26年度 | 320,218 | 1,876 | 83,141 | 0 | 188,123 | 593,358 |

VII 研究業績

1 診療部

内科

(学会発表、講演)

- 1 医学・薬学知識の向上と地域貢献
清水和朗
小浜地区医師会，2014年6月，小浜市.
- 2 肺癌化学療法について
高橋秀房
APO フォーラム若狭，2014年9月，若狭町.
- 3 転倒骨折・生活習慣病
毛利研祐
敦賀市医師会，2014年10月，敦賀市.
- 4 糖尿病治療
毛利研祐
第2回敦賀糖尿病治療の連携会，2014年12月，敦賀市.
- 5 血糖値コントロールによる血管合併症阻止
毛利研祐
美波セミナー2015in 福井，2015年1月，福井市.

消化器科

(学会発表、講演)

- 1 胆道出血をきたした膵十二指腸仮性動脈瘤の一例
清水達人（発表者），守護晴彦，方堂祐治，米島学
第118回日本消化器病学会北陸支部例会，2014年6月，福井市.
- 2 虚血性腸炎様の症状にて発症した collagenous colitis の一例
方堂祐治（発表者），守護晴彦，米島学
第103回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会，2014年6月，福井市.
- 3 *H.pylori* 除菌薬内服中に *Klebsiella oxytoca* (*K.oxytoca*) が検出された抗菌薬
関連出血性腸炎 (AAHC) の1例
久田祥雄（発表者），守護晴彦，方堂祐治，三田村康仁，小林元夫，清水和朗，
音羽勘一，五十嵐一誠，高橋秀房，米島 學
第224回日本内科学会北陸地方会，2014年9月，富山県.
- 4 高齢者診療の治療の向上
米島學
敦賀市医師会，2014年10月，敦賀市.

- 5 回腸末端に縦走潰瘍を呈した Henoch-Schonlein 紫斑病の一例
守護晴彦（発表者），方堂祐治，米島學
第 104 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会，2014 年 11 月，金沢市.
- 6 肝原発と考えられたびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の一例
方堂祐治（発表者），守護晴彦，米島学，瀬戸瞬，大槻忠良，上藤聖子，杉森順二，
林泰生
第 119 回日本消化器病学会北陸支部例会，2014 年 11 月，金沢市.
- 7 小腸バルーン内視鏡とカプセル内視鏡
米島 學
武生胃腸疾患懇話会，2014 年 12 月，越前市.
- 8 地域包括ケアについて
米島 學
第 14 回日本医療マネジメント学会福井県地方会，2015 年 2 月，敦賀市.
- 9 肝の病態と画像診断
守護晴彦（発表者）
第 24 回福井県超音波研究会，2015 年 3 月，敦賀市.

（論文発表、執筆）

- 1 臨床研修指定病院69施設からきいた これだけは押さえて欲しい ルール&マナー
SECTION6 身につけたい習慣 72 聴き上手になりましょう
米島 學
日本医事新報 No.4714 Page98，2014年8月
- 2 nilotinib 内服加療中に小腸多発性GIST を発症した神経線維腫症 1 型の 1 例
守護晴彦（執筆者），方堂祐治，渡邊剛史，上藤聖子，杉森順二，林泰生，
原田憲一（※），中沼安二（※），米島學
日本消化器病学会雑誌111(8) : Page1579-1586、2014年8月
- 3 Endoscopic Metallic Stent Insertion for Malignant Afferent Loop Obstruction
Using Balloon-Assisted Enteroscopy: A Case Report
Haruhiko Shugo（執筆者），Yuji Hodo and Manabu Yoneshima
The American Journal of Gastroenterology 110, Page355-357 (February 2015)
- 4 保存的治療後の上腸間膜静脈血栓症に合併した遅発性小腸狭窄に対して内視鏡的拡張
術が奏功した 1 例（原著論文／症例報告）
方堂祐治（執筆者），守護晴彦，米島 學
*Gastroenterological Endoscopy*56(6): Page1980-1985，2014 年 6 月
- 5 敦賀市立看護大学ジャーナル 創刊号
米島 學，三好恵子，藤原貞美子，仲間有希

循環器科・心臓血管外科

(学会発表、講演)

- 1 バルーン拡張により冠動脈解離を来たし、冠動脈バイパスによる修復を行った1例
音羽勘一
福井インターベンション勉強会，2014年6月，福井市.
- 2 Resolute Integrity 特徴とその有用性
音羽勘一
第3回 SCJ ワークショップ in 東可児，2014年6月，岐阜県.
- 3 バルーン拡張により冠動脈解離を来たし、冠動脈バイパスによる修復を行った1例
音羽勘一，三田村康仁，中野学
第23回日本心臓血管インターベンション学会総会2014，2014年7月，名古屋市.
- 4 心不全に対するアプローチと当院におけるサムスカの使用経験
音羽勘一
敦賀市医師会講演会，2014年7月，敦賀市.
- 5 抗血小板薬，抗凝固薬の適正使用
音羽勘一
敦賀市薬剤師会講演会，2014年9月，敦賀市.
- 6 総大腿動脈の高度石灰化と浅大腿動脈のCTOに対してHybrid治療で血行再建を行った1例
音羽勘一
日本心臓血管インターベンション学会 第32回東海北陸地方会，2014年10月，福井市.
- 7 当院における責任病変別Angiographic-FFR mismatch
音羽勘一，桔梗谷学，岡部佳孝，三田村康仁
北陸循環器負荷研究会，2014年11月，金沢市.
- 8 敦賀病院における抗血栓薬の使用状況と塞栓性脳梗塞の実態
音羽勘一
Fukui ACT Network Meeting，2014年11月，福井市.
- 9 心不全に対するアプローチ
音羽勘一
福井県臨床検査技師会，2014年12月，鯖江市.
- 10 Strong association between washout ratio of renal 123I-metaiodobenzylguanidine and muscle sympathetic nerve activity in patients with hypertension.
岡部佳孝
第63回北陸循環器核医学研究会，2015年2月，金沢市.

(論文発表)

- 1 未手術で80歳まで生存した Fallot 四徴症の1例
音羽勘一、三田村康仁、中野学
心臓 第47巻第1号 Page91-96, 2015年1月

外科

(学会発表、講演)

- 1 肺がんに関する最新情報と禁煙について
市橋 匠
市立敦賀病院市民公開講座, 2015年2月, 敦賀市.
- 2 臨床現場における経腸栄養療法について
林 泰生
敦賀市薬剤師会講演会, 2015年2月, 敦賀市.

(論文発表、執筆)

- 1 化学療法中止後7年以上CRを維持しているブラ壁発生の stageIVの大細胞肺癌の1例
市橋 匠, 木村圭一, 田中良男, 木船孝一, 西辻 雅, 原田憲一
癌の臨床第60巻・第2号: Page219-224, 2014年4月
- 2 穿刺経路播種を認めた甲状腺低分化癌の1例
市橋 匠, 木船孝一, 原田憲一
日本臨床外科学会雑誌第75巻7号 Page1794-1798, 2014年7月

整形外科

(学会発表、講演)

- 1 高齢者大腿骨近位部骨折は緊急手術の対象にできるか?～緊急手術の実態調査から～
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 木谷聡, 中島宰大
北陸整形外科集談会, 2014年5月, 石川県.
- 2 高齢者大腿骨近位部骨折は緊急手術の対象にできるか?～緊急手術の実態調査から～
柳下信一
舞鶴敦賀整形外科カンファレンス, 2014年5月, 小浜市.
- 3 高齢者大腿骨近位部骨折は緊急手術の対象にできるか?～緊急手術の実態調査から～
柳下信一
福井県整形外科学会, 2014年6月, 福井市.
- 4 高齢者大腿骨近位部骨折は緊急手術の対象にできるか?
～当院における緊急手術に関する調査から～
柳下信一, 朝田尚宏
日本外傷学会, 2014年6月, 東京都.

- 5 高齢者大腿骨近位部骨折は緊急手術の対象にできるか？
～当院における緊急手術に関する調査から～
柳下信一，朝田尚宏
骨折治療学会，2014年6月，熊本県.
- 6 HBs 抗原陽性 RA 患者に対するオレンシアの使用経験
中嶋幸大
第11回 Biologics 研究会，2014年6月，福井市.
- 7 当院における災害に対する意識調査
～過去3年間のアンケート結果から～
柳下信一
日本病院学会，2014年7月，香川県.
- 8 大腿骨の変形に苦慮した TKA の2症例
柳下信一，朝田尚宏
JOSKAS，2014年7月，広島県.
- 9 当院における半月板損傷手術症例の検討
柳下信一，朝田尚宏，中嶋幸大
日整会スポーツ，2014年9月，東京都.
- 10 整形外科外来におけるロコモティブシンドロームの啓発活動について
柳下信一，朝田尚宏，田尻和八，木谷 聡，中嶋幸大
中部整形外科災害医学会，2014年10月，名古屋市.
- 11 当院における災害に対する意識調査
～過去3年間のアンケート結果から～
柳下信一
日本救急医学会，2014年10月，福岡市.
- 12 高齢者大腿骨近位部骨折は緊急手術の対象にできるか？
～当院における緊急手術に関する調査から～
柳下信一，朝田尚宏
日本股関節学会，2014年10月，東京都.
- 13 病診連携による医学薬学的知識の向上
朝田尚宏
第6回京都南部整形外科病診連携の会，2014年11月，京都市.
- 14 脳梗塞が原因と思われた健側手の尺側偏位
田尻和八
湖北嶺南カンファレンス，2014年11月，敦賀市.
- 15 最近経験した珍しい症例

田尻和八

湖北嶺南カンファレンス, 2014年11月, 敦賀市.

- 16 半月板単独損傷例に対する治療経験
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 木谷 聡, 吉田幸男
北陸整形外科集談会, 2014年11月, 福井市.
- 17 半月板単独損傷例に対する治療経験
柳下信一, 朝田尚宏, 田尻和八, 木谷 聡, 吉田幸男
関節外科懇話会, 2014年11月, 福井市
- 18 前方アプローチ (DAA) の基本的手術手技
柳下信一
Stryker BHA local seminar, 2014年11月, 金沢市.
- 19 実臨床での骨粗鬆症に対する抗体製剤治療への展望
朝田尚宏
骨を考える会, 2015年1月, 金沢市.
- 20 骨吸収抑制剤を用いた骨粗鬆症治療について
朝田尚宏
骨粗鬆症治療薬の適正化を考える会, 2015年2月, 敦賀市.
- 21 当院における東日本大震災後の DMAT の実働事例
柳下信一
日本集団災害医学会, 2015年2月, 東京都.

(論文発表、執筆)

- 1 「とりあえずX線」を卒業しよう！整形外科診療のコツを掴む
整形外科的な処置のコツ 正しいシーネの固定法と三角巾・松葉杖の使い方
柳下信一
レジデントノート第16巻12号, Page2234-2245, 2014年11月.

脳神経外科

(学会発表、講演)

- 1 抗凝固薬の展望
常俊顕三
丹南嶺南 Network Meeting, 2014年9月, 敦賀市.
- 2 第4回脳卒中医療連携 in 敦賀
新井良和
2014年8月, 敦賀市.
- 3 高齢者診療の治療の向上

新井良和

敦賀市医師会，2014年10月，敦賀市.

4 頰動脈ステント留置術（CAS）における MOMA Ultra の使用経験

新井良和

日本脳神経外科学会第73回学術総会，2014年10月，東京都.

5 第5回脳卒中医療連携 in 敦賀

新井良和

2015年2月，敦賀市.

泌尿器科

（学会発表、講演）

1 初回PSA値が0～2であった検診受診者の前立腺癌についての検討

澤田樹佳

前立腺がん研究会，2014年6月， .

2 初回PSA値が0～2であった検診受診者の前立腺癌についての検討

澤田樹佳

検診学会，2014年7月，群馬県.

3 泌尿器科疾患に合併した汎発性血管内血液凝固症に対する遺伝子組換えヒトトロンボモジュリン製剤の使用経験

澤田樹佳 三原信也

日本泌尿器科学会学会中部総会，2014年10月，静岡県.

4 エベロリムスが有効だった結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫の一例

三原信也 澤田樹佳

日本泌尿器科学会学会西日本総会，2014年11月，岡山県

（論文発表、執筆）

1 Cumulative risk of developing prostate cancer in men with low(<2.0ng/ml)prostate-specific antigen levels:a population-based screening cohort study in Japan

Sawada K, Kitagawa Y, Ito K, Takeda Y, Mizokami A, Namiki M.

Int J Urol. 2014 Jun;21(6):560-5

皮膚科

(学会発表、講演)

- 1 乾癬患者での抗 TNF 抗体治療による血清学的ループス様変化
小村一浩
第 113 回日本皮膚科学会総会，2014 年 5 月，京都市.
- 2 地域連携症例
小村一浩
第 4 回敦賀地区皮膚科地域連携勉強会，2014 年 5 月，敦賀市.
- 3 ヒュミラ投与中に肺 MAC 症を合併した尋常性乾癬の 1 例
小村一浩，高橋秀房
第 118 回福井皮膚科医会例会，2014 年 5 月，福井市.
- 4 Diverse responses of scleroderma fibroblasts against anti-fibrotic agents-implication for
“Personalized Medicine” in immune-induced diseases
Kazuhiro Komura and John Varga.
Federation of Clinical Immunology Societies 2014，2014 年 6 月，アメリカ合衆国.
- 5 生物学的製剤を使用中に悪性腫瘍を合併した尋常性乾癬の 1 例
小村一浩
福井乾癬を考える会，2014 年 8 月，福井市.
- 6 結節性皮膚ループスムチン症の 1 例
小林亮介，小村一浩，田居克規，河原謙一
日本皮膚科学会北陸地方会第 443 回例会，2014 年 9 月，福井市.
- 7 皮膚病診断研究
小村一浩
第 3 回敦賀皮膚科病診連携会，2014 年 9 月，敦賀市.
- 8 福井県南部で初確認できた紅斑熱の速報，若狭湾地方の環境要因と症例比較から
高田伸弘，清水達人，五十嵐一誠，小村一浩，林百合香，矢野泰弘，石畝史
日本衛生動物学会西日本支部，2014 年 10 月，名古屋市.
- 9 ウステキヌマブが奏功した、関節症状を合併した Hallopeau 稽留性肢端皮膚炎の 1 例
小村一浩
第 65 回日本皮膚科学会中部支部学術大会，2014 年 10 月，大阪市.
- 10 皮膚免疫症例検討
小村一浩
福井県皮膚免疫セミナー，2014 年 10 月，福井市.

- 11 バーサジェットを用いて壊死組織の除去を試みた強皮症に合併した指先壊疽の1例
小村一浩
厚生労働省「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類診療ガイドライン作成事業」研究班 2014 年度班会議, 2015 年 1 月, 東京都.
- 12 右肘部センチネルリンパ節に転移がみられた右前腕 Merkel 細胞癌の1例
飯野志郎, 加藤卓浩, 馬場夏希, 徳力篤, 長谷川稔, 小村一浩
日本皮膚科学会北陸地方会第 445 回例会, 2015 年 2 月、金沢市.
- 13 強皮症に合併した肺高血圧症
小村一浩
敦賀市肺高血圧症勉強会, 2015 年 2 月, 敦賀市.
- 14 当院で経験した日本紅斑熱の一例
清水達人, 五十嵐一誠, 小林元夫, 清水和朗, 高橋秀房, 三田村康仁, 音羽勘一,
方堂祐治, 米島學, 小村一浩, 高田伸弘
日本内科学会北陸地方会, 2015 年 3 月, 福井市.
- 15 基底細胞癌の1例
小村一浩
第 120 回福井皮膚科医会例会, 2015 年 3 月, 福井市.

歯科口腔外科

(学会発表、講演)

- 1 遺伝子組み換え活性型第Ⅶ因子製剤を使用し多数歯抜歯した先天性第Ⅶ因子欠乏症の1例
岡部克彦, 吉田 完, 北原寛子, 小林一彦, 定梶 嶺, 宮澤広樹, 川尻秀一
第 59 回日本口腔外科学会総会, 2014 年 10 月, 千葉市.
- 2 下顎骨に生じた腐骨の1例
吉田 完
第 25 回日本病院歯科口腔外科協議会北陸支部総会, 2015 年 2 月, 金沢市.

(論文発表、執筆)

- 1 幼児の下顎枝に発生し再発した単純性骨のう胞の1例
加藤広祿, 宮崎真凡, 田中 彰, 吉田 完, 川尻秀一, 山本悦秀※
日本口腔外科学会雑誌 Page556-560 2014 年 10 月

2 医療安全管理室

(学会発表、講演)

- 1 安心と信頼できる医療を
岡田貴子
コミュニケーション研修（講師）レイクヒルズ美方病院，2014年5月，若狭町.
- 2 医療メディエーションと患者相談支援
杉浦良啓
第16回日本医療マネジメント学会学術総会 シンポジスト，2014年6月，岡山市.
- 3 初期対応研修から対話促進研修へ
岡田貴子，杉浦良啓
第16回日本医療マネジメント学会学術総会 発表，2014年6月，岡山市.
- 4 医療安全講演、コミュニケーション：医療メディエーション
杉浦良啓
坂井地区看護協会，2014年6月，坂井市.
- 5 医療安全講演、医療安全－医療メディエーションについて
杉浦良啓
市立福知山市民病院，2014年6月，京都府.
- 6 医療安全講演（医療の安全と質）、医療メディエーションについて
杉浦良啓
京都大学医学部附属病院，2014年8月，京都市.
- 7 有害事象とチームメディエーション
杉浦良啓
日本医療コンフリクト・マネジメント学会第4回学術集会 座長，2015年1月，東京都.
- 8 医療者のエンパワメントに苦慮した事例
岡田貴子，中根奈見子，杉浦良啓
日本医療コンフリクト・マネジメント学会第4回学術集会 発表，2015年1月，東京都.

3 感染制御センター

(学会発表、講演)

- 1 個人防護具の装着方法、適切な手指衛生、標準予防策の重要性
吐物処理方法の実演
小堀和美
嶺南インフェクションコントロール，2014年9月，若狭町.

- 2 感染性胃腸炎発生時の対応
小堀和美
医療法人保仁会 泉ヶ丘病院, 2014年10月, 敦賀市.
- 3 施設における感染対策について
小堀和美
職員出前講座 (医療法人明峰会), 2014年11月, 敦賀市.
- 4 当院で経験したノロウイルス食中毒
高橋秀房
第30回日本環境感染学会総会・学術集会, 2015年2月, 神戸市.
- 5 リンクスタッフの育成ーモチベーション向上に向けた活動の見直し
小堀和美
第30回日本環境感染学会総会・学術集会, 2015年2月, 神戸市.
- 6 ノロウイルス検査における遺伝子検査の注意点
ーノロウイルス食中毒事例を経験して
川端直樹
第30回日本環境感染学会総会・学術集会, 2015年2月, 神戸市.

4 医療支援部

地域医療連携室

(学会発表、講演)

- 1 地域医療の機能分化を捉えた地域包括ケア病棟を目指す
ー急性期病院の地域包括ケア病棟開設に際したベッドコントロールの取り組みー
田中知子, 船谷和美, 田辺里江, 若杉美恵, 増井正清, 川本義之
第9回医療の質・安全学会学術集会, 2014年11月, 千葉市.
- 2 地域包括ケア病棟が地域に貢献する役割を考える
ーA病院の実績からの検討ー
田中知子, 新井良和, 川本義之, 大枝忠晃
第14回日本医療マネジメント学会福井県地方会, 2015年2月, 敦賀市.

5 医療技術部

検査室

(学会発表、講演)

- 1 当院カプセル内視鏡検査の現状と今後の展望
河野裕樹, 川端直樹
第63回日本医学検査学会, 2014年5月, 新潟市.

- 2 多職種との連携によって尿素呼気試験の精度向上を目指した取り組み
川端直樹，河野裕樹
第63回日本医学検査学会，2014年5月，新潟市.
- 3 心エコー検査が契機で発見された先天性左側心膜欠損症2症例とその特徴
河野裕樹，坊直美，中野学，三田村康仁，音羽勘一
日本超音波医学検査学会第87回学術集会，2014年5月，横浜市.
- 4 当院におけるA-ABRを用いた新生児聴覚スクリーニングの実施状況とその有用性
奥村早央里，坊直美，河野裕樹
第27回福井県医学検査学会，2014年6月，福井市.
- 5 *Campylobacter jejuni*腸炎に合併した急性心筋炎の1例
寺島美佳子，坊直美，河野裕樹，川端直樹
第27回福井県医学検査学会，2014年6月，福井市.
- 6 喀痰洗浄の意義と実際 品質評価と洗浄操作，グラム染色，培養結果について
川端直樹
福井県臨床検査技師会 微生物分野研修会，2014年6月，福井市.
- 7 病原性大腸菌の検査について
～イムノクロマト法で検出できなかったstx変異型遺伝子（stx2vha）
保有STEC O157:HNMの集団感染事例を経験して～
川端直樹
日本臨床検査技師会 近畿支部微生物部門研修会，2014年8月，大阪市.
- 8 左室に転移性腫瘍を認めた左肺扁平上皮癌の1例
河野裕樹，坊直美，岡部佳孝，三田村康仁，音羽勘一，高橋秀房
日本超音波医学会第35回中部地方会，2014年9月，名古屋.
- 9 シンポジウム ヒヤリハットとその対策 ～自動分析装置編～
東正浩
第54回日臨技近畿支部医学検査学会，2014年9月，神戸市.
- 10 シンポジウム ～フットケアチームにおける生理検査室の役割～
河野裕樹
第54回日臨技近畿支部医学検査学会，2014年9月，神戸市.
- 11 超音波診断にて苦慮した冠攣縮による冠動脈解離が原因と考える急性心筋梗塞の1例
坊直美，河野裕樹，川端直樹
第54回日臨技近畿支部医学検査学会，2014年9月，神戸市.
- 12 *Campylobacter jejuni*腸炎に合併した急性心筋炎の1例
川端直樹，高島和佳，寺島美佳子，奥村早央里，坊直美，河野裕樹
第54回日臨技近畿支部医学検査学会，2014年9月，神戸市.

- 13 病原性大腸菌の検査について ～検査法とピットフォール～
川端直樹
第5回上田フェア，2014年11月，福井市.
- 14 心不全の診断における生体検査の役割
河野裕樹
福井県臨床検査技師会 臨床生理部門研修会，2014年12月，鯖江市.
- 15 ようこそ先輩 臨床検査技師の仕事
川端しのぶ
角鹿中学校 職業説明と体験実習，2015年1月，敦賀市.
- 16 ノロウイルス検査における遺伝子検査の注意点
～ノロウイルス食中毒事例を経験して～
川端直樹，高橋秀房，荒木隆一，小堀和美，佐藤友美
第30回日本環境感染学会総会・学術集会，2015年2月，神戸市.
- 17 基礎から見直そうABI/CAVI～検査の実際とピットフォール～
河野裕樹
京都府臨床検査技師会 生理検査研修会，2015年2月，京都市.
- 18 血液疾患症例報告
高城茂弘
福井県臨床検査技師会 第3回臨床血液部門研修会，2015年2月，福井市.
- 19 当院で経験した悪性中皮腫の2例
秋山綾子，竹腰友博，高島和佳，五十嵐一誠，方堂祐治，林泰生，齊川邦和，
原田憲一
第32回福井県日本臨床細胞学会総会，2015年3月，福井市.

放射線室

(学会発表、講演)

- 1 ドパミントランスポーターイメージングの使用経験
齊藤真樹
日本核医学技術学会第92回北陸地方会，2014年6月，金沢市.
- 2 画像から診断してみましよう（乳腺領域）
河野晃代
第63回中部超音波検査フォーラム，2014年7月，金沢市.
- 3 頸動脈超音波検査（講義・実技指導）
河野晃代
第64回中部超音波検査フォーラム，2014年7月，金沢市.

- 4 医療安全について
山崎 巖
福井県診療放射線技師会フレッシューズセミナー，2014年7月，福井市.
- 5 サーベイメータの使用方法
山崎 巖
日本診療放射線技師学術大会，2014年9月，大分県.
- 6 乳房画像診断におけるUSの役割
河野晃代
第7回中部放射線医療技術学術大会，2014年11月，名古屋市.
- 7 条件付きMRI対応ペースメーカーの体制づくりと検査を経験して
田泉智明
第7回中部放射線医療技術学術大会，2014年11月，名古屋市.
- 8 当院のMRI検査安全管理体制
田泉智明
嶺南診療放射線技師勉強会，2014年12月，敦賀市.
- 9 感染スタッフ会での取組み
山崎 巖
福井県診療放射線技師学術大会，2015年2月，福井市.
- 10 サーベイメータの使用方法
清水敦之
福井県診療放射線技師学術大会，2015年2月，福井市.
- 11 市立敦賀病院の感染対策
大久保絵美
福井県診療放射線技師学術大会，2015年2月，福井市.

リハビリテーション室

(学会発表、講演)

- 1 理学療法士業務と職業観
増井正清
福井医療短期大学 現職者講演会，2014年5月，福井市.
- 2 片麻痺患者の自己注射に対する自助具の考案
山本恵子
第32回福井県糖尿病懇話会，2014年6月，福井市.
- 3 地域包括ケア病棟 立ち上げに向けて

林あさ子
第4回脳卒中医療連携in敦賀，2014年8月，敦賀市.

- 4 運動療法
増井正清
第15期 福井糖尿病療養指導担当者教育講習会，2014年9月，福井市.
- 5 糖尿病患者に対する運動療法のワンポイント
増井正清
第12回糖尿病ファーマシストセミナー福井，2014年9月，永平寺町.
- 6 リハビリテーションスタッフにおける患者急変時対応手順の把握状況
～経験年数による比較～
増井正清
第53回全国自治体病院学会，2014年10月，宮崎県.
- 7 地域包括ケア病棟開設を経験して
林あさ子
第3回福井県作業療法学会，2015年3月，福井市.

(論文発表、執筆)

- 1 二州地区リハビリスタッフによる「地産地“生”を真剣に考える会」活動報告
高木隆幸
理学療法福井 第18巻 Page45～46，2014年11月
- 2 リハビリテーションにおける医療安全 ～患者急変時対応の見直し～
西田拓司，谷島悠亮
理学療法福井 第18巻 Page58～60，2014年11月
- 3 当院脳卒中患者における評価と帰結の関連
森田圭，大澤拓実，段ノ上知美
理学療法福井 第18巻 Page29～31，2014年11月
- 4 秘められた可能性を引き出す
増井正清
理学療法福井 第18巻 巻頭言，2014年11月
- 5 意欲低下し寝たきりの症例に対する外出に向けた関わり
林あさ子
福井県作業療法士会学術誌 vol.1 Page50～52，2014年3月

臨床工学技術室

(学会発表、講演)

- 1 膿疱性乾癬に顆粒球吸着療法が有効であった維持透析患者の一例

三好千恵

第 59 回 日本透析医学会学術集会，2014 年 6 月，神戸市.

6 薬剤部

(学会発表、講演)

- 1 スチバーガ適正使用について
佐藤友美
福井スチバーガセミナー，2014年6月，福井市.
- 2 シンポジウム医療現場でRMPの活用
—医療従事者（薬剤師）と製薬企業の連携—
荒木隆一
第17回日本医薬品情報学会総会・学術大会，2014年7月，鹿児島県.
- 3 自動車運転等の注意の記載に関する取り組み
藤長宏昌，荒木隆一，佐藤友美，西島勝之
第17回日本医薬品情報学会総会・学術大会，2014年7月，鹿児島県.
- 4 当院における抗凝固薬の中止について
藤長 宏昌
医薬品情報スキルアップセミナー，2014年7月，福井市.
- 5 リスクマネジメントプランの実践における薬剤師の役割
中小病院での取り組みおよび課題
荒木隆一
第24回日本医療薬学会年会，2014年9月，名古屋市.
- 6 自動車運転等の禁止等の記載に関する取り組み
荒木隆一，藤長宏昌，佐藤友美，西島勝之
日本薬剤師会学術大会，2014年10月，山形県.
- 7 転倒に関与する薬剤
荒木隆一
敦賀市医師会学術講演会，2014年10月，敦賀市.
- 8 医薬品安全供給を担保した業務改善—薬剤アシスタント導入の評価—
荒木隆一
第9回医療の質・安全学会学術集会，2014年11月，千葉県.
- 9 改正薬剤師法医療現場の課題について 今我々が出来ることを考える
荒木隆一
福井県病院薬剤師会 薬剤業務検討会，2015年1月，福井市.
- 10 RMP実践課題 中小病院の立場から

荒木隆一
薬剤部長セミナー，2015年3月，横浜市.

7 看護部

(学会発表、講演)

- 1 災害看護シミュレーション
井上ひろみ
愛知県看護協会，2014年7月，名古屋市.
- 2 糖尿病の基礎知識、糖尿病とお口の健康について
加藤久代
敦賀市歯科衛生士会，2014年8月，敦賀市.
- 3 高齢者診療の治療の向上
杉本智恵
敦賀市医師会，2014年10月，敦賀市.
- 4 ママサポートタクシー研修会
西澤広子
福井県助産師会，2014年10月，敦賀市.
- 5 いのちはどこからきたの
上田紀子
南越前町立今庄小学校，2014年11月，南越前町.
- 6 母のためのいのちの教室
上田紀子
敦賀市立栗野小学校，2014年11月，敦賀市.
- 7 糖尿病治療
加藤久代
第2回敦賀糖尿病治療の連携会，2014年12月，敦賀市.
- 8 敦賀気比高等学校キャリア塾 看護師の仕事とは
中野加央里
敦賀気比高等学校附属中学校，2014年12月，敦賀市.
- 9 母性看護実習
三好啓子
公立若狭高等看護学院，2015年1月，敦賀市.
- 10 医学・薬学的地域の向上
田辺里江
第5回脳卒中医療連携in敦賀，2015年2月，敦賀市.

(論文発表、執筆)

- 1 そのまま使える！高齢者急変対応基本マニュアル 異食をした時の対応
藤原貞美子
高齢者安心安全ケア：実践と記録12巻4号Page37-42, 2015年3月

8 臨床病理検討会

| | CPC | 臨床診断 | マクロ主病変 | マクロ副病変 | ミクロ主病変 | ミクロ副病変 |
|---|--|---|-----------------------------|---|--|---|
| 1 | 2014/11/27 平成26年度 第1回 医局合同CPC 市立敦賀病院 | うっ血性心不全 | 心肥大(求心性左心肥大, 軽度)(心重量: 255g) | 1 胸水(左 165 ml; 右 30 ml) 2 動脈粥状硬化症(大動脈, 中等度~高度; 冠状動脈, 軽度) 3 大腸憩室+腸炎(疑い) 4 脾脂肪浸潤(脾重量: 90g) 5 腎嚢胞(最大 3 cm 大)(腎重量: 左 65g, 右 85g) 6 [高血圧症, 糖尿病, 気管支喘息] (臓器摘出後状態) (開頭なし) | 心肥大(求心性左心肥大, 軽度)(心重量: 255g) | 1 気管支肺炎(右肺上葉)+肺うっ血(軽度)(肺重量: 左 165g, 右 210g) 2 動脈粥状硬化症(大動脈, 中等度; 冠状動脈, 軽度) 3 偽膜性大腸炎+大腸憩室 4 肝脂肪沈着+肝うっ血(軽度)(肝重量: 375g) 5 脾脂肪浸潤+ラ氏島アミロイド沈着(脾重量: 90g) 6 腎嚢胞(最大 3cm 大)(腎重量: 左 65g, 右 85g) 7 胸水(漿液性: 左 165ml, 右 30ml) 8 [脳梗塞, 高血圧症, 糖尿病, 気管支喘息] (臓器摘出後状態) (開頭なし) |
| 2 | 2015/1/15 平成26年度 第2回 医局合同CPC 市立敦賀病院 | 誤嚥性肺炎 脳梗塞後遺症 肝硬変(非B非C) 肺線維症 糖尿病 | 肺腫脹(肺重量: 左 440g, 右 715g) | 1 総胆管結石(3個, 最大径 1cm 大) 2 肝萎縮(肝重量: 545g) 3 下部食道癒痕(食道静脈瘤破裂に対する治療後) 4 胸膜癒着(右肺下葉)+肺炎粉沈着 5 甲状腺腫大(甲状腺重量: 24.7g) 6 腎嚢胞(右腎, 最大径 2 cm 大)(腎重量: 左 90g, 右 80g) 7 大動脈粥状硬化症(軽度) | 気管支肺炎(大葉性肺炎)(肺重量: 左 440g, 右 715g) ・右下葉, 左下葉に高度 ・異物型巨細胞を散見(誤嚥性肺炎に矛盾せず) ・細菌(グラム陰性菌), 真菌(アスペルギルス)感染を伴う | 1 肝結節性再生性過形成(NRH)(肝重量: 545g) ・特発性門脈圧亢進症(IPH)類似の組織所見を伴う ・脾腫なし(脾重量: 70g) 2 食道静脈瘤(破裂に対する治療後)+腹水(量不明) 3 総胆管結石(黒色石 3個, 最大 1cm 大)+慢性胆嚢炎(軽度) 4 肺線維症(程度の軽い広義の肺線維症)+胸膜癒着(右肺下葉) 5 慢性甲状腺炎(甲状腺重量: 24.7g) 6 動脈粥状硬化症(軽度) 7 腎嚢胞(右腎, 最大 2cm 大)(腎重量: 左 90g, 右 80g) 8 [脳梗塞後遺症] 9 [糖尿病] (臓器摘出後状態, 開頭なし) |

| | | | | | | |
|---|---|--|--|---|--|--|
| 3 | 2015/1/29 平成26年度 第3回 医局合同CPC 市立敦賀病院 | 直腸癌 直腸癌術後、汎発 性腹膜炎を合併 し、DIC→多臓器 不全に至った症 例です。 | 1 直腸癌術後（低位前方切 除、術後4日） 転移なし 2 汎発性腹膜炎 下行結腸穿孔に対する修 復術後（術後2日） | 1 出血傾向 2 胸水（左100ml,右350ml） +腹水（200ml）（いずれ も漿液性） 3 左肺胸膜癒着（肺重量： 左380g,右440g） 4 心肥大（拡張性,軽度） 5 大動脈粥状硬化症（軽 度） 6 肝嚢泡（外側区域,数個, 最大径1.5cm）（肝重量 960g） 7 膀胱粘膜小隆起（5mm大） （臓器摘出後状態,開頭な し） | 直腸癌術後（腹腔鏡補助下低位前方切除術,術後 4日,進行癌,高分化型管状腺癌） 転移：なし | 1 化膿性腹膜炎+下行結腸穿孔に対する閉鎖術後 （術後2日）+腹水（200ml,漿液性） 2 小腸出血性梗塞（広範囲,特に空腸に高度）（非 閉塞性腸間膜虚血症の疑い）+大腸出血性変化 3 脾虚血（脾梗塞に近い,1cm大）（脾重量65g） 4 拡張性心肥大（心重量295g） 5 肝うっ血+肝単純嚢泡（外側区域,2.5cm大）（肝 重量960g） 6 左胸膜癒着（肺重量：左380g,右440g）+胸水（左 100ml,右350ml：漿液性） 7 大動脈粥状硬化症（軽度） 8 [播種性血管内凝固症候群] （臓器摘出後状態,開頭なし） |
| 4 | 2015/2/19 平成26年度 第4回 医局合同CPC 市立敦賀病院 | 1. 誤嚥性肺炎 2. 消化管出血 3. 慢性腎不全 4. 脳梗塞後遺症 | 1 大腸腫瘍（下行結腸,1 型,2.8×2.0cm大） 2 消化管内タール状内容 物（回腸末端～直腸） | 1 気道内粘稠喀痰（気管～ 左主気管支） 2 心肥大（求心性左心肥 大）（心重量335g） 3 大動脈粥状硬化症（中等 度） 4 左肺胸膜癒着+右壁側 胸膜（横隔膜ドーム部）プ ラーク（肺重量：左335g, 右320g） （臓器摘出後状態,開頭な し） | 1 早期大腸癌（下行結腸,0-Ip型,2.8×2cm大, 高分化～中分化型管状腺癌） 転移：なし 2 前立腺癌（化学療法中） 転移：なし 3 コレステロール塞栓症 消化管（胃～大腸）,肝臓,胆嚢,脾臓,膵臓, 腎臓にコレステロール塞栓多発 | 1 消化管タール状内容物（回腸末端～直腸） 2 大動脈粥状硬化症（中等度） 3 気道内粘稠喀痰充満（気管支～左右主気管支） 4 器質性肺炎（右肺下葉）+肺気腫性変化（肺重量： 左335g,右320g） 5 心肥大（求心性左心肥大）（心重量：335g） 6 左胸膜癒着+右壁側胸膜（横隔膜ドーム部）プ ラーク（最大5cm大） （臓器摘出後状態,開頭なし） |

| | | | | | | |
|---|--|-----------------|---|---|---|--|
| 5 | 2015/3/26 平成26年度 第5回 医局合同CPC 市立教養病院 | 窒息の疑い 心室性不整脈 | 心肥大(左心肥大, 軽度)(心重量: 290g) | <ol style="list-style-type: none"> 1 胸水(漿液性)(左 350ml, 右 500ml) 2 大動脈粥状硬化症(中等度~軽度) 3 肝褐色萎縮(肝重量: 490g) 4 肺炭粉沈着(中等度)(肺重量: 左 180g, 右 225g) 5 子宮平滑筋腫(1個, 1.5cm大) 6 右卵巢囊腫(2個: 6cm大, 1.5cm大) 7 胃ポリープ(幽門部, 2個: 2×1.5cm大, 1.5×1cm大) 8 大腸ポリープ(横行~下行結腸, 1個: 0.5cm大) 9 大腸SMT様隆起(上行結腸, 2個: 1cm大, 1cm大)(臓器摘出後状態, 開頭なし) | <p>早期胃癌(幽門部, 0-I型, 3×1.5cm大, 高分化型管状腺癌) 転移: なし</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 左心肥大(軽度)(心重量: 290g) 2 肺うつ血(軽度) + 炭粉沈着(中等度)(肺重量: 左 180g, 右 225g) 3 胸水(漿液性)(左 350ml, 右 500ml) 4 肝褐色萎縮 + 脂肪肝(肝重量: 490g) 5 動脈粥状硬化症(軽度) 6 右卵巢漿液性嚢胞腺腫(6cm大, 1.5cm大) 7 子宮筋腫(1.5cm大) 8 大腸脂肪腫(上行結腸, 1cm大, 2個) 9 [高血圧症] (臓器摘出後状態, 開頭なし) |
| 6 | 2014/6/27 平成26年度 第6回 医局合同CPC 金沢大学 形態機能病理 学教室 | 心肺停止 左肺炎 | <ol style="list-style-type: none"> 1 左肺うつ血水腫 + [肺炎疑い](760g) 一固定後に割を入れて検索します。 2 [前立腺癌](詳細不明) | <ol style="list-style-type: none"> 1 陳旧性心内膜下梗塞(前壁-中隔) 335g 一冠動脈の硬化は軽度; 前下降枝にも狭窄なし 2 左副腎摘出後状態 3 右副腎結節性病変(過形成疑い)(13.4g) 4 両腎腫脹(170g; 165g) 5 脾出血点(急性脾炎疑い)(230g) 6 肺結節性病変(左肺下葉, 径0.8cm) 7 脂肪肝(1160g) 8 肝血管腫(-1.5cm, 数個) 9 大動脈粥状硬化症(軽度) | <ol style="list-style-type: none"> 1 左肺うつ血水腫 + 気管支肺炎(760g) 左肺は中等度に重量増加し、暗赤褐色調で含気は乏しい状態であった。組織学的には肺の基本構築は保たれ有意な線維化などはなく、全体にうつ血水腫と斑状の軽度の気管支肺炎を認めた。グラム染色、PAS染色では明らかなグラム陽性菌、真菌感染は検出されず、グラム陰性菌が起原因菌と考えられた。尚、右肺は305gでうつ血水腫や肺炎は見られなかった。 2 甲狀腺癌(左葉, 潜在癌, 顕微鏡的; <1mm, 転移なし) | <ol style="list-style-type: none"> 1 陳旧性心内膜下梗塞(左前壁-中隔; 335g, 左室壁1.6cm; 右室壁0.4cm) 左室前壁-中隔の心内膜下に、領域性の線維化を認めた。組織学的には、新鮮梗塞の所見はなく、陳旧性心内膜下梗塞と考えられた。ただし、冠動脈の硬化は全体的に軽度で、梗塞領域の支配血管である前下降枝にも明らかな狭窄、閉塞は見られなかった。心臓の左室壁厚は1.6cmと軽度に肥厚していた。 2 右副腎皮質過形成(13.4g) 右副腎の重量は軽度に増加し、剖面では、径1.5cm大までの黄色調、境界不明瞭な結節性病変を数個認めた。腺腫と過形成の鑑別が問題となるが、結節の境界不明瞭で、複数あり、結節外の皮質に萎縮もないことより、皮質過形成と考えられた。 3 両腎腫脹(170g; 165g) 腎臓は両側とも中等度に重量増加を示した。組織学的には、うつ血が目立ち、間質浮腫はほとんどなかった。糸球体は少数、硝子化を見る以外、概ね良く保たれていた。DICを示唆する微小血栓も認めなかった。 |

| | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|--|---|
| | | | | | | | |
| 7 | 2014/7/7 平成26年度 第7回 医局合同CPC 金沢大学 形態機能 病理学教室 | Malgリンパ腫 平成25年5月発 症の悪性リンパ 腫 平成26年4月に 再発 化学療法中に汎 血球減少あり平 成26年5月5日 入院 胃腸窩織炎、間質 性肺炎合併 5月29日死亡 | [悪性リンパ腫] (濾胞性リンパ腫) 度、十二指腸、胆管原発、 化学療法後状態 胃幽門部多発ポリープ 3cm 胃びらん+胃壁浮腫状肥 厚 十二指腸、総胆管には腫 瘍、狭窄なく、著変なし 左副腎周囲：腫瘍なく著 変なし 大動脈周囲リンパ節：腫 瘍なし | 1 肺含気低下+硬化+〔間 質性肺炎〕(245g; 295g) - 固定後に割を入れて検 索します 2 腔水症 (胸水 600ml : 600ml; 腹水 300ml) 3 甲状腺結節 (左葉、径8mm 大) (16.2g) 4 子宮体部ポリープ状病 変+膿貯留 5 大動脈粥状硬化症 (中等 度-高度) 6 肝萎縮 (565g) 7 肝偽脂肪腫 (右葉、横隔 膜下、径1cm) 8 左卵巣単純嚢泡 (7×9× 6cm) | 二重嚢 1) 非ホジギンリンパ腫 (濾胞性リンパ腫、高異型度、 十二指腸、胆管原発、化学療法後状態) 2) 甲状腺乳頭癌 (左葉、径8mm大) (16.2g) 転移 なし 1) 剖検時、原発の十二指腸、総胆管には明らかかな腫 瘍、狭窄はなかった。組織学的にも、十二指腸、 総胆管に明らかかなリンパ腫再発はなかった。左腎 (70g) は、重量の増加なく、肉眼的にも明らかかな 腫瘤形成はなかったが、組織学的には、髄質を中 心に、広範にリンパ腫細胞の浸潤を認めた。リン パ腫細胞は小型-中型で、免疫染色では、CD10、 CD20陽性であり、濾胞性リンパ腫の再発と考えら れた。腎被膜、腎盂脂肪腫、左副腎周囲脂肪腫に もリンパ腫細胞の浸潤を認めた。その他の臓器へ の浸潤はなかった。 2) 甲状腺左葉上部に、径8mm大の石灰化を伴う白 色調結節をみた。組織学的には、広範な硝子化、 石灰化を伴う濾泡状嚢泡と、乳頭状構造に濾胞 構造をまじえる乳頭癌をみた。リンパ管侵襲像を 散見したが、明らかかな静脈侵襲像はなかった。ま た、明らかかな甲状腺被膜外への浸潤や転移はなか | 4 脂肪肝+肝線維症 (軽度-中等度、アルコール性、 1160g) 肝重量は正常範囲で、剖面では黄赤色調を示してい た。組織学的には、小葉中心性に、30-50%の肝実質 に大滴性、小滴性脂肪沈着を認めた。静脈周囲性、細 胞周囲性線維化は軽度で、明らかかな C-C bridging fibrosis はなかった。また、軽度の門脈域周囲線維化 (chicken-wire like) も認めた。明らかかな脂肪性肝炎 の所見はなかった。アルコール性の軽度-中等度の脂 肪肝+肝線維症と考えられた。 5 肝血管腫 (最大1.5cm, 数個) 6 脾腫 (軽度, 140g) 7 大動脈粥状硬化症 (軽度) 8 大腸管状腺腫 (横行結腸, 径8mm, 山田IV型, 低異型度) 9 肺硝子化結節 (左肺下葉, 径0.8cm) 10 左副腎摘出後状態 11 [脳腫瘍手術後状態] (開頭なし) | 1 間質性肺炎 (器質化期ARDS疑い) (245g; 295g) 剖検時、肺重量の増加はなかったが、全体に含気が 低下して、硬化した状態であった。組織学的には、胸 膜下優位、上葉優位に、肺胞内の Masson 体形成による 肺胞のつぶれを認めた。一部の肺泡には硝子膜形成を 認めた。病変の時相は概ね均一であった。炎症細胞浸 潤はあまり目立たず、明らかかな Gram 陽性菌、真菌、カ イトメガロウイルス感染細胞はなかった。器質化期の ARDS が疑われる所見であった。 2 腔水症 (胸水 600ml; 腹水 300ml) 3 胃腸窩織炎 (胃幽門部、びらん、多発ポリープ状 病変形成) 胃幽門部小嚢に、約3.5×3cm大の範囲で、多発ポリー プ状病変と中心部の不整形のびらんとを認めた。また、 胃壁は、体部-幽門部を中心に、浮腫状肥厚を示した。 組織学的には、リンパ腫細胞の浸潤はなく、びらんと 粘膜筋板の欠損、周囲粘膜上皮の過形成性変化をみた。 また、同部には静脈内の器質化を伴うフィブリン血栓、 動脈内膜の浮腫状の肥厚と内皮細胞の増生を認めた。 炎症細胞浸潤は目立たず、明らかかな Gram 陽性菌、真菌 は認めなかった。原因菌は不明で化膿性炎症ではない が、粘膜下層の著明な浮腫と線維化から、少し時間の |

| | | | | | | | |
|---|---|--------------------------|--|---|--|--|--|
| 8 | 2014/10/30 平成26年度 第8回 医局合同CPC 金沢大学 形態機能 病理学教室 | 非代償性肝硬変 肝細胞癌 2型糖尿病 | 肝硬変 (NBNC (NAS H疑い), 混合結節型, anoxic pseudolobular necrosis を伴う) + [肝細胞癌] (RFA 後状態; 転移なし) (685g) 一肝割面上、径1cmまでの結節を含む混合結節型肝硬変 一被膜下を中心に、anoxic pseudolobular necrosis を伴う 一RFA 後瘻痕; 不明。肉眼的には肝細胞癌の有無不明組織学的に検索します。 | 1 肺うつっ血水腫 (425g : 605g) 一固定後に割を入れて検索します 2 腹水 7000ml 3 門脈血栓 (肝左右枝一門脈本幹) 4 食道静脈瘤 (中等度) 5 脾腫 (軽度) + 糖衣形成 6 左腎陳旧性梗塞 (100g) 7 大動脈粥状硬化症 (中等度一高度) | つた。 1 肝硬変 (NBNC 性 (非アルブミン性) 脂肪性肝炎疑い)、混合結節性、anoxic pseudolobular necrosis を伴う) + [肝細胞癌] (RFA 後状態; 再発転移なし) (685g) 2 [2型糖尿病] 1) 臍島アミロイド沈着 (臍重量 220g) 2) 大動脈粥状硬化症 (中等度一高度) 主病変 1) 肉眼的に、肝重量は低下し、表面凹凸不整で完成した肝硬変の状態であった。割面では、径1cmまでの結節を含む混合結節型肝硬変で、被膜下を中心に、再生結節辺縁が赤色調で、anoxic pseudolobular necrosis と考えられた。RFA 後瘻痕は不明瞭であった。肉眼的には、S4 に径1cm大のやや大型の結節を認める以外、肝細胞癌の有無は不明であった。また、門脈本幹から肝内門脈左右枝に鑄型状血栓を認めた。 組織学的には、完成された混合結節型肝硬変で、一部には亜小葉性の細かい再生結節も見られた。脂肪沈着はごく軽度で、一部に少数の Mallory body を認めた。また、一部の肝細胞には large cell change をみた。線維性隔壁には軽度の細胆管反応を見たが、炎症細胞浸潤はほとんどなかった。肉眼所見に一致して、被膜下の赤色調の結節には、凝固壊死と出血、軽度の好中球浸潤を認めた。脂肪性肝炎の所見は不明瞭であるが、比較的細かい再生結節のパターンは、非アルブミン性脂肪性肝炎/脂肪性肝疾患 (NASH/NAFLD) 性の肝硬変として矛盾しない。S4 の径1cm大の結節では、細胞密度は周囲の再生結節と概ね同等で、異型はななく、内部には細胆管反応を伴う門脈域構造を含み、CK7 陽性細胆管、小型肝細胞が目立った。ま | 経過した胃腸管癌と考えられた。 4 大動脈粥状硬化症 (中等度一高度) 5 肝萎縮 (565g) 6 肝偽脂肪腫 (右葉、横隔膜下、径1cm) 7 子宮内膜ポリープ + 膿貯留 子宮内には膿汁を入れ、体部的内臓には径1cm大のポリープ病変を入れ、体部的には、嚢胞上に拡張した内臓散在性に含む内臓病変で、異型は目立たず、悪性像は認めなかった。 8 左卵巣単純嚢胞 (7×9×6cm) | 1 肺クリプトコッカス症 (右上葉) + 肺出血 + うっ血水腫 (425g:605g) 肺は両側とも重量増加し、含気の乏しい状態であった。右上葉に、径1cm大の白色結節を認めた。組織学的には、結節部には、壊死と透明、球状のクリプトコッカスに相当する酵母型真菌 (Grocott, PAS 陽性) を貪食する組織球の集簇、好中球浸潤を認めた。肺クリプトコッカス症と考えられた。背景肺にはうっ血水腫、一部に軽度の好中球浸潤、出血を認めた。 2 腹水 7000ml 3 門脈血栓 (肝左右枝一門脈本幹) 4 食道静脈瘤 (中等度) 5 脾腫 (軽度、150g) + 糖衣形成 6 左腎陳旧性梗塞 (100g) 左腎臓下部に、皮質が陥凹する陳旧性梗塞を認めた。組織学的には、皮質の陥凹に、膜状の異物様構造と、動脈のつぶれを認めた。この病変の成因は不明である。背景の腎臓には、一部の糸球体の硝子化、軽度のメサンギウム増加、輸出入動脈の硝子化を認めた。 |
|---|---|--------------------------|--|---|--|--|--|

| | | | | | | |
|---|---|------------------|--|--|--|--|
| 9 | 2015/1/23 平成 26 年度 第 9 回 医局合同 CPC 金沢大学 形態機能 病理学教室 | 慢性心不全 慢性呼吸器不全 | 剖検診断 1 肺炎 (635 g ; 655 g) 2 大腸癌術後 再発転移 なし | 副病変 1 胸膜癒着 (高度) 2 陳旧性心筋梗塞 (左室前壁-中隔、心内膜下 ; 370 g) — 冠動脈粥状硬化+狭窄 (左前下行枝、回旋枝、右冠動脈粥状硬化+狭窄) 3 大動脈粥状硬化 (中等度) 4 肝萎縮 (軽度、750 g) 5 腎嚢胞 (右、7.5 cm大) (115 g ; 115 g) 6 副脾 (径 1 cm、脾門部) 7 慢性膀胱炎 | た、周囲の再生結節より CD34 陽性類洞毛細血管化は広範囲であった。大型再生結節と考えられた。剖検肝には明らかな肝細胞癌の再発なく、他臓器転移も認めなかった。 2) 歴実質は概ね保たれていたが、腺島にはアミロイド沈着が目立った。糖尿病に関連した変化と考慮された。また、大動脈には、中等度-高度の大動脈粥状硬化症を認めた。1) の肝硬変についても、成因は糖尿病に関連した NASH/NAFLD 性が最も疑われた。尚、腎臓には、明らかな糖尿病性腎症の組織像は認めなかった。ただし、輸出入動脈の硝子化は、糖尿病に関連した細小血管症の可能性がある。 | 副病変 1 胸膜肥厚+癒着 (高度) 2 陳旧性心筋梗塞 (左室壁前壁 中隔 ; 370g) 冠動脈粥状硬化+狭窄 (左回旋枝、右枝内にステント ; 左前下行枝 高度狭窄) 心臓は軽度に重量増加を示し、左室前壁-中隔に陳旧性心筋梗塞を示唆する白色調領域を認めた。特に心尖部付近では、貫壁性の線維化と壁の菲薄化を認めた。冠動脈は、3 枝とも起始部は開存していたが、石灰化を伴う粥状硬化を認め、左回旋枝と右枝には、内枝に細く、起始部約 3 cm の箇所が粥状硬化による高度の狭窄 (ほぼ閉塞) を示していた。組織学的に、白色調領域には膠原線維を主体とする線維化と、脂肪組織を認めた。新鮮梗塞は認めなかった。 3 大動脈粥状硬化症 (中等度) 4 動脈硬化性腎硬化症+腎嚢胞 (右、7.5cm 大) (115g ; 115g) 5 肝萎縮 (軽度、710g、矢状溝形成を伴う)+海綿状血管腫 (径 1cm、左葉) 6 低形成性骨髄 (軽度) 7 甲状腺嚢胞腺腫 (左葉中部 ; 径 8mm 大) (21.05g) 8 胸腺嚢胞 (径 1 cm) 9 副脾 (径 1 cm、脾門部) 10 肝門部結合織内小軟骨 (3 mm) 11 慢性膀胱炎 |
|---|---|------------------|--|--|--|--|

VIII 看護部実績

1 師長会活動報告

1 目的

看護部の管理運営の円滑化を図り、病院運営に寄与する。

2 活動目標

- ①地域の発展に寄与することができるよう看護の専門性を高める。
- ②医療安全・感染防止に組織的に取り組み、安全・安心な看護の提供を行う。
- ③魅力的な職場環境を築き職員の満足度を高め、看護の充実に繋げる。
- ④部署の特性をふまえ、安全で効率的・専門性を発揮できる看護体制の検討と導入に取り組む。

3 委員

三好、山崎、八木、湊、若杉、船谷、田辺、前田、井上、中村、新谷、内野、飯田、鳥羽、榎本、加藤、小堀

4 活動実績

(委員会)

- ・開催数 32回
- ・内容
 - ①看護部目標を受けての部署目標の設定、評価
 - ②病院全体会議、委員会の伝達
 - ③看護部として委嘱を受けた各委員会活動に関する報告、提案、討議、決定
 - ④看護部ないでの会議、委員会からの報告、提案、討議、決定
 - ⑤管理業務（人事・労務）に関する報告、提案、討議、決定
 - ⑥看護協会に関する報告、伝達

(研修会参加報告)

- ・テーマ 重症度・医療・看護必要度評価者研修を終えて
- ・講師 前田師長
- ・参加者 13名

2 主任会活動報告

1 グループ活動

(1グループ)

- ・目的 病棟の看護課題や注意事項がシームレスに地域へ情報提供し、継続した看護が行う。
- ・活動目標
 - ①退院時の看護サマリーに必要な情報を明確にし、病棟看護師が情報提供を行える。
 - ②地域包括ケアシステムについて理解を深め、退院後の生活を考えた支援が実践できる。

- ・委員 近江谷、田中、野崎、藤長、宇野

(2グループ)

- ・目的 誰が実践しても同じ手技、手順で効率的な質の高い看護が提供できる。
- ・活動目標
 - ①各部署、スタッフでローカルルールを把握することができる。
 - ②最新の看護技術や知識を全スタッフが習得し、実践できる。
 - ③電子カルテから検索しやすいバージョンを作成する。
 - ④マニュアルの変更時や最新情報がある時に、修正内容が周知・把握される。

- ・委員 大野、田中智、大和田、藤原、杉本

(3グループ)

- ・目的 看護補助者の教育に携わり、看護サービスの向上、看護補助者の離職を減らす。
- ・活動目標
 - ①看護補助者が看護チームの一員としての役割と責任を自覚できるように教育、評価する。
 - ②看護補助者が安心とやりがいをもって仕事に取り組み、離職率を10%以下とする。

- ・委員 小堀、奥、熊谷、稲垣、西島、水上

(4グループ)

- ・目的 主任間の連携をよくし、主任自身のモチベーションをアップする。
- ・活動目標 院内に向けて主任会の活動がアピールできる。
- ・委員 竹中、藤井、山田、杉本裕、岸本、熊崎

2 グループ活動の実績

12回開催した。

(グループ活動)

- ・1グループ 在宅サービス事業所へ退院時看護サマリーについてのアンケート実施、退院時看護サマリー記入例、見本の見直し、記入例見本を作成、「地域包括ケア病棟について」勉強会を実施
- ・2グループ 看護技術マニュアルの見直し・修正、新人研修資料の収集・修正
- ・3グループ 看護補助者研修を実施
- ・4グループ 主任会リフレッシュ研修、TQM発表を実施

3 セーフティマネジャー委員会活動報告

1 目的

- ①部署の医療安全に対する問題を考えることができる
- ②部署の医療安全に対する意識・知識を向上することができる

2 活動方針

- ①リスク感性を高め、部署の医療安全を推進する
- ②医療安全ラウンドを実施し、部署の危険を明らかにする

3 委員

(委員長) 宇野

(委員) 中西、武田、中川、百田、木本、澤、服部、西澤、今大地、小林、岸本、藪ノ内

4 活動実績

(委員会)

開催数 22回

内容 ①インシデントの報告・共有、②グループ活動

(研修会)

- ・テーマ KYTについて

講師 小林奈未 中川玲子 百田美樹子

受講者 10名(入職2年目)

- ・テーマ 安全な投薬

講師 服部祥子

受講者 18名(新人)

(グループ活動)

(1) KYT

- ①部署ラウンドの実施、②イラストKYTの実施

(2) 与薬アセスメントスコアシート

- ①与薬アセスメントスコアシートの評価・見直し

(3) 点滴準備マニュアル

- ①点滴準備マニュアルの評価・見直し

(4) 転倒転落

- ①転倒転落アセスメントスコアシートの検討・転倒転落発生時の記録例の作成

4 教育委員会活動報告

1 目的

- ①専門的な知識を現場で活かす教育の企画・運営を行う。
- ②看護実践者としてモデルとなる資質を有する看護師の育成を目指す。

2 活動方針

- ①看護部の理念に基づいた教育内容を企画・運営する。
- ②各ステップの段階別に分かれた研修の企画・運営を行う。
- ③研修の場を通して看護師としての資質を養う。

3 委員

(委員長) 小堀和美

(委員)

中野加央里 (3階病棟)、仲間有希 (4階病棟)、杉本智恵 (5階病棟)、
藤長真由美 (6階病棟)、鳴海里美 (7階病棟)、橋元高子 (北3階病棟)、
大和田環 (北4階病棟)、田中真穂 (北5階病棟)、宮本麻衣 (HCU)、
加藤久代 (外来)

4 活動実績

(委員会)

| 開催日 | 内 容 |
|------------|----------------------------------|
| 5/2、 5/16 | 教育プログラム作成、ステップ別研修の企画・運営 |
| 6/6、 6/20 | 研修後のアンケートの検討、5月研修の報告、6月の研修の予定 |
| 7/4、 7/18 | 6月の研修報告、7月の研修予定、 |
| 8/ 1 | 7月の研修報告、8月の研修予定 |
| 9/5、 9/19 | 8月の研修報告、9月の研修予定 |
| 10/3、10/17 | 9月の研修報告、10月の研修予定 |
| 11/7、11/21 | 10月の研修報告、11月の研修予定、次年度の研修計画 |
| 12/5、12/19 | 11月の研修報告、12月の研修予定、各ステップの実施内容振り返り |
| 1/16 | 12月の研修報告、1月の研修予定、次年度の課題 |
| 2/6、 2/20 | 1月の研修報告、2月の研修予定、次年度の計画立案 |
| 3/6、 3/20 | 2月の研修報告、3月の研修予定、次年度の研修立案 |
| 4/3、 4/17 | 3月の研修報告、4月の研修予定、次年度の研修立案 |

(研修会)

| 実施日 | テーマ | 講 師 | ステップ | 参加人数 |
|------|-----------|---------|------|------|
| 5/15 | ケーススタディとは | 熊崎主任看護師 | 3-① | 8名 |

| | | | | |
|-------|--------------------|------------------|-------|-----|
| 5/21 | フィジカルアセスメント（正常編） | 藤原主任看護師 | 2 | 12名 |
| 6/18 | フィジカルアセスメント（異常編） | 藤原主任看護師 | 2 | 11名 |
| 6/20 | リーダーシップ「災害編」 | 久保主任看護師 | 4 | 34名 |
| 6/26 | メンバーシップ | 小堀看護師長 | 3-① | 18名 |
| 7/10 | 看護過程Ⅰ | 熊崎主任看護師 | 2 | 11名 |
| 7/15 | リーダーシップ「感染編」 | 前田看護師長 八木看護師長 | 4 | 36名 |
| 7/31 | 下肢静脈血流障害患者のアセスメント | 稲垣主任看護師 | 3-①・② | 25名 |
| 8/7 | ディリーダー | 中野看護師 | 3-① | 7名 |
| 8/29 | リーダーシップ「ベッドコントロール」 | 湊看護師長 田辺看護師長 | 4 | 24名 |
| 9/4 | 看護過程Ⅱ | 熊崎主任看護師 | 2 | 12名 |
| 9/18 | 家族とはⅠ | 仲間看護師 | 3-② | 23名 |
| 10/1 | 家族とはⅡ | 仲間看護師 | 3-② | 15名 |
| 10/30 | プロセスレコード | 大和田主任看護師 | 2 | 12名 |
| 11/6 | 夜勤リーダー | 宮元看護師 | 3-② | 15名 |
| 11/27 | ケーススタディ発表会 | 担当者 | 3-① | |
| 12/1 | 標準予防策 | 小堀看護師長 | 2 | 10名 |
| 2/5 | KYT | 百田看護師 | 2 | 12名 |
| 2/26 | フォローアップ研修 | 担当者 | 3-② | 7名 |

5 次年度への課題

(ステップ2)

- ・ステップ1の内容からの連携、フォローアップが現場教育になっているため、次年度はステップ1からの連携が出来る教育を目指す。
- ・ステップが上げられなかった人に対する教育の体制を修正・検討する。

(ステップ3-①)

- ・ケーススタディが中心となるため、計画書の段階で、個人が症例から何を学ぶのか、指導者は何を学ばせたいのかを明確にして関わる必要がある。
- ・ケーススタディに関わる指導者の指導、教育も必要。

(ステップ3-②)

- ・研修を通して、遅刻や無断欠席などを少なくするための取組みを行ってきたが、各自が自覚と責任を持って研修に望む姿勢を教育していく必要がある。
- ・後輩を育成する指導者としての姿勢や教育も必要。

(ステップ4)

- ・課題を達成することが目的ではなく、自部署でどう活かすか、どうリーダーシップを取っていくかが問題なので、次年度は、自部署で役割を果たせるような研修を検討する。

5 新人看護職員研修活動報告

1 教育担当者会

- ・目的 新人看護職員の教育活動運営を円滑に行うために、部署の連携を図り、新人看護職員の教育体制を維持する
- ・活動目標 新人看護職員に係る他の看護職員との調整約としてリーダーシップを発揮し、教育体制を強化する
- ・委員 山崎、近江谷、竹中、杉本美、杉本智、山田、西島、小堀裕、杉本裕
- ・活動実績 委員会12回、実地指導者会合同会議3回
情報交換・指導に係る問題解決に向けた意見交換
研修の計画・実施

2 実地指導者会

- ・目的 新人看護職員に継続的な指導を行う役割をもった指導者として情報共有し、活動視点や考える視野を拡大する
- ・活動目標 新人看護職員に係る役割を担職員と連携をとり、新人看護職員と良好な関係のもと臨地指導ができる
- ・委員 山崎、中野、安田、山本、北川、角野、田邊、村田、織田、山本、大石、上野、宮崎、青山、松本、戸田、長野、堀田
- ・活動実績 委員会12回、教育担当者会合同会議3回
情報交換・指導に係る問題解決に向けた意見交換
研修の計画・実施

6 実習指導者会活動報告

1 目的

学生が学びやすい環境を学校と連携して整える。

2 活動方針

学校・指導者・スタッフが協同し、学生が学びやすい環境・指導体制を作る。

3 委員

(委員長) 湊

(委員) 山崎、池上、水上、久保、田辺、川端、小沼、森、畠、中野、
柿谷、竹阪、上田、水上

4 活動実績

(会議)

- ・実習指導者 7回
- ・看護専門学校教員・実習指導者合同会議 8回

(研修会)

- ・テーマ 学生理解
- ・講師 看護学校教員 梅田、山口、小田島
実習指導者会 上田、竹阪、中野
- ・参加者 教員9名、実習指導者10名、看護部2名、認定看護師1名、
新人教育担当看護師5名
- ・内容 実習指導者、教員各2名をシンポジストとして事例を提示。
各事例について意見交換会を行った。

(グループ活動)

(1) スタッフとの連携

- ・目標
 - ①スタッフ全員が実習の目標を知り継続した指導が行える。
 - ②スタッフと学生とのお互いの顔・特徴が分かり実習に臨める。
- ・活動内容
 - ①実習行動計画の運用
 - ②各実習目標・指導ポイントの作成
 - ③病棟ウエルカムボードの作成

(2) 広報

- ・目標
看護学生を受け入れる雰囲気作りを行う。
- ・活動内容
 - ①学生室に指導者紹介のウエルカムボードを作成
 - ②実習指導者の学校訪問、病棟紹介と学生との顔合わせ

(3) 指導内容検討

- ・目標
 - ①指導力の向上を目指す。

- ②学生が持つ力を引き出すために、臨床において学生が抱える悩みやニーズを知り、指導方法や臨床スタッフの改善点を見出すことができる。

・活動内容

- ①研修会の実施
- ②病棟オリエンテーションの実施
- ③実習指導者以外の病棟実習担当者設定の検討
- ④学生へのアンケート作成・実施・評価

7 褥瘡委員会活動報告

1 目的

褥瘡新規発生患者を出さない。

2 活動方針

- ①病棟スタッフが褥瘡発生に対する問題点を明確にすることができる。
- ②病棟褥瘡ラウンドを通して、病棟スタッフが褥瘡予防・治癒促進対策に関する知識を向上する事が出来る。
- ③病棟スタッフが褥瘡対策をとることが出来る。

3 委員

(委員長) 山田

(委員) 内野、杉本、小堀、宮本、稲垣、山口、下町、坂口、松田、藤田、大江、清水、植松、渡邊

4 委員会等

- ・褥瘡チーム会 11回
- ・褥瘡ラウンド 9回
- (1) 各部署の褥瘡発生の現状把握及び、問題点の抽出
 - ・褥瘡発生に関する問題点の要因分析
 - ・委員自身の学習会の実施 (体圧測定、体位・体位変換、マットの選択、褥瘡関連記録、ブレードン)
 - ・基準スケールの作成：ブレードンスケールガイド、DESIGN-R評価スケール
 - ・委員対象DESIGN-R机上テスト実施
- (2) 褥瘡チームラウンド
 - ・認定看護師により選出された患者の褥瘡ラウンド
 - ・ラウンド後、皮膚科医師を交えたカンファレンス実施
 - ・カンファレンスでの検討事項を委員が自部署に持ち帰り、知識・技術を伝達
- (3) 褥瘡委員会活動についてTQMで発表

8 記録監査委員会活動報告

1 目的

看護の質の向上を図るため、記録に関する審査・監査を行う。

2 活動方針

監査結果をフィードバックさせ、各病棟の看護記録の向上を図る。

3 委員

(委員長) 新谷

(委員) 中西、八木、米田、東、山本、柴田、東、宮本、野崎、山本、久保

4 活動実績

(委員会)

・開催数 21回

・内容

①記録基準の見直し

②質的監査表の作成

各病棟で転倒、転落についての監査を行う。

③重症度、医療・看護必要度のA・B項目基準の作成

各病棟で監査を行う。

(研修会)

・テーマ 看護が見える！看護記録の書き方

・講師 岩井郁子先生

・場所 福井県看護協会会館

・参加者 9名

(各認定領域の活動)

(1) 感染管理

| 活動内容 | 主な参加学会、研修会 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・感染防止対策加算1・2連携 ・感染防止対策地域連携加算 ・ICTカンファレンス(1/W) ・ICTラウンド(2/W) ・感染リンクナース環境ラウンド(1/M) ・感染リンクスタッフ活動(1/M) ・国立病院福井病院機構研修講師 ・泉が丘病院感染対策研修講師 ・新人研修「感染管理についてI・II」 ・ステップ2研修「標準予防策」 ・吐物処理実践研修(各部署リンクナース中心に) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境感染学会発表 ・感染管理地域支援委員会勉強会 ・感染管理認定看護師のためのキャリアディベロップメント研修 ・嶺南インフェクションコントロール発表 |

(2) がん性疼痛看護

| 活動内容 | 主な参加学会、研修会 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・がん性疼痛を有する患者・家族の苦痛軽減のための介入(病棟ラウンド・コンサルテーション) ・がん患者の退院支援・調整(21件) ・緩和ケア委員会(年2回)、化学療法委員会(年3回)、地域がん診療連携拠点病院推進委員会(年2回)参加 ・リンパ浮腫への介入(8件) ・地域連携症例検討会参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師フォローアップ研修 ・日本緩和医療学術集会 ・日本がん看護学術集会(発表) ・日本死の臨床研究会 ・医療リンパセラピスト研修 |

(3) がん化学療法看護

| 活動内容 | 主な参加学会、研修会 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・外来化学療法室におけるがん化学療法 1,288件 ・主なセルフケア支援として <ul style="list-style-type: none"> ①抗EGFR抗体薬による皮膚障害 ②脱毛へのケアとウィッグについて ③消化器毒性へのケア ④血液毒性と感染予防について ・病棟患者への介入:皮膚疾患をもっている患者の血管のアセスメントについて、化学療法開始にあたり不安の大きい患者への介入、化学療法中の血管外漏出について、など ・内科、化学療法室カンファレンス ・関連病棟、薬局、化学療法室スタッフミーティング | <ul style="list-style-type: none"> ・日本癌治療学会 ・がん相談支援員研修(1)(2) ・認定看護師フォローアップセミナー ・嶺南化学療法研究会 |

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア委員会、緩和ケアチーム会 ・福井県看護協会嶺南支部勉強会「がんと共に生きる」 ・院内医療安全大会「抗がん薬の曝露について」 ・地域連携勉強会「がん化学療法開始時の意思決定支援」「乳がんとピンクリボン」 ・CVポート勉強会 ・内科、化学療法室カンファレンス時の勉強会（使用薬剤、外来看護、相談支援についてなど） | |
|--|--|

(4) 救急看護

| 活動内容 | 主な参加学会、研修会 |
|---|---|
| 1 救急カート点検ラウンド（10月・2月） 2 コードブルー検証（4月：外来、7月：心カテ室、透析室、8月：5階、1月：4階、2月：4階、3月：HCU） 3 ENN発行（1～5号） <ul style="list-style-type: none"> ・福井県看護協会救急看護委員会出席（年間7回） ・福井県看護協会「フィジカルアセスメント～脳神経編」 ・ステップ2研修「フィジカルアセスメント正常編」 ・新人研修「BLS」 ・看護協会福井地区研修「BLS」講師 ・ステップ2研修「フィジカルアセスメント異常編」 ・出前講座「急病の応急処置」新和町会館） ・つるがICLSインストラクター・外来勉強会「BLS」 ・長浜日赤病院ICLSインストラクター ・出前講座「子どもの心肺蘇生」 ・CN研修会「高齢者のアセスメント」 ・CN研修会「BLS」 ・出前講座「子どもの急病」 ・検査室勉強会「SBARについて」 ・北3勉強会「人工呼吸器患者の看護」 ・外来勉強会「胸痛を訴える患者の看護」 ・新人研修「気管挿管」 | <ul style="list-style-type: none"> ・JATECタスク ・日本救急看護学会「基礎病態セミナー」 ・日本救急看護学会参加 ・「救急と法」聴講 ・救急看護認定看護師ブラッシュアップセミナー ・JMCCインストラクター |

(5) 皮膚・排泄ケア

| 活動内容 | 主な参加学会、研修会 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡ラウンド（毎週火曜日） ・ストーマケア（入院・外来患者） | <ul style="list-style-type: none"> ・日本褥瘡学会 ・創傷・オストミー・失禁管理学会 |

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・下肢創傷処置 ・褥瘡データ収集（推定発生率・褥瘡保有率・治癒率 毎月報告） ・スキントアの処置 | <ul style="list-style-type: none"> ・ストーマリハビリテーション学会 ・下肢救済・足病学会 ・関西ストーマ研究会 ・地域勉強会（地域連携）年3回 褥瘡の基礎（DESIGN-R, 薬剤について）・応用 ・新人研修（褥瘡ケア） |
|--|---|

(6) 緩和ケア

| 活動内容 | 主な参加学会、研修会 |
|---|---|
| <p>【院内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアチーム会（1回/週：火曜日） ・緩和ケア委員会 ・緩和ケアラウンド（毎週火曜日）1～5人/日程度 ・がん性疼痛などの症状緩和、意思決定支援、退院調整など <p>【院外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県看護協会 がん看護実践力向上研修 E L N E C - J 講師 ・市民公開講座「緩和ケアとは」 ・地域開放学習会「家族ケア・グリーンケア」 ・新人研修「エンゼルケアについて」 ・4階病棟勉強会「オピオイド（医療用麻薬）について」 ・6階病棟勉強会「PCAポンプについて」 | <ul style="list-style-type: none"> 日本緩和医療学会学術大会 日本死の臨床研究会年次大会 |

10 教育研修実績

(1) 院内研修実績

| 月日 | 研修会名、講演会名等 | 主催 | 参加人数 |
|-----------|--------------------|-------------|------|
| 通年 | 新人看護職員基礎看護技術研修 | 看護部 | 17名 |
| 4/7 | コーチング講習会 | 総務企画課 | 28名 |
| 6/2 | 地方公営企業法全部適応について講演会 | 総務企画課 | 22名 |
| 6/17 | 医療安全大会 | 総務企画課 | 242名 |
| 7/7, 9 | 経営状況説明会 | 総務企画課 | 190名 |
| 8/2 | クリティカルパス作成大会 | クリティカルパス委員会 | 27名 |
| 7/11 | 感染対策講習会 | 感染対策委員会 | 269名 |
| 11/6 | 医療安全講習会 | 医療安全対策委員会 | 132名 |
| 11/11, 14 | 感染対策全体講習会 | 感染制御センター | 241名 |
| 1/22 | N S T 勉強会 | 栄養サポート部会 | 21名 |
| 2/23, 25 | 第12回院内医療安全大会 | 医療安全室 | 226名 |

(2) 院外研修実績

| 月 日 | 研修会名、講演会名等 | 主 催 | 参加人数 |
|-----------|------------------------------|-------------------|------|
| 4月-2月 | 小児救急研修 | 福井県医師会 | 5名 |
| 4/22, 24 | 福井県自治体研修会 | 福井県 | 20名 |
| 5/17 | 看護の日記念大会 | 福井県看護協会 | 14名 |
| 4月, 5月 | 定例研修会 「たのしきみつげよう看護研究」実践編 | 福井県看護協会 | 12名 |
| 6/ 7 | 定例研修会 「看護が見える看護記録の書き方」 | 福井県看護協会 | 9名 |
| 6/21 | 第16回つるがICLSコース | つるがICLSコース | 名 |
| 6/30 | 看護管理者研修1 看護補助者 | 福井県看護協会 | 8名 |
| 7/12, 22 | 感染対策はきれいな手から | 福井県看護協会 | 12名 |
| 7/3, 4 | 新人研修会 | 福井県看護協会 | 9名 |
| 7/18 | 新人研修会 | 福井県看護協会 | 4名 |
| 7月, 9月 | 救急医療業務実地修練（講義・実習） | 福井県 | 1名 |
| 8/ 9 | 看護研究発表会 | 福井県 | 8名 |
| 6月-9月 | 福井県保健師看護師助産師実習指導者 養成講習会 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 8/20 | 勤務編成の基準 | 福井県看護協会 | 1名 |
| 8/23 | アセスメントシリーズ | 福井県看護協会 | 4名 |
| 8/29 | 新人研修会 | 福井県看護協会 | 8名 |
| 9/ 1 | メンタルヘルス研修 | 市 | 3名 |
| 9月, 10月 | 救急医療業務 | 東京 | 1名 |
| 9/18 | 教育担当者研修 | 福井県看護協会 | 8名 |
| 9/20 | 接遇、クレーム、苦情対応 | 福井県看護協会 | 2名 |
| 9/18 | 看護実践に育成研修 | 福井県看護協会 | 3名 |
| 10/24 | 准看護師研修 | 福井県看護協会 | 4名 |
| 11/ 1 | 災害看護研修会 | 福井県看護協会 | 4名 |
| 11/17 | プリセプター研修 | 福井県看護協会 | 8名 |
| 11/11 | 看護管理者研修2 看護補助者 | 福井県看護協会 | 4名 |
| 11/26, 28 | 看護管理研修 | 全国自治体病院協議会 | 2名 |
| 12/ 7 | 救急医療講座 | 福井大学医学部付属病院 | 2名 |
| 12/18 | 在宅医療研修会 | 在宅医療推進協議会 | 6名 |
| 2/ 7 | 敦賀市立看護大学看護研究方法論講義 | 敦賀市立看護大学 | 8名 |
| 2/14 | NPPV管理とケアのポイント | 福井県看護協会 | 5名 |
| 3月 | 新人看護教育ワークショップ | 福井県立大学看護福祉学部 | 6名 |
| 3/ 9 | 胸部手術呼吸循環管理 | 福井大学看護キャリアアップセンター | 1名 |
| 3/14 | 第3回福井大学 緊急被ばく医療総合シミュレーション | 福井大学医学部 | 2名 |
| 3/21 | ゆっくりじっくり看護をして楽しむ | 福井県看護協会 | 8名 |

(3) 講師、実習及び外部会議委員等の実績

【講師実績】

- ・敦賀いきいき生涯大学 小堀和美
- ・美浜中学校「先輩と語る会」 今井裕子
- ・市立敦賀看護専門学校「看護への道」 今井加央里, 上田紀子
- ・第27回福井県母性衛生学会学術集会座長 飯田登美子
- ・ママサポートタクシー研修会 西澤広子
- ・気比高キャリア塾 中野加央里
- ・国立循環病センターにかかわる職員対象研修「ノロウイルス事例より」 小堀和美

【実習受け入れ】

- ・敦賀市立看護大学基礎実習Ⅰ 41名
- ・市立敦賀看護専門学校学生1～3年
- ・愛知県愛西学園弥富看護学校通信制実習 8月、2月実習生3名
- ・公立若狭高等看護学院 母性看護臨床実習 3年生19名
- ・敦賀市立看護大学キャリアゼミⅠ 看護師ヘインタビュー(4G)

【新人看護師研修受け入れ】

- ・福井県新人看護職員研修集合研修 泉ヶ丘病院1名

【看護協会 委員会】

- ・看護制度委員会 三好啓子
- ・教育委員 稲垣香緒里
- ・広報委員 竹中智子
- ・福井県災害看護委員 久保幸子
- ・助産師職能委員 西島信子
- ・看護師職能委員 新谷あゆみ
- ・医療看護安全委員 角本則子
- ・救急看護委員会 藤原貞美子
- ・福井県看護協会地区委員 八木桂子
- ・感染管理地域支援委員 小堀和美
- ・女性の健康相談窓口事業委員 岸本千鶴
- ・推薦委員 飯田登美子

【福井県臓器移植普及推進連絡協議会】

- ・委員：藤井優子, 若杉美恵

【学会・研究発表】

- ・第31回福井県看護研究発表会 下町智子, 服部祥子
- ・第16回日本災害看護学会 今井裕子
- ・日本クリティカルパス学会学術集会 杉本裕子

【その他】

- ・敦賀地区自衛消防隊操法大会 8名
- ・高校生1日看護体験 50名
- ・北信越地区高等学校野球福井県大会救護
- ・野坂山登山救護
- ・敦賀青年会議所野坂山登山救護
- ・つるがまつり救護 3日間
- ・ふくい看護職就職相談会

IX 臨床研修プログラム概要

<平成26年度 市立敦賀病院臨床研修プログラム概要と実績>

1 プログラムの名称

市立敦賀病院臨床研修プログラム

2 プログラムの目的と特徴

プライマリー・ケアを中心に、医師として必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を身に付け、患者とのコミュニケーションやチーム医療など医療人としての人格を涵養することがこの研修プログラムの目的です。

当院の卒後臨床研修は、協力型（金沢大学附属病院、福井大学医学部附属病院）および基幹型臨床研修病院として、病院群を形成し連携をとりながら研修を行います。また、地域医療における療養型病院、診療所などの研修をはじめとして、本院で行う各診療科のプログラムの一部を担うため、豊富な研修協力施設を設けています。

なお、当院の協力型研修は、金沢大学附属病院および福井大学医学部附属病院と各々たすきがけ方式を採用していますので、研修のコース選択によっては両大学病院の研修プログラムと全く同じか一部重複するところがあります。

3 研修方式および研修内容

当院、猪原病院、敦賀温泉病院などにおいて研修を行う。

（1）オリエンテーション

研修開始直後の数日間はオリエンテーションを行います。研修を円滑に実施できるよう、カルテの記載、インフォームド・コンセント、医療事故、院内感染、チーム医療、保険医療など、医療を行うために必要な事項を学びます。

（2）基本科目研修

基本科目研修では、内科6ヶ月、救急3ヶ月、地域医療1ヶ月の研修を行います。

①内科研修では、消化器、循環器、内分泌・代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、透析の内科領域の到達目標を達成できるようローテート研修します。

②救急研修では、救急初期診療の実践訓練を主体とします。全ての救急患者に対して、電話連絡の時点からの情報収集、患者や家族、救急隊へのアドバイスを含めて、救急室における初期診療全般に関して、救急・内科・麻酔科医師等の監督・指導のもとに実践します。また、ローテーション中に心肺蘇生のミニ訓練コース、外傷初期診療のミニ訓練コースを受講していただきます。

③地域医療では、「かかりつけ医」として必要な技能と判断力のうち最低限度のものを身につけることを研修します。

（3）選択必修科目研修

1年目又は2年目の選択必修科目研修では、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科のうち、2科目以上とし、研修期間については研修医の希望によることができます。

①外科研修では、外科的疾患に対する診断法・手術手技・術後管理の基本と外科的救急疾患へのプライマリー・ケアが修得できるよう研修します。

②麻酔科研修では、麻酔科医療を適切に行なうために必要な最低限の基礎知識、技能、態度を修得します。

- ・患者の全身状態の把握の仕方と患者との接し方を会得する。
- ・呼吸、循環、代謝などの全身管理学の基本を手術麻酔管理を通じて身に付ける。
- ・手術室での研修を基本として、重症患者管理、救急蘇生、救急処置が速やかに行える技術を修得する。
- ・疼痛を中心とした神経管理・除痛、調整、回復蘇生の技術を外来、手術室、病室において

研修する。

③小児科研修では、小児医療を適切に行うために必要な最低限の基礎知識、技能、態度を修得します。

- ・小児および小児期の疾患の特性を学び、小児の診療の特性を学ぶ。
- ・検診などを通して発育、発達についての知識を深める。
- ・年齢による検査値や薬用量の違いを知る。
- ・母親など保護者との信頼関係の確立とコミュニケーションの保持に努める。

④産婦人科研修では、一般患者全般を診るために必要な産科婦人科診療を体験し学びます。具体的には、妊娠に関連する症状や異常、婦人科疾患による諸症状を、他の異常と見誤らない能力と知識を身につけます。

⑤精神科研修では、精神疾患に対する診断、治療、予防についての健全な臨床的判断とそれに必要な知識を修得します。

(4) 選択科目研修

選択科目研修は、それまでの研修で不十分であった部分を補ったり、将来の進路に合わせて研修医の自由選択により、本院の次の診療科等から選択して研修を行います。

内科（消化器、循環器、血液、アレルギー・膠原病、感染症、神経、脳血管障害、内分泌代謝、腎・透析・高血圧、呼吸器）、小児科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、神経科精神科、救急・麻酔科・地域保健（二州健康福祉センター・福井県赤十字血液センター）

4 研修協力病院・施設

地域の研修協力病院や研修協力施設と連携をとりながら効果的な研修を行います。これらの病院や施設には特色あるプログラムが用意されています。

- ・協力型臨床研修病院
医療法人積善会 猪原病院（精神科）
福井大学医学部附属病院救急部（救急）
福井県立病院救急部（救急）
金沢大学附属病院（内科）
医療法人 敦賀温泉病院（精神科）
- ・臨床研修協力施設
医療法人保仁会 泉ヶ丘病院（地域医療）
美浜町東部診療所（地域医療）
福井県医療生活協同組合つるが生協診療所（地域医療）
福井県二州健康福祉センター（地域保健）
福井県赤十字血液センター（地域保健）

5 研修指導体制

研修の管理責任者は市立敦賀病院長であり、病院長のもとに研修管理委員会を置き、研修の計画から修了認定までを管理します。また研修期間中、プログラムおよび研修医の指導・管理を担当するプログラム責任者、研修医を直接指導し評価を行う研修指導医を置きます。

(1) 研修管理委員会

研修管理委員会は、病院長、プログラム責任者、副プログラム責任者、各診療科研修実施責任者および臨床研修協力病院、地域保健・医療を含めた研修協力施設の代表者および事務責任者で組織し、臨床研修プログラムおよび研修医の管理、評価等を行います。

(2) プログラム責任者（循環器科部長 音羽 勸一）

プログラム責任者は、研修プログラム全体を統括し、全研修期間を通して研修医の指導・管理を行います。また、各診療科および各臨床研修協力病院に研修実施責任者を置き、当該診療科等の研修期間中プログラムを管理し、研修医の指導・管理を行います。

(3) 研修指導医

指導医は、研修プログラムに基づき直接研修医を指導し、研修医に対する評価を行います。指導医は臨床経験7年以上の指導医講習会受講済者で、プライマリー・ケアを中心とした指導を行える十分な能力を有する者とし、診療科長の推薦により病院長が任命します。なお、研修協力病院および研修協力施設の指導医はその病院または施設の長に委ねます。

(4) 臨床研修の評価と修了認定

- ①指導医は担当する診療科での研修期間中、研修目標の到達状況を適宜把握し、研修実施責任者に報告します。
- ②各診療科の研修実施責任者は、当該研修期間が終了したとき、研修医の目標到達状況をプログラム責任者および研修管理委員会に報告します。
- ③研修管理委員会は、研修終了時に、勤務記録、行動目標や経験目標の到達度などで総合的な評価を行います。病院長は、研修管理委員会が臨床研修を修了したと認めるときは臨床研修修了証書を交付します。また、臨床研修を修了したと認めないときは、その理由を文書で研修医に通知します。

6 研修医の募集人員および選抜方法

基幹型研修プログラムを全国に公開し、マッチング方式により全国から募集します。大学病院との協力型研修の場合は、全国公募はありません。応募の窓口は臨床研修センターとします。

(1) 募集人員

6名

(2) 選抜方法

研修医の選抜は、書類審査および面接により行います。面接は夏季休暇期間中に複数回実施します。出願書類、選抜期日など詳細は決定次第発表します。

(3) 選考結果通知

医師臨床研修マッチングの結果により決定し、速やかに本人に通知します。

7 処遇

処遇については以下のとおりです。なお、研修協力病院における処遇は、当該病院の定めるところによります。

| | |
|----------|--|
| 身分 | 臨時医師 |
| 給与 | 1年次 480,000円（平成27年4月1日現在） 2年次 495,900円（平成27年4月1日現在） （医師手当、地域手当、夜間救急医療業務手当、病院業務手当等を含む。） |
| その他手当 | 超過勤務手当、宿日直手当等 |
| 賞与 | 1年次 計 815,250円（平成27年4月1日現在） 2年次 計 1,273,460円（平成27年4月1日現在） |
| 勤務時間 | 8時30分～17時15分 |
| 休日・休暇 | 土・日曜日、祝日、夏期休暇、年次休暇、特別休暇等 （正規職員に準ずる。） |
| 宿舎 | あり |
| 社会保険等 | 社会保険、厚生年金、労災保険、雇用保険適用 |
| 医師賠償責任保険 | 施設として加入 |
| その他 | 学会、研修会の旅費および負担金の支給あり |

8 臨床研修ローテーション表

・1年次 基本研修科目（基本パターン）

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-------------------------------|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 内科 | | | 救急 | | | 内科 | | | 外科・麻酔科 小児科・産婦人科 精神科から選択 | | |

・2年次 必修科目および選択科目（基本パターン）

| | | | | | | | | | | | |
|------|------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 地域医療 | 選択科目 | | | | | | | | | | |

*ただし、選択科目のうち9ヶ月以上は、市立敦賀病院における研修とする。

*2年次に1週間、福井県赤十字血液センター研修を行う。

<初期研修医の採用状況>

| 年度 | 定員 (基幹型) | 採用数 (協力型含む) | 出身大学 |
|--------|-------------|----------------|--|
| 平成16年度 | 4 | 1 | 福井大学 |
| 平成17年度 | 4 | 4 | 福井大学(3)、金沢大学 |
| 平成18年度 | 4 | 3 | 福井大学(3) |
| 平成19年度 | 6 | 2 | 福井大学、兵庫医科大学 |
| 平成20年度 | 6 | 6 | 福井大学(2)、金沢大学、山梨大学 昭和大学、慶應義塾大学 |
| 平成21年度 | 6 | 3 | 金沢大学、関西医科大学、広島大学 |
| 平成22年度 | 6 | 6 | 福井大学、金沢大学、東京大学 滋賀医科大学(2)、島根大学 |
| 平成23年度 | 6 | 8 | 金沢大学(2)、北海道大学、高知大学 大阪市立大学、熊本大学、佐賀大学 三重大学 |
| 平成24年度 | 6 | 4 | 金沢大学、高知大学、三重大学 関西医科大学 |
| 平成25年度 | 6 | 5 | 福井大学、金沢大学、新潟大学、 大阪医科大学、関西医科大学 |
| 平成26年度 | 6 | 5 | 福井大学(2)、金沢大学、 旭川医科大学、大阪市立大学 |
| 平成27年度 | 6 | 3 | 福井大学(2)、大阪市立大学 |

参 考 资 料

第2次市立敦賀病院中期経営計画の概要

1 策定の経緯

第2次市立敦賀病院中期経営計画は、第1次の計画の進捗状況及び「第6次福井県医療計画」など医療制度の方向性をふまえて策定した。

国は病院における入院治療を中心とする医療から在宅医療への移行を推進するとともに、介護制度などを含め地域全体で医療・介護をする地域包括ケアシステムの構築を目指している。

当院は、このように医療制度が大きく変化する中、新たな事業計画及び経営指標の達成に向けて経営改善を発展的に継続し「地域の医療をささえ、信頼され、温もりのある」病院づくりを推進し市民の医療ニーズに対応するものとする。

2 事業計画（計画期間中の取組目標）

（1）人材の確保、定着及び育成

ア 医師の確保

- ・関係機関の協力と実践的な臨床研修プログラムによる研修医の確保により、医師の増員を図る。
- ・医師の事務負担を軽減し診療に専念できる環境づくりのため、医師事務作業補助者を増員する。

イ 看護師等の確保

- ・敦賀市立看護大学の実習病院として良好な学習、実習環境を提供する。
- ・継続的に認定看護師を養成する。
- ・看護補助者の採用による看護業務の負担軽減を図る。

ウ 薬剤師の確保

- ・修学資金制度を継続運用するとともに、大学薬学部への広報を強化する。

エ その他の医療職の確保

- ・理学療法士等の適正な人員を確保し、祝日等のリハビリを含めた機能の充実を図る。

オ 事務職

- ・地域がん診療連携拠点病院及び地域医療支援病院の指定・承認に向けて、地域医療連携体制及び医療福祉相談体制の充実に必要な医療ソーシャルワーカーの人員を確保する。

カ 問題解決力の向上と活力ある職場づくり

- ・各部署の年次計画（アクションプラン）の設定を継続する。

- ・目標管理制度や人事考課制度を医師及び医療技術職員に拡大し、職員の意欲向上と能力開発を促進する。
- ・院内保育所について利用状況に応じて拡充を検討する。

(2) 医療機能の充実と情報発信

ア 救急医療、災害時医療の充実

- ・関係機関との連携により医師を確保し救急医療体制の充実を図る。
- ・災害拠点病院として防災訓練を定期的実施するとともに、災害医療チーム（DMAT）の人員確保と研修・訓練による技能向上を図る。

イ 地域医療確保のために果たすべき役割

- ・高度医療機器の計画的な整備と、地域の医療機関への広報により利用を促進する。
- ・地域がん診療連携拠点病院及び地域医療支援病院の指定・承認を目指す。

ウ 医療の質、医療安全の推進

- ・医療安全大会の開催を継続する。
- ・クリティカルパスの作成数の増加と利用率の増加を図る。
- ・電子カルテシステムを更新する。
- ・病院機能評価など外部機関の審査制度により医療の質の確保と患者サービスの向上を図る。

エ 患者サービスの向上

- ・患者アンケートの実施と改善活動への反映を継続する。
- ・職員接遇研修の継続的に実施する。

オ 地域医療連携の推進

- ・ふくいメディカルネットの運用を推進する。
- ・紹介率、逆紹介率を向上させ地域医療支援病院の指定を目指す。
- ・地域連携クリティカルパスの作成と利用を促進する。

カ 当院の取組みの情報発信

- ・ホームページ、院内掲示、広報紙による情報発信を強化する。
- ・市民公開講座、出前講座、病院フェスタを継続開催する。

(3) 収入増加と経費削減への取組み

ア DPC請求病院としての効率的・効果的な医療の提供

- ・平均在院日数の短縮を図る。
- ・診療科別損益分析・検証により効率的・効果的診療を実施する。

イ 手術の増加

- ・患者増加により手術件数の増加を目指す。

ウ 新規施設基準等の取得

- ・地域がん診療連携拠点病院の指定及び地域医療支援病院の承認を目指す。
- ・新規の施設基準の取得を継続的に目指す。

エ 自費診療

- ・人間ドックの利用増加を目指す。
- ・オプション検査等の利用増加を目指す。

オ 委託化の推進、経費の縮減、業務の質の確保

- ・後発医薬品の採用率数量ベース60%を目指す。
- ・委託業務の指導・監督の強化により、業務の適正運用と質を確保する。
- ・高額の未収金回収を強化するとともに、新たな未収金の発生の抑制を図る。

(4) 経営形態の見直し

- ・地方公営企業法の全部適用病院へ移行し、より柔軟な経営形態を実施する。

(5) 地域包括ケアについて

- ・県、市町、医療・福祉・介護の関係機関等の協議の場に参画する。

3 主要経営指標（数値目標）

事業計画を推進し、安定的な経営を継続するため次の数値目標を設定する。

| 項目 | | H26年度実績 | H30年度目標 | 備考 |
|-------------------|----------|---------|---------|--|
| 経常収支比率 | | 103.2% | 100.0% | 黒字経営を維持する。 |
| 職員給与費対医業収益比率 | | 58.4% | 55.0% | 人材確保等による給与増 公会計制度の変更の影響 |
| 病床利用率 | 計(332床) | 78.1% | 84.3% | 1日当たりの入院患者数 280人を目標とする。 |
| | 一般(330床) | 78.6% | 84.8% | |
| 患者1人1日 当たり診療収入 | 入院 | 41,596円 | 42,624円 | H24年度実績から5%増加とする。 |
| | 外来 | 11,344円 | 11,350円 | H24年度実績から5%増加とする。 |
| 平均在院日数 | | 17.7日 | 16.2日 | 新たな算出基準に基づき、H25 年度の水準から10%短縮す る。 |
| 材料費対医業収益比率 | | 24.6% | 24.5% | H24年度実績から5%低下させる。 |
| 後発医薬品採用率 | | 59.9% | 60.0% | 厚生労働省が目指す数量ベ ース60%以上とする。 |
| 紹介率 | | 39.0% | 40.0%※ | 地域医療支援病院の承認を目 指す。 |
| 逆紹介率 | | 53.2% | 60.0%※ | |
| 外来入院患者比率 | | 185.0% | 172.5% | 平成24年度水準以下とする。 |

※診療報酬改正により基準が変更となったが、地域医療支援病院の承認を得られる水準を目指すものとする。

Ⅱ 中期経営計画点検・評価委員会の開催状況（平成26年度）

・第7回点検・評価委員会

日時：平成26年10月2日（木）午後2時05分～午後3時10分

（概要）

中期経営計画（第1次、平成21年度～25年度）の最終結果を報告した。

経常収支比率は、平成22年度以降、計画を上回り100以上（黒字経営）を4年連続で維持することができ、収支の改善が図られたことについて評価をいただいた。

地域包括ケア病棟の運営について、運用開始直後であるため試行錯誤であると考えられるが、当該病棟への直接入院等を含め、患者さん（対象疾患）の選定等について研究していただきたいとの指摘を受けた。

地域医療支援病院の指定については、紹介率、逆紹介率ともに上昇しているものの、地域特性もあり、基準を満たす状況になっていないことを報告した。

当院の経営、患者サービスが向上していることについて、もっと市民に知っていただき、人口減少で急性期医療を受ける患者さんが減少する中で当院を選んでいただく取り組みが必要との意見をいただいた。

市立敦賀病院の患者権利章典

患者さんは、人間としての尊厳を有しながら医療を受ける権利を持っています。また、医療は患者さんと医療従事者との互いの信頼関係の上に成り立つものであり、患者さんに主体的に参加していただくことが必要です。

当院では、このような考え方にに基づき、ここに「市立敦賀病院の患者権利章典」を制定します。

患者さんの権利

1 良質な医療を公平に受ける権利

社会的な地位、信条、障害の有無などに関わらず、良質な医療を公平に受ける権利があります。

2 個人の人格が尊重される権利

個人の人格、価値観などが尊重され、医療従事者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

3 個人の情報やプライバシーが守られる権利

診療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります。

4 病気、検査、薬、治療方法などについて、十分な説明、情報提供を受ける権利

自分が受ける治療や検査の効果や危険性、薬の効果や副作用、他の治療方法の有無などについて、理解できるまで十分な説明を受ける権利があります。

5 治療方法などを自らの意思で選択する権利

十分な説明、情報提供を受けた上で、自分の治療計画を立てる過程に参加し、治療法などを自らの意思で選択する権利があります。その際、別の医療機関の意見（セカンド・オピニオン）を聞きたいというご希望も尊重します。

6 自分が受けている医療について知る権利

自分が受けている医療について不明なことがあれば、医療従事者に質問することができ、自分の診療記録の開示を求める権利があります。

患者さんにしていただきたいこと

7 医療に関する説明に対し、十分理解できるまで質問してください

納得できる医療を受けるために、医療に関する説明を受けてもよく理解できなかったことについては、十分理解できるまで質問してください。

8 自身の健康に関する情報を正確に提供してください

良質な医療を実現するために、医療従事者に対し、患者さん自身の健康に関する情報（家族歴、既往歴、アレルギーの有無など）をできるだけ正確に提供してください。

9 必要な治療や検査などに意欲的に取り組んでください

治療効果の向上のために、医療従事者とともに病気を治していくという姿勢で、必要な治療や検査などに意欲的に取り組んでください。

10 他の患者さんが適切な治療を受けられるように配慮してください

患者さんは通常の社会生活にはない制約を受けざるを得ない場合もあります。病院の規則などを守り、他の患者さんの治療や病院職員による業務などに支障を与えないよう配慮してください。

市立敦賀病院 職業倫理規程

医学及び医療は、病める人の治療はもとより人々の健康の維持・増進を図るものであり、すべての職員が病院理念及び基本方針に基づき、意欲と誇りをもってその使命を果たすことを目的として、次のとおり職業倫理に関する規程を定める。

- 1 職員は、質の高い医療の提供を目指し、知識と技術の習得に努めます。
- 2 職員は、患者さんの人権及び人格を尊重し、良心をもって医療を提供します。
- 3 職員は、互いの尊敬と理解のもと、協力して医療を提供します。
- 4 職員は、公務員としての責任を自覚し、医療の公共性を重んじ、医療を通じ社会の発展に貢献するとともに、法規範の遵守及び法秩序の形成に努めます。
- 5 職員は、より質の高い医療の提供のため、自己の心身健康の保持増進に努めます。

医療事故防止のための8カ条

- 第1条 医療従事者は、医療事故はいつでも起こりうるものであるという「危機意識」を常に持ち業務にあたる。
- 第2条 患者さん最優先の医療を徹底し、患者さん本位の医療を実践する。
- 第3条 業務にあたっては基本的事項の遵守と確認、再確認を徹底する。
- 第4条 患者さんとのコミュニケーションには十分配慮し、患者さんや家族への説明は、その内容が十分理解されるよう心がける。
- 第5条 診療に関する諸記録は正確かつ丁寧に記載するとともに、相互チェックを実施する。
- 第6条 自己の健康管理には十分留意し、万全の体制で業務にあたる。
- 第7条 職員の具体的、実践的な教育・研修を実施する。
- 第8条 病院管理者、所属長が率先して医療事故防止に対する意識改革を実践する。

病院年報編集委員会

| | | | | |
|-------|----|----|----|----|
| 編集委員長 | 米島 | 學 | | |
| 編集委員 | 山崎 | 洋 | 上田 | 裕朗 |
| | 大橋 | 優 | 三好 | 啓子 |
| | 平口 | 博之 | 山岸 | 茂樹 |
| | 田中 | 浩司 | 谷元 | 亮友 |

市立敦賀病院年報（平成 26 年度）

平成 27 年 12 月 1 日発行

編集 病院年報編集委員会

発行 市立敦賀病院

〒914-8502 福井県敦賀市三島町 1-6-60

TEL (0770) 22-3611 FAX (0770) 22-6702

